Printing Specifications

Product: HP Designjet 4000/4500 Printer Quick Reference Guide

Part number: Q1272-90008 JP

TEXT PAGES

Page Count	220 (with cover)
Paper Type	HP standard 50# book (69 to 80g/m^2) recycled offset or equivalent
Ink	4-color process (CMYK)
Coverage	4/4

COVER PAGES

Page Count	2 front and back
Paper Type	Up to DCs: whatever is normally used for QRGs (170/200g)
Ink	4-color
Coverage	4/4
Finish	Up to DCs

FINISH

Page Trim Size	A5
Bindery	SS or as prefered
Folding Instruction	*None*

Special Instructions

- ✓ If the print location is different from the location stated, change the print location to the appropriate location.
- ✓ If recycled paper is used, add the recycled paper logo and text.

- ✓ Refer to the Pantone Matching System for accurate spot color reproduction.

Do not print this page. This page is for reference only.

HP Designjet 4000/4500 プリンタ シリーズ
クイック リファレンス ガイド JP

hp

HP Designjet 4000および4500シリーズ プリンタ

クイック リファレンス ガイド

法律に関する注記

このマニュアルに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

弊社は、本マニュアルの特殊目的に対する適合性、市場性などについて、一切の保証をいたしかねます。

また、本マニュアルにおける誤り、あるいは備品、パフォーマンス等に関連した損傷についても保証いたしかねます。

本マニュアルの内容の一部または全部を、無断でコピーしたり他の言語に翻訳することは、法律で禁止されています。

商標

Adobe®、Acrobat®、Adobe Photoshop®、およびPostScript®は、Adobe Systems Incorporatedの商標です。

Microsoft®およびWindows®は、 Microsoft Corporationの米国における登録商標です。

PANTONE®は、Pantone, Inc.のカラー標準であり、商標です。

目次

1 はじめに

このガイドの使用方法

『*プリンタの使い方*』(CD) および『*クイック リファレンス ガイド*』(印刷マニュアル) は、以下の章で構成されています。

はじめに

この章では、本プリンタを初めて使用するユーザのために、本プリンタおよびマニュアルについて簡単に説明します。

使用方法

この章では、用紙の取り付け方法やインクカートリッジの交換方法など、さまざまな操作の手順について説明します。 手順は、大部分が図を使用して説明されています。一部の手順では、アニメーションも使用されています (CD内の『*プリンタの使い方*』のみ)。

トラブルシューティング

この章では、印刷中に発生する問題の解決方法について説明します。 このような情報の詳細は、CD内の『*プリンタの使い方*』を参照してください。

詳細

CD内の『*プリンタの使い方*』にのみ記載されています。これらの章では、プリンタの仕様や各種用紙の製品番号、インク サプライ品、その他のアクセサリなどのリファレンス情報を参照できます。

法律情報

この章には、HPの限定保証条項、ソフトウェア ライセンス契約、オープン ソースの承認、規格適合情報、および適合宣言 (DECLARATION OF CONFORMITY) が記載されています。

索引

目次の他に、索引を使用してトピックをすぐに見つけることができます。

プリンタの主な機能

このプリンタは、最大幅1.06m (42インチ) の用紙に高品質のイメージを印刷するために設計されたカラー インクジェット プリンタです。 主な機能を以下に示します。

- 最大印刷速度1.5m²/分 (16ft²/分) (HPスタンダード普通紙で **[高速]** 印刷品質オプションと **[描画/テキストの最適化]** オプションを使用した場合)
- 入力時1200 × 1200dpiのイメージを最大2400 × 1200dpiの最適化された解像度で印刷 (**[高品質]** 印刷品質オプション、**[高精細]** オプション、および **[イメージの最適化]** オプションで光沢紙を使用した場合) (印刷解像度の詳細は、CD内の『*プリンタの使い方*』を参照してください)
- 容量400mlのインクカートリッジと775mlの黒のカートリッジ (CD内の『*プリンタの使い方*』を参照)、および長さ90m (300フィート) のロール紙を使用した印刷が可能

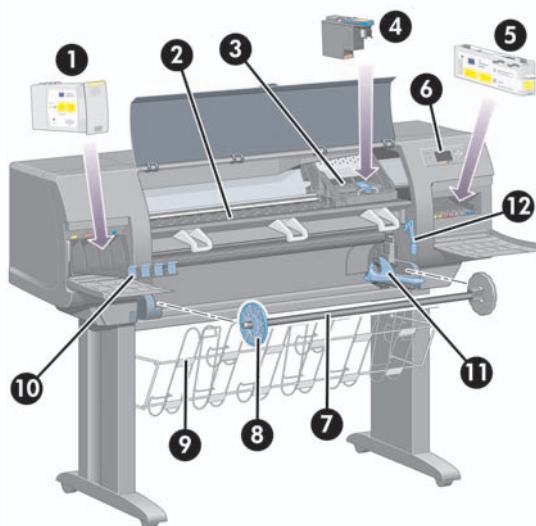
注記　HP Designjet 4500シリーズでは、長さ175m (575フィート) のロール紙を使用した印刷が可能です。

- 複数のジョブの送信、ジョブのプレビュー、キューイング、ネスティングなど、プリンタの内蔵Webサーバを使用した高生産性を実現する機能 (CD内の『*プリンタの使い方*』を参照)
- インクと用紙の使用状況を、フロントパネルおよび内蔵Webサーバによる Web上で確認可能
- 一貫した高精度のカラーを再現するいくつかの機能
  - 米国、ヨーロッパ、日本の標準印刷エミュレーション、およびカラー モニタのRGBエミュレーション (CD内の『*プリンタの使い方*』を参照)
  - 自動カラー キャリブレーション

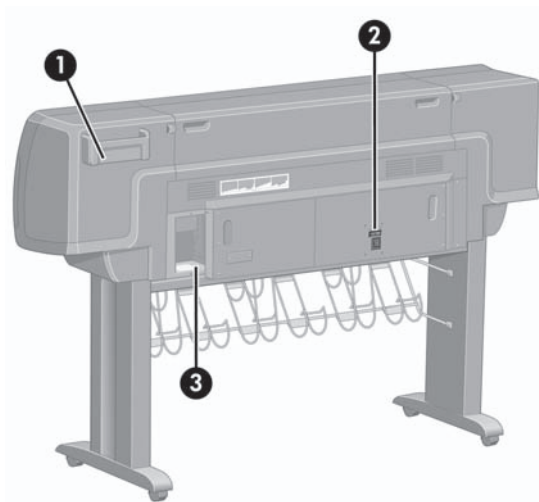
プリンタの主なコンポーネント [4000]

注記　このトピックはHP Designjet 4000シリーズ プリンタにのみ適用されます。

以下のプリンタ前面図および背面図で、主なコンポーネントについて説明します。

前面図

1. インクカートリッジ
2. プラテン
3. プリントヘッド キャリッジ
4. プリントヘッド

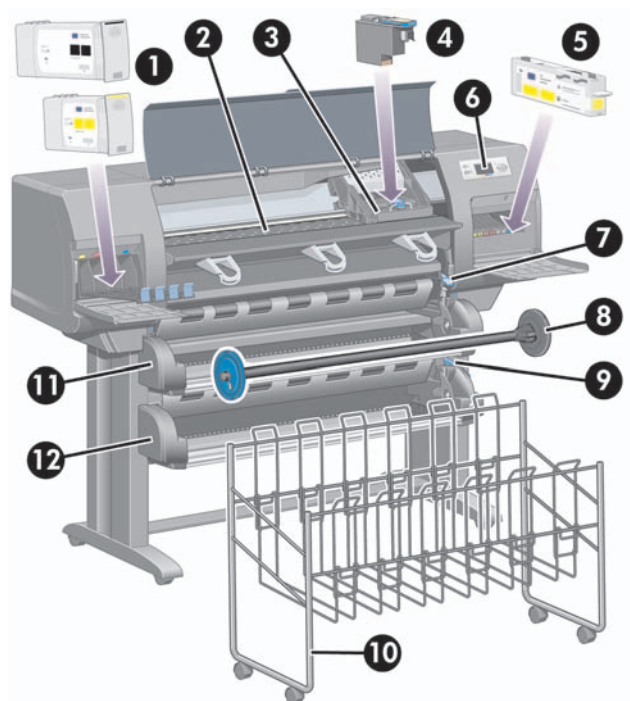
5. プリントヘッド クリーナ
6. フロントパネル
7. スピンドル
8. 青いストッパ (取り外し可能)
9. 用紙スタッカ
10. インクカートリッジ用の引き出し
11. スピンドル レバー
12. 用紙取り付けレバー

背面図

1. 『クイック リファレンス ガイド』フォルダ
2. AC電源コンセントおよび電源スイッチ
3. 接続ケーブルおよびオプション アクセサリ用ソケット

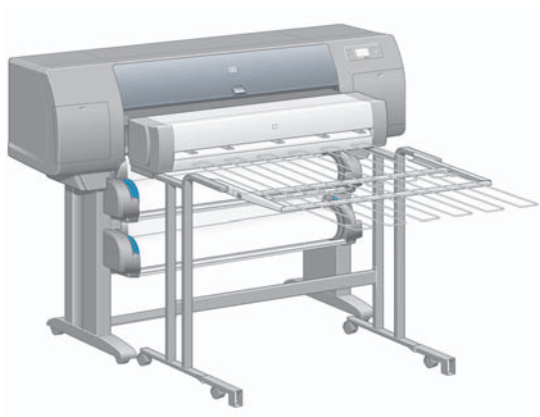
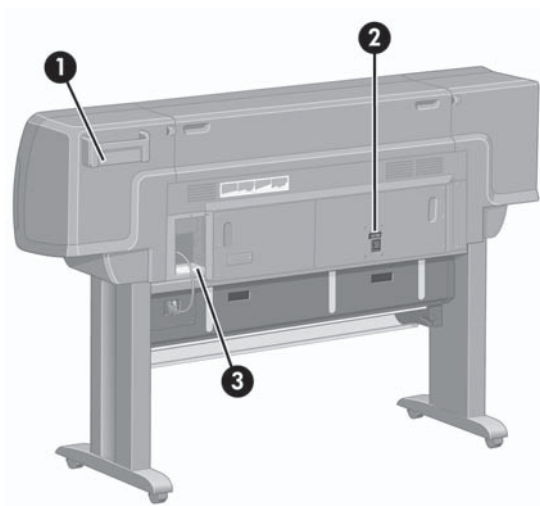
プリンタの主なコンポーネント [4500]

注記　このトピックはHP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

以下のプリンタ前面図および背面図で、主なコンポーネントについて説明します。

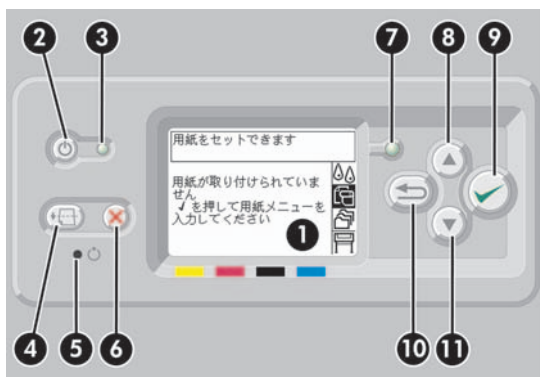
前面図

1. インクカートリッジ
2. プラテン
3. プリントヘッド キャリッジ
4. プリントヘッド
5. プリントヘッド クリーナ
6. フロントパネル
7. 用紙取り付けレバー (ロール紙1)
8. スピンドル
9. 用紙取り付けレバー (ロール紙2)
10. 用紙スタッカ
11. スピンドル用の引き出し (ロール紙1)
12. スピンドル用の引き出し (ロール紙2)

オプションのスタッカのある前面図

背面図

1. 『クイック リファレンス ガイド』フォルダ
2. AC電源コンセントおよび電源スイッチ
3. 接続ケーブルおよびオプション アクセサリ用ソケット

フロントパネル

プリンタのフロントパネルは、プリンタ前面の向かって右側にあります。 フロントパネルには、以下の重要な機能があります。

- 用紙の取り付け、取り外しなどの操作を実行する際に使用します。
- プリンタ、インクカートリッジ、プリントヘッド、用紙、印刷ジョブのステータスに関して、最新情報が表示されます。
- プリンタの使用手順が表示されます。
- 場合に応じて、警告やエラー メッセージが表示されます。
- プリンタの設定値を変更したり、プリンタの操作を変更する際に使用します。 ただし、プリンタの設定は、内蔵Webサーバやドライバの設定が優先されます。

フロントパネルには、以下のコンポーネントがあります。

1. ディスプレイ部分。情報、アイコン、メニューが表示されます。
2. 電源 ボタン。プリンタの電源のオンとオフを切り替えます。 プリンタがスリープ モードの状態にある場合は、このボタンを押すと起動します。
3. プリンタの電源がオフの状態にある場合、電源ランプは消灯しています。スリープ モードの場合は黄色、電源がオンの場合は緑色に点灯し、プリンタの電源がオフからオン、またはその逆へ移行中の場合は、緑色に点滅します。
4. 排紙/カット ボタン。通常は、カット紙が取り付けられている場合は用紙を排出し、ロール紙が取り付けられている場合はロール紙をカットします。 ただし、プリンタが他のページのネスティングを待機中である場合は、このボタンを押すと待機時間がキャンセルされ、印刷可能なページがただちに印刷されます。
5. リセット ボタン。プリンタを再起動します (電源 ボタンをオフにして再びオンにした場合と同じです)。 先の細い道具を使用して押します。

6. キャンセル ボタン。現在の操作をキャンセルします。 多くの場合、現在の印刷ジョブの印刷を停止する場合に使用します。

7. ステータス ランプが消灯している場合は、プリンタが印刷可能な状態ではありません。電源がオフになっているか、スリープ モードの状態になっています。 プリンタが印刷可能な状態でアイドリング中の場合は緑色に点灯し、プリンタがビジー状態の場合は緑色に点滅します。深刻な内部エラーが発生している場合は黄色に点灯し、ユーザの操作を待っている場合は黄色に点滅します。

8. 上矢印 ボタン。リストの前の項目に移動したり、数値を増やします。

9. 選択 ボタン。現在ハイライトされている項目を選択します。

10. 戻る ボタン。前のメニューに戻ります。 このボタンを繰り返し押すか、押したままにすると、ただちにメイン メニューに戻ります。

11. 下矢印 ボタン。リストの次の項目に移動したり、数値を減らします。

フロントパネルのメニュー項目を**ハイライト**させるには、その項目がハイライトするまで 上矢印 または 下矢印 ボタンを繰り返し押します。

フロントパネルのメニュー項目を**選択**するには、まずその項目をハイライトさせ、次に 選択 ボタンを押します。

フロントパネルの4つのアイコンは、すべてメイン メニューに表示されます。 アイコンを選択するかハイライトさせる場合、またはフロントパネルにアイコンが表示されていない場合は、アイコンが表示されるまで 戻る ボタンを繰り返し押します。

このガイドで、フロントパネルの一連の項目が **[項目1]** - **[項目2]** - **[項目3]**のように記述されている場合は、**[項目1]**、**[項目2]**、**[項目3]**の順に選択してください。

フロントパネルの特定の使用方法についての詳細は、このガイドで順を追って説明します。

プリンタ ソフトウェア

このプリンタには、以下のソフトウェアが付属しています。

- 内蔵Webサーバ。プリンタ内で動作し、これを使用すると、どのコンピュータでもWebブラウザを使用して印刷ジョブの送信および管理、インク残量やプリンタのステータスの確認を行うことができます。
- HP-GL/2およびRTLドライバ (Windows用)
- PostScriptドライバ (Windows用) (HP Designjet 4000psおよび4500psのみ)
- PostScriptドライバ (Mac OS 9用) (HP Designjet 4000psのみ)
- PostScriptドライバ (Mac OS X用) (HP Designjet 4000psおよび4500psのみ)
- AutoCAD R14用ADIドライバ

スキャナ ソフトウェア [4500]

注記　このトピックはHP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

スキャナ ソフトウェアはスキャナの画面にインストールされ、画面の電源を入れたときに自動的に実行されます。 最初に表示されるページは次の2つの主要セクションに分かれています。

- スキャンしたイメージを表示する表示セクション (左側)
- 制御セクション (右側)

表示セクションの大部分がプレビュー ウィンドウになります。 その上部に、9つのボタンのあるイメージ ツールバーがあります。これらのボタンは、プレビューを部分的に変更する際に使用します (CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照)。

制御セクションには、コピー、スキャン、印刷、およびセットアップの4つのタブがあります。 各タブには、コピー、スキャン、印刷、およびセットアップの各タスクを実行するときに設定できるオプションがあります。

ページの下部に7つの大きなボタンが表示されています。 左から右方向に次のボタンがあります。

1. 終了： 画面をシャットダウンまたは再起動します。
2. オンライン ヘルプ： 一部のトピックについて本書よりも詳しく説明しています。
3. 印刷キュー： 印刷キューを管理します。
4. プレビュー： ドキュメントをスキャンしてイメージをプレビューし、必要な範囲を選択できます。
5. リセット： 各設定をデフォルト値にリセットします。
6. 停止： 現在の動作をキャンセルします。
7. 選択したタブにより、コピー、スキャン、または印刷をキャンセルできます。

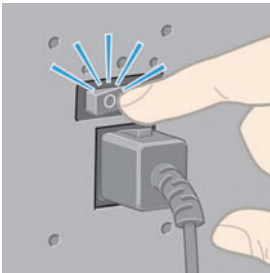
2　使用方法 (プリンタの操作)

電源のオン/オフを切り替える

ヒント　プリンタはENERGY STARに準拠しているため、プリンタの電源をオンにしたままでも電力が無駄になりません。 電源をオンのままにすることにより、応答時間とシステム全体の信頼性が向上します。 一定時間 (デフォルトでは30分) 使用しない場合、プリンタはスリープ モードに移行して電力を節約します。 ただし、何らかの操作を行うとただちにアクティブ モードに戻り、印刷を再開することができます。

プリンタの電源のオン/オフを切り替える場合、通常はフロントパネルの 電源 ボタンを使用することをお勧めします。

電源 ボタンを使用してプリンタの電源をオフにすると、プリントヘッドが自動的にプリントヘッド クリーナと接する形で格納され、プリントヘッドの乾燥を防止します。

ただし、長期間プリンタの電源をオフのままにする場合は、電源 ボタンで電源をオフにした後、背面の電源スイッチも切ることをお勧めします。

電源を入れ直すには、背面の電源スイッチをオンにしてから、電源 ボタンを押します。

プリンタの電源を入れると、プリンタの初期化にしばらく時間がかかります。 HP Designjet 4000シリーズの場合は約3分、Designjet 4500シリーズの場合は約3分30秒かかります。

再起動

状況によって、プリンタの再起動を勧めるメッセージが表示される場合があります。 その場合は、以下の手順に従います。

1. フロントパネルの 電源 ボタンを押してプリンタの電源を切り、しばらく待ちます。次に 電源 ボタンをもう一度押します。 これでプリンタが再起動されます。再起動されない場合は、手順2に進んでください。
2. フロントパネルの リセット ボタンを、 先の細い道具を使用して押します。 通常、これは手順1と同じ結果になりますが、手順1が機能しない場合にこの操作を行います。
3. 手順1と手順2のいずれを試しても再起動できない場合は、プリンタの背面にある電源スイッチをオフにします。
4. 電源コードを電源ソケットから取り外します。
5. 10秒間ほど待ちます。
6. 電源コードを電源ソケットに差し込み、電源スイッチを押してプリンタの電源を入れます。
7. フロントパネルの電源ランプが点灯しているかどうかを確認してください。 点灯しない場合は、電源 ボタンを押してプリンタの電源を入れます。

内蔵Webサーバにアクセスする

内蔵Webサーバを使用すると、コンピュータで一般的に使用されるWebブラウザから、プリンタおよび印刷ジョブをリモート管理することができます。

注記 内蔵Webサーバを使用するためには、プリンタの接続方法がTCP/IPを使用したものである必要があります。 プリンタの接続方法がAppleTalk、またはNovellを使用したものである場合、またはUSB接続の場合は、内蔵Webサーバは使用できません。

内蔵Webサーバは、以下のブラウザでアクセスできます。

- Internet Explorer 5.5以降 (Windows)
- Internet Explorer 5.2.1以降 (Mac OS 9)
- Internet Explorer 5.1以降 (Mac OS X)
- Netscape Navigator 6.01以降
- Mozilla 1.5以降
- Safari

内蔵Webサーバにアクセスするには、以下のいずれかの方法を使用します。

- コンピュータ上でWebブラウザを開き、プリンタのアドレスを入力します。 プリンタのアドレス (**http:**から始まる) を確認するには、フロントパネルで アイコンをハイライトさせます。
- プリンタ ドライバの [サービス] タブ (Windows) または [サービス] パネル (Mac OS) から、**[プリンタのキュー管理]**、または **[プリンタのキューを管理]** を選択します。
- プリンタ ソフトウェアがインストールされているWindows環境のコンピュータのデスクトップで、[HP プリンタ アクセス ツール] アイコンをダブルクリックして、使用するプリンタを選択します。

この手順に従っても内蔵Webサーバにアクセスできない場合は、CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。

Mac OS X 10.3以降でのIP over FireWireの使用

Mac OS X 10.3以降の環境にあり、プリンタにFireWireが接続されている場合は、プリンタのIPアドレスを設定して内蔵Webサーバを使用することができます。 設定するには、以下の手順に従います。

1. **[システム環境設定]** を開き、**[ネットワーク]** をクリックします。
2. **[表示]** プルダウン メニューから **[ネットワークポート設定]** を選択します。
3. リストにFireWireポート設定が表示されない場合は、**[新規]** ボタンをクリックし、**[ポート]** プルダウン メニューから **[内蔵FireWire]** を選択します。 新しいポート設定には、FireWireなどの名前を付けることができます。
4. 新しいポート設定を [ポート設定] リストの先頭にドラッグします。 この操作を行うことで、ポートにIPアドレスが確実に割り当てられます。
5. **[今すぐ適用]** をクリックします

FireWireポート設定を [ポート設定] リストの先頭にドラッグしなかった場合は、[表示] プルダウン メニューから新しいポート設定を選択し、**[IPv4を設定]** プルダウン メニューから **[手入力]** (または **[DHCPを使ってアドレスを手入力]**) を選択し、IPアドレスを入力します。 IP over FireWireを有効にする方法の詳細または最新情報については、http://www.apple.com/jp/ を参照してください。

FireWireを使用してプリンタが接続されている場合は、FireWireモジュールを使用してプリンタを追加することをお勧めします。FireWire印刷を十分に活用でき、IP over FireWireのみを使用してプリンタの内蔵Webサーバにアクセスできるようになります。

FireWire経由で接続されたプリンタがファスト イーサネットまたはギガビット イーサネット経由でネットワークに接続されている場合は、プリンタのIP over FireWireを使用することも、[プリント] ダイアログ ボックスから内蔵Webサーバにアクセスすることもできません。 ただし、FireWireを使用して印刷を行うことはできます。

また、プリンタをFireWireで共有している場合も、リモート ユーザは、[プリント] ダイアログ ボックスから内蔵Webサーバにアクセスすることはできませんが、印刷を行うことはできます。

内蔵Webサーバをパスワードで保護する

1. 内蔵Webサーバで、[設定] タブにある [セキュリティ] ページに移動します。
2. 使用するパスワードを **[新しいパスワード]** フィールドに入力します。
3. 確認のため、**[パスワードの確認]** フィールドにもう一度入力します。
4. **[パスワードの設定]** をクリックします。

これで、パスワードを入力しない限り、内蔵Webサーバで以下の操作を実行できなくなります。

- キュー内の印刷ジョブの管理 (キャンセル、削除)
- 印刷ジョブのプレビュー表示
- 保存ジョブの削除
- アカウンティング情報のクリア
- プリンタのファームウェアのアップデート

注記 パスワードを忘れてしまった場合は、CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。

スリープ モード設定を変更する

プリンタの電源をオンにしたまま一定時間使用しない場合、プリンタは電力節約のため自動的にスリープ モードへ移行します。 プリンタがスリープ モードに移行するまでの待機時間を変更するには、フロントパネルで アイコンを選択し、次に **[プリンタの設定]** - **[スリープ モード待ち時間]** を選択します。 必要な待ち時間をハイライトさせて 選択 ボタンを押します。

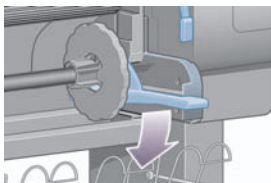
ブザーをオフにする

プリンタのブザーのオン/オフを切り替えるには、フロントパネルで アイコンを選択し、次に **[プリンタの設定]** - **[フロントパネル オプション]** - **[ブザーの有効化]** を選択します。

3 使用方法 (用紙)

ロール紙をスピンドルに取り付ける [4000]

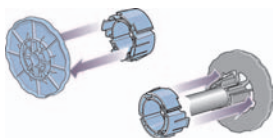
注記　このトピックはHP Designjet 4000シリーズ プリンタにのみ適用されます。

1. プリンタのキャスタがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。
2. スピンドル レバーを下げます。

3. まずスピンドルの右端 (1) をプリンタから取り外し、次に右に移動させてスピンドルの左端 (2) を取り外します。 取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないようにしてください。

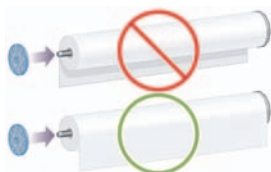
スピンドルの両端には、ロール紙を正しい位置に固定するストッパが付いています。 左端の青いストッパは、新しいロール紙を取り付けるために取り外すことができます。また、どのような幅のロール紙でも固定できるように、スピンドルに沿ってスライドさせることができます。

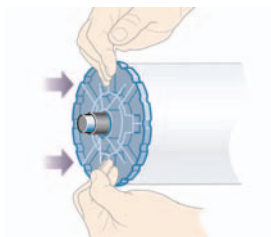
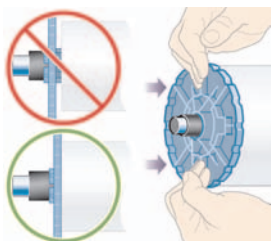
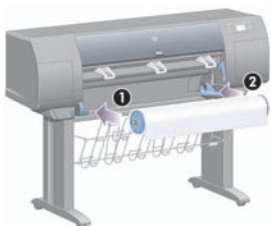
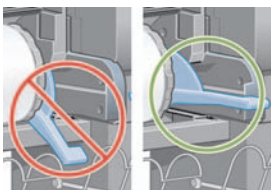
4. スピンドルの左端から青いストッパ (1) を取り外します。

使用方法 (用紙)

5. 厚紙製3インチ芯のロール紙を使用する場合は、プリンタに同梱されている芯アダプタを取り付けます。 以下を参照してください。

6. ロール紙は非常に長いため、スピンドルを台の上に水平に置いて、取り付けるようにしてください。 この作業には、2人必要になる場合があります。

7. 新しいロール紙をスピンドルに取り付けます。 用紙の向きは、図のようになるように注意してください。 向きを間違えた場合は、ロール紙を外して180度回転し、取り付け直します。

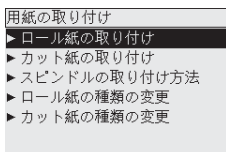
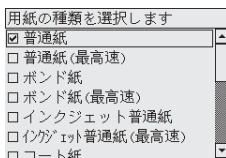
注記　スピンドルのラベルにも、正しい向きが表示されています。

スピンドルの右端で、ロール紙と固定ストッパの間に隙間がないことを確認してください。

8. スピンドルの左端に青いストッパを取り付け、ロール紙の端に向けて押し込みます。

9. ロール紙の端に押し込めるところまで適度な力で押し込みます。無理やり押し込まないようにしてください。

10. 青いストッパを左側にして、図の矢印 (1) と (2) が示すように、スピンドルの左側をまずプリンタに差し込み、次に右側を差し込みます。

11. スピンドルの右端が所定の位置にあるかどうかは、スピンドル レバーの位置が上 (水平) になっているかどうかで確認できます。 必要に応じて、レバーを動かしてください。

さまざまな種類の用紙を日常的に使用する場合は、異なる種類の用紙をあらかじめ取り付けたスピンドルを複数準備しておくと、ロール紙の交換をすばやく行うことができます。 追加のスピンドルは別途購入できます。

ロール紙をプリンタに取り付ける [4000]

注記　このトピックはHP Designjet 4000シリーズ プリンタにのみ適用されます。

この手順を始める前に、ロール紙をスピンドルに取り付けておく必要があります。 詳細は、ロール紙をスピンドルに取り付ける [4000]を参照してください。

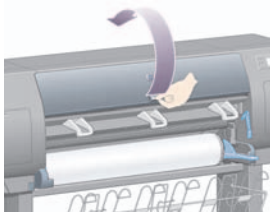
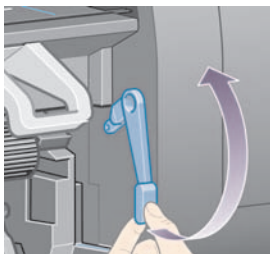
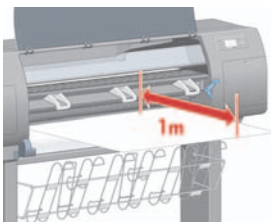
1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[用紙の取り付け]** - **[ロール紙の取り付け]** を選択します。

   用紙の取り付け
   ▶ ロール紙の取り付け
   ▶ カット紙の取り付け
   ▶ スピンドルの取り付け方法
   ▶ ロール紙の種類の変更
   ▶ カット紙の種類の変更

2. フロントパネルに、用紙の種類のリストが表示されます。

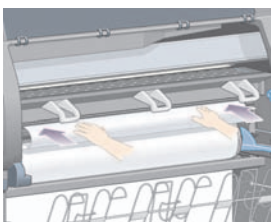
3. 使用する用紙の種類を選択します。 どれを選択すべきか分からない場合は、CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。

4. しばらくすると、フロントパネルにウィンドウを開くように要求するメッセージが表示されます。

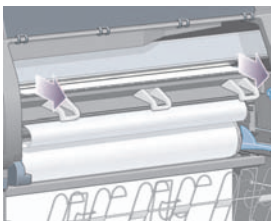
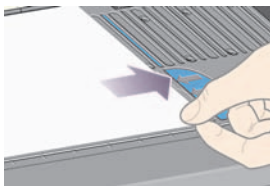
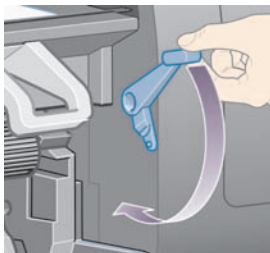
5. 用紙取り付けレバーを持ち上げます。

使用方法 (用紙)

6. 用紙を1m (3フィート) ほど引き出します。

7. ロール紙の先端を、黒いローラーの上に慎重に挿入します。

警告！ 用紙を取り付ける作業中、プラテンのゴムのホイールに触れないようにしてください。ホイールが回転して皮膚や髪、衣服を巻き込むおそれがあります。

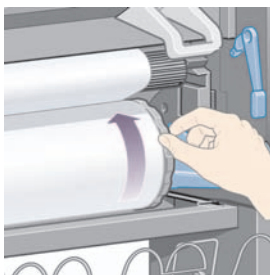
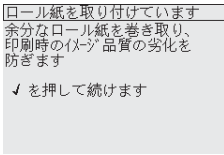
警告！ プリンタの用紙経路に指を入れないように注意してください。 指が入る十分なスペースがないため、怪我をするおそれがあります。

8. そのまましばらくすると、用紙が下の図のようにプリンタから出てきます。

注記 用紙の取り付け作業中に予期しない問題が発生した場合は、用紙が正しく取り付けられない [4000] を参照してください。

使用方法 (用紙)

9. 用紙の右端を、プラテンの右側にある青い線と半円マークの左端の位置に合わせます。

10. 用紙取り付けレバーを下げます。

11. フロントパネルに、用紙のたるんだ部分をロール紙に巻き直すよう要求するメッセージが表示されます。

12. 用紙のたるんだ部分をロール紙に巻き直します。 それには、ストッパを使用してロール紙を図の方向に回転させます。

13. ウィンドウを閉じます。

使用方法 (用紙)

14. フロントパネルに、用紙のたるんだ部分をロール紙に巻き直すようメッセージが再度表示されます。

ロール紙を取り付けています
余分なロール紙を巻き取り、
印刷時のイメージ品質の劣化を
防ぎます

✓ を押して続けます

15. 使用する用紙の種類でまだキャリブレーションが行われていない場合、カラー キャリブレーション機能がオンになっていると、ここでカラー キャリブレーションが実行されます。 詳細は、カラー キャリブレーションを実行するを参照してください。

16. フロントパネルに、**[印刷可能です]**というメッセージが表示され、プリンタが印刷できる状態になります。

プリンタから用紙を取り外す [4000]

注記　このトピックはHP Designjet 4000シリーズ プリンタにのみ適用されます。

ロール紙を取り外す前に、ロール紙がスピンドルに残っているかどうかを確認し、以下の該当する手順に従います。

通常の手順 (ロール紙がスピンドルに残っている場合)

ロール紙がスピンドルに残っている場合は、以下の手順に従います。

1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[用紙を取り外す]** - **[ロール紙の取り外し]** を選択します。

2. 通常は、これでプリンタから用紙が排出されます。

   用紙が自動的に排出されない場合は、フロントパネルに表示されるメッセージに従い、用紙取り付けレバーを持ち上げ、ストッパ (1) を手で回してプリンタの内部から用紙を完全に取り外します。用紙を取り外したら、用紙取り付けレバーを下げます。

3. ストッパ (1) を手で回して、用紙をロールに完全に巻きつけます。

4. 選択 ボタンを押します。

5. スピンドル レバー (2) を押し下げ、プリンタからロール紙を取り外します。 このとき、右端を先に引き出します。 取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないようにしてください。

ロール紙がスピンドルから外れている場合

ロール紙の端は見えるが、スピンドルから外れてしまっている場合は、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで **[用紙を取り外す]** を選択した場合は、キャンセル ボタンを押して、操作をキャンセルします。
2. 用紙取り付けレバーを持ち上げます。 フロント パネルにレバーに関する警告が表示されても無視してください。
3. プリンタ前面から用紙を引き出します。
4. スピンドル レバーを押し下げ、プリンタからスピンドルを取り外します。 このとき、右端を先に引き出します。 取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないようにしてください。
5. 用紙取り付けレバーを下げます。
6. フロント パネルに警告メッセージが表示される場合は、選択 ボタンを押してメッセージを消します。

用紙が見えない場合

ロール紙の端がプリンタの外に全く出ていない場合は、以下の手順に従います。

1. フロントパネルの 排紙/カット ボタン を押すと、残りの用紙が排出されます。
2. スピンドル レバーを押し下げ、プリンタからスピンドルを取り外します。 このとき、右端を先に引き出します。 取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないようにしてください。

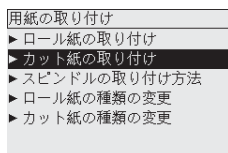
使用方法 (用紙)

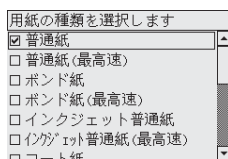
カット紙を取り付ける [4000]

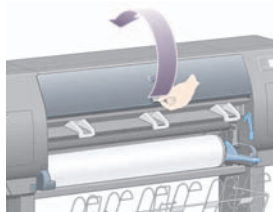
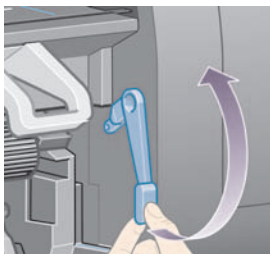
注記　このトピックはHP Designjet 4000シリーズ プリンタにのみ適用されます。

カット紙を取り付けるには、その前にロール紙を取り外す必要があります。 詳細は、プリンタから用紙を取り外す [4000]を参照してください。

1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[用紙の取り付け]** - **[カット紙の取り付け]** を選択します。

用紙の取り付け
- ▶ ロール紙の取り付け
- ▶ カット紙の取り付け
- ▶ スピンドルの取り付け方法
- ▶ ロール紙の種類の変更
- ▶ カット紙の種類の変更

注記　このオプションを選択する場合も、選択 ボタンを押す必要があります。

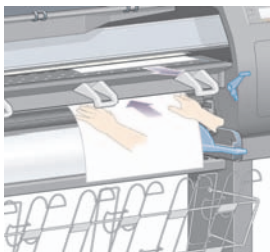
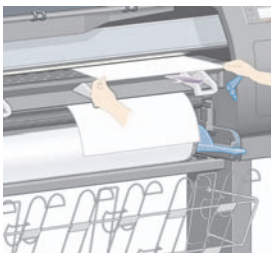
2. フロントパネルに、用紙の種類のリストが表示されます。

3. 使用する用紙の種類を選択します。 どれを選択すべきか分からない場合は、CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。

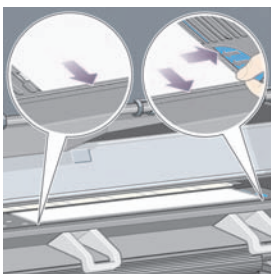
4. しばらくすると、フロントパネルにウィンドウを開くように要求するメッセージが表示されます。

5. 用紙取り付けレバーを持ち上げます。

6. 下の図のように、カット紙をプリンタに挿入します。

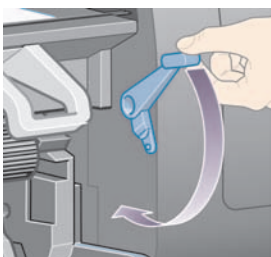
7. 下の図のように、用紙の先端がプリンタから出てくるまで挿入します。

警告！ 用紙を取り付ける作業中、プラテンのゴムのホイールに触れないようにしてください。ホイールが回転して皮膚や髪、衣服を巻き込むおそれがあります。

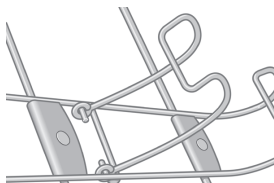
警告！ プリンタの用紙経路に指を入れないように注意してください。 指が入る十分なスペースがないため、怪我をするおそれがあります。

使用方法 (用紙)

8. 上の位置からカット紙を引き出します。

9. 用紙の先端を、プラテンの棒状の金属突起に合わせます。

   用紙の右端は、下の図のようにプラテン上の半円マークの左端の位置に合わせます。

10. ウィンドウを閉じます。

11. 用紙取り付けレバーを下げます。

12. 用紙が正しく取り付けられた場合は、フロントパネルに**[印刷可能です]** というメッセージが表示され、プリンタが印刷できる状態になります。 用紙の取り付け位置や合わせ方に問題がある場合は、フロントパネルに表示される指示に従います。

使用方法 (用紙)

13. 長さが900mm未満の用紙 (最大A1サイズ) に印刷する場合は、用紙スタッカの3つの可動式ストッパを起こします。

注記　カット紙に印刷する場合は、印刷品質を **[標準]** または **[高品質]** に選択することをお勧めします。詳細は、印刷品質を変更する を参照してください。

注記　用紙の取り付け作業中に予期しない問題が発生した場合は、用紙が正しく取り付けられない [4000] を参照してください。

カット紙を取り外す [4000]

注記　このトピックはHP Designjet 4000シリーズ プリンタにのみ適用されます。

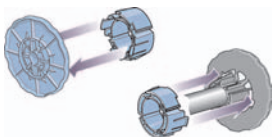
プリンタのフロントパネルで、□ アイコンを選択し、次に **[用紙を取り外す]** - **[カット紙の取り外し]** を選択します。

インクを乾かすため、カット紙はプリンタにしばらく保持されます (CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照)。

ロール紙をスピンドルに取り付ける [4500]

注記　このトピックはHP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

1. グレーのボタンを押し、スピンドルから青いストッパを取り外します。

2. 厚紙製3インチ芯のロール紙を使用する場合は、プリンタに同梱されている芯アダプタを取り付けます。 以下を参照してください。

3. ロール紙は非常に長くて重いので、スピンドルを台の上に水平に置いて、取り付けるようにしてください。 この作業には、2人必要になる場合があります。

4. 新しいロール紙をスピンドルに取り付けます。 用紙の向きは、図のようになるように注意してください。 向きを間違えた場合は、ロール紙を外して180度回転し、取り付け直します。

注記　各ストッパの裏側に、正しい向きを示す図があります。

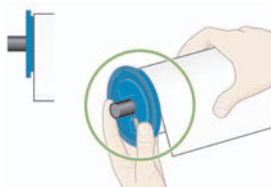
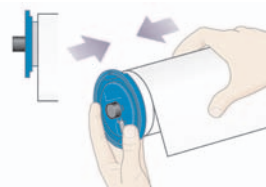
5. ロール紙を黒いストッパに向けてカチッと音がするまで押します。

注記　この方法で問題がある場合は、スピンドルを垂直に立てて、ロール紙がストッパに重力で押されるようにします。

6. ロール紙と黒いストッパの間に隙間がないことを確認してください。

使用方法 (用紙)

7. スピンドルのもう一方の端に青いストッパを取り付け、ロール紙の端に向けて押し込みます。

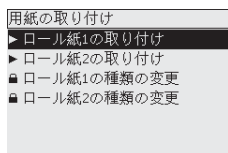
8. ロール紙と青いストッパの間に隙間がないことを確認してください。

さまざまな種類の用紙を日常的に使用する場合は、異なる種類の用紙をあらかじめ取り付けたスピンドルを複数準備しておくと、ロール紙の交換をすばやく行うことができます。 追加のスピンドルは別途購入できます。

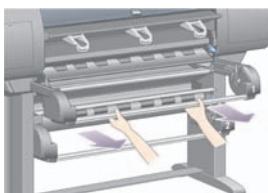
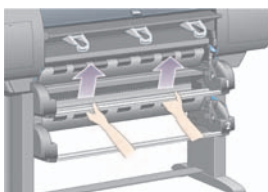
ロール紙をプリンタに取り付ける [4500]

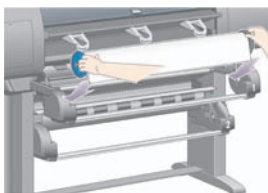
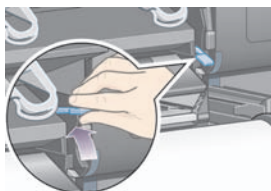
注記 このトピックはHP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

この手順を始める前に、ロール紙をスピンドルに取り付けておく必要があります。 詳細は、ロール紙をスピンドルに取り付ける [4500]を参照してください。

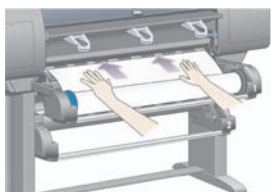
1. プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に **[用紙の取り付け]** - **[ロール紙1の取り付け]** または **[ロール紙2の取り付け]** を選択します。

用紙の取り付け
▶ ロール紙1の取り付け
▶ ロール紙2の取り付け
ロール紙1の種類の変更
ロール紙2の種類の変更

ヒント　この手順はオプションです。この手順を省略し、以下のような方法でスピンドル用の引き出しを取り出すと、フロント パネルを使用せずに用紙の取り付けを開始することができます。

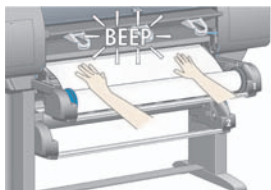
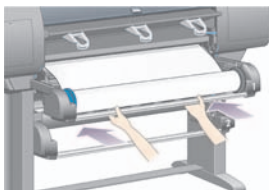
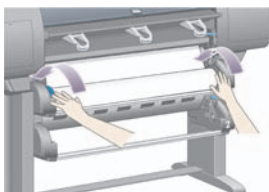
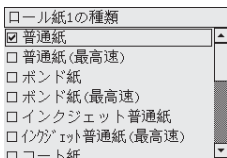
2. 引き出しを上部に少し持ち上げて手前に引き出します。

3. ロール紙スピンドルを引き出しに取り付けます。 図のように、スピンドルの両端のストッパに手をかけてロール紙を持ちます。 用紙の表面に触らないようにしてください。

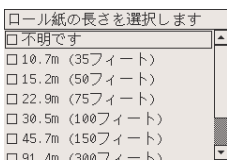
注意　重いロール紙を取り付ける場合は2人で作業します。

4. 用紙取り付けレバーを持ち上げます。 上部のロール紙を取り付ける場合は上部のレバーを、下部のロール紙を取り付ける場合は下部のレバーを持ち上げます。

5. 用紙の先端にしわ、破れ、極度のカールがないことを確認します。これらの症状によって紙詰まりが発生する場合があります。 必要に応じて、取り付ける前にロール紙の先端をカットします (手動カッターで用紙をカットする [4500] を参照)。

6. ロール紙の先端を、プリンタ前面の手差し用紙フィーダに慎重に挿入します。

警告！ 手差し用紙フィーダに指を入れないように注意してください。 指が入る十分なスペースがないため、怪我をするおそれがあります。

7. 用紙が奥まで挿入されると、プリンタのブザーが鳴ります。

8. 用紙取り付けレバーを下げます。

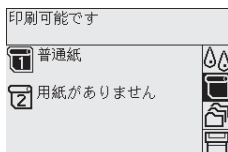
使用方法 (用紙)

9. 引き出しを元の位置に押し戻します。

10. 用紙のたるんだ部分をロール紙に巻き戻します。 それには、ストッパを使用してロール紙を図の方向に回転させます。

11. フロントパネルに、用紙の種類のリストが表示されます。

12. 使用する用紙の種類を選択します。 どれを選択すべきか分からない場合は、CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。

13. フロントパネルに、取り付けるロール紙の長さを指定するよう求めるメッセージが表示されます。 指定すると、ロール紙の取り付けが開始します。

注記 ロール紙の長さの指定は必須ではなく (**[不明です]** を選択できます)、プリンタの動作に影響しません。 ただし長さを指定すると、その後使用した用紙の長さがプリンタによって記録され、未使用分の長さが (最初に指定された値に基づき) 表示されます。

14. プリンタによるロール紙の取り付けが最初に失敗した場合は、自動的に用紙が巻き戻され、取り付けが再試行されます。手作業は必要ありません。

取り付けに再び失敗した場合は、もう1度試行されますが、その場合は、フロントパネルに手作業が必要であるというメッセージが表示されます。

15. 使用する用紙の種類でまだキャリブレーションが行われていない場合、カラー キャリブレーション機能がオンになっていると、ここでカラー キャリブレーションが実行されます。 詳細は、カラー キャリブレーションを実行するを参照してください。

16. フロントパネルに、**[印刷可能です]**というメッセージが表示され、プリンタが印刷できる状態になります。

現在印刷可能なロール紙 (上の例ではロール紙1) が、フロントパネルに表示されます。

プリンタから用紙を取り外す [4500]

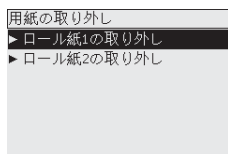
注記　このトピックはHP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

ロール紙を取り外す前に、ロール紙がスピンドルに残っているかどうかを確認し、以下の該当する手順に従います。

通常の手順 (ロール紙がスピンドルに残っている場合)

ロール紙がスピンドルに残っている場合は、以下の手順に従います。

1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[用紙の取り外し]** - **[ロール紙1の取り外し]** または **[ロール紙2の取り外し]** を選択します。

用紙の取り外し
▶ ロール紙1の取り外し
▶ ロール紙2の取り外し

ヒント 用紙取り付けレバーを上げ下げして、フロントパネルを使わずに用紙の取り外しを開始することもできます。

2. 通常は、これでプリンタから用紙が排出されます。

   用紙が自動的に排出されない場合は、フロントパネルに表示されるメッセージに従い、用紙取り付けレバーを持ち上げ、ストッパを手で回してプリンタの内部から用紙を完全に取り外します。 用紙を取り外したら、用紙取り付けレバーを下げます。

3. ストッパを手で回して、用紙をロールに完全に巻きつけます。

4. 選択 ボタンを押します。

5. 引き出しを上部に少し持ち上げて手前に引き出します。

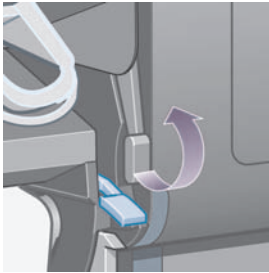
6. ロール紙の右端を最初に引き出して、プリンタから取り外します。 取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないようにしてください。

ロール紙がスピンドルから外れている場合

ロール紙の端は見えるが、スピンドルから外れてしまっている場合は、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで **[用紙の取り外し]** を選択した場合は、キャンセル ボタンを押して、操作をキャンセルします。

2. 用紙取り付けレバーを持ち上げます。

3. ドライブ ピンチ レバーを上げます。

フロント パネルにレバーに関する警告が表示されても無視してください。

4. プリンタ前面から用紙を引き出します。

5. 引き出しを上部に少し持ち上げて手前に引き出します。

6. ロール紙の右端を最初に引き出して、プリンタからスピンドルを取り外します。 取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないようにしてください。

7. ドライブ ピンチ レバーと用紙取り付けレバーを下げます。

8. フロント パネルに警告メッセージが表示される場合は、選択 ボタンを押してメッセージを消します。

用紙が見えない場合

ロール紙の端がプリンタの外に全く出ていない場合は、以下の手順に従います。

1. フロントパネルの 排紙/カット ボタン を押すと、残りの用紙が排出されます。

2. 引き出しを上部に少し持ち上げて手前に引き出します。

3. ロール紙の右端を最初に引き出して、プリンタからスピンドルを取り外します。 取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないようにしてください。

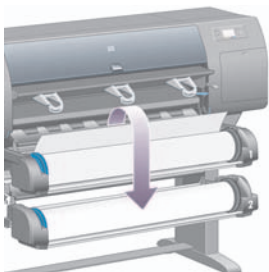
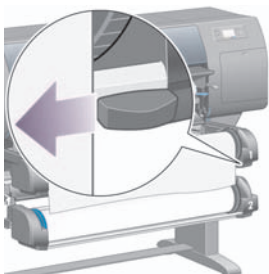
使用方法 (用紙)

手動カッターで用紙をカットする [4500]

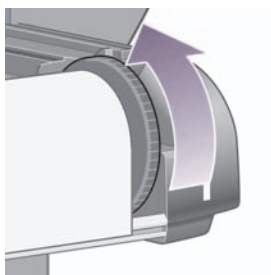
注記　このトピックはHP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

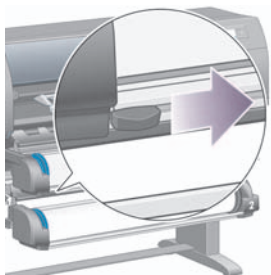
用紙の先端が汚れている場合やそろっていない場合、手動カッターを使用して先端をカットすることができます。 これにより、用紙の取り付け時の紙詰まりを防止できます。

1. カットするロール紙の引き出しを開きます。

2. 左手で、用紙の先端をロールの上に引き出し、引き出しの前で下に引きます。

3. 引き出しの右側にある手動カッターの場所を確認します。

4. 右手でカッターをつかみ、カッターの上部カバーの説明に従って回転させて切れ目を入れ、カッターを水平方向にゆっくりと引きます。

5. カットした用紙を取り除きます。

6. スピンドルを後方に回転させ、用紙の先端を邪魔にならない場所に移動します。

7. カッターを引き出しの右側に戻します。

使用方法 (用紙)

用紙に関する情報を表示する

プリンタのフロントパネルで、 または アイコンを選択し、次に [用紙情報] を選択して、情報が必要な給紙方法を選択します。

フロントパネルに、以下の情報が表示されます。

- ロール紙またはカット紙のステータス

注記 HP Designjet 4500シリーズ プリンタは、ロール紙にのみ印刷します。

- 用紙の製造者名
- 選択した用紙の種類
- 用紙の幅 (mm) (プリンタによる推定値)
- 用紙の長さ (mm) (プリンタによる推定値)

用紙が取り付けられていない場合は、**[ステータス： 用紙がありません]**というメッセージが表示されます。

内蔵Webサーバの [サプライ品] ページにも、製造者名を除いて同じ情報が表示されます。

メディア プロファイルをダウンロードする

サポートされている用紙の種類にはそれぞれ独自の特徴があるため、 最適な印刷品質を実現するために、用紙の種類によってプリンタの印刷方法が変更されます。 用紙には、多量のインクを必要とする用紙もあれば、乾燥に長い時間を要する用紙もありますが、 用紙の種類ごとに必要な設定の詳細をプリンタに伝える必要があります。 この詳細を「メディア プロファイル」といいます。 メディア プロファイルには、用紙の色の特徴を記述するICCプロファイルや色とは直接関連がない用紙の特徴および要件も含まれています。 このプリンタの既存のメディア プロファイルは、プリンタのソフトウェアにすでにインストールされています。

ただし、プリンタで使用可能なすべての用紙を表示するとスクロールに不便なため、このプリンタでは、一般的に最もよく使用される用紙の種類のメディア プロファイルのみが用意されています。 メディア プロファイルのない種類の用紙を購入した場合、フロントパネルでその用紙の種類は選択できません。 該当するメディア プロファイルをダウンロードするには、以下にアクセスします。

- http://www.hp.com/support/designjet-downloads/ (HP Designjet 4000シリーズ)
- http://www.hp.com/support/designjet/profiles4500/ (HP Designjet 4500)
- http://www.hp.com/support/designjet/profiles4500ps/ (HP Designjet 4500ps)
- http://www.hp.com/support/designjet/profiles4500mfp/ (HP Designjet 4500mfp)

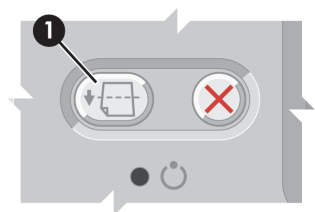
必要なメディア プロファイルがWeb上にない場合、プリンタの最新のファームウェアに追加されている場合があります。 ファームウェアのリリース ノートを参照して、情報を確認してください。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。

HP純正以外の用紙を使用する

HP純正用紙は、このプリンタでの使用について完全にテスト済みであるため、最高の印刷品質を得ることができます。

他のメーカーの用紙もお使いいただけますが、 その場合は、フロントパネルで、使用する用紙に最も近い種類のHP純正用紙を選択してください。 印刷結果がよくない場合は、複数の異なるHP純正用紙の設定を試してみて、最も適した印刷品質になる設定を選択してください。 どの用紙でも印刷結果に満足できない場合は、一般的なヒント を参照してください。

乾燥時間をキャンセルする

フロントパネルの 排紙/カット ボタン (1) を押します。

△ **注意** 乾燥時間が足りないと、印刷品質が低下することがあります。

乾燥時間を変更する

印刷状況によっては、乾燥時間を変更する必要があります。

 アイコンを選択し、次に **[乾燥時間の選択]** を選択します。 [長い]、[最適]、[短い]、[なし] のいずれかを選択できます。

詳細については、CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。

4 使用方法 (印刷ジョブ)

内蔵Webサーバでジョブを送信する

1. 内蔵Webサーバにアクセスします (詳細は、内蔵Webサーバにアクセスする を参照してください)。
2. **[ジョブの送信]** ページに移動します。

3. [参照] でコンピュータ内を検索し、印刷するファイルを選択します。

注記　内蔵Webサーバ経由でジョブを送信して印刷する場合は、プリンタ ドライバは必要ありません。また、ファイルのネイティブ アプリケーションがコンピュータにインストールされている必要もありません。

4. 複数のファイルを送信する場合は、**[ファイルの追加]** ボタンをクリックして、必要なファイルをすべて選択します。

注記　Windows版のInternet Explorerを使用している場合は、**[ファイルの追加]** ボタンが表示されます。このボタンでは、追加ファイルを一度に 1 つ選択できます。

5. ジョブのオプションを設定します。

   オプションを **[デフォルト]** のままにした場合、ジョブに保存されている設定が使用されます。 ジョブにオプションが設定されていない場合は、プリンタの設定が使用されます。 プリンタの設定はフロントパネルから変更できます。内蔵Webサーバの [デバイスの設定] ページで変更できるものもあります。

6. **[印刷]** ボタンをクリックします。

ジョブを保存する

ジョブ設定 (サイズや品質など) を後で変更してジョブを再印刷する場合は、ジョブをプリンタに保存しておくと再送信する必要がなくなります。

注記 変更せずに再印刷する場合は、ジョブを保存しなくても印刷のキューから再印刷できます。

ジョブは、印刷のために送信中のときのみ保存できます。

1. 内蔵Webサーバにアクセスします (詳細は、内蔵Webサーバにアクセスする を参照してください)。
2. **[ジョブの送信]** ページに移動します。
3. [参照] でコンピュータ内を検索し、印刷するファイルを選択します。
4. 複数のファイルを送信する場合は、**[ファイルの追加]** ボタンをクリックして、ファイルを追加します。 同時に送信されるファイルは、すべて同じジョブ設定になります。

   注記 WindowsおよびInternet Explorerを使用している場合は、**[ファイルの追加]** ボタンをクリックすると複数のファイルを一度に選択できます。
5. [ジョブの設定] で、**[プリンタにジョブを保存する]** オプションを選択することをお勧めします。
6. 他のジョブ オプションも設定します。
7. **[印刷]** ボタンをクリックします。

保存したジョブを印刷する

1. 内蔵Webサーバにアクセスします (詳細は、内蔵Webサーバにアクセスする を参照してください)。
2. **[保存ジョブ]** ページに移動します。
3. 各ジョブ名の横にあるチェック ボックスをオンにして、印刷するジョブを選択します (複数可)。
4. **[印刷]** ボタンをクリックして、ジョブを元の設定で印刷します。または、**[印刷の詳細設定]** ボタンをクリックして、設定を変更します。

ジョブをキャンセルする

ジョブはキャンセルすることができます。それには、フロントパネルの キャンセル ボタンを押すか、内蔵Webサーバでジョブを選択し、**[キャンセル]** アイコンを選択します。

印刷終了時と同じように用紙が排出されます。

注記 複数ページのジョブやサイズの大きいファイルの場合、他のファイルよりも印刷が停止するまでに時間がかかります。

印刷キューを管理する

このプリンタでは、現在のページの印刷中に他のページをキューに保存することができます。 キューには複数のジョブのページを保存できます。

注記 ここに記載された情報は、プリンタに同梱のドライバまたは内蔵Webサーバを使用して印刷ジョブを送信する場合にのみ該当します。

キューをオフにする [4000]

HP Designjet 4000シリーズでは、内臓Webサーバからキューをオフにすることができます (**[設定]** タブ - **[デバイスの設定]** - **[キューイング]** を選択)。または、フロントパネルで、 アイコンを選択して **[ジョブ管理オプション]** - **[キューの無効化]** を選択します。

HP Designjet 4500シリーズでは、キューをオフにすることはできません。

[印刷の開始] オプション

注記 [印刷の開始] オプションは、PostScriptジョブでは使用できません。

キューにあるファイルの印刷を開始する条件を選択できます。 内蔵Webサーバで、**[設定]** タブ - **[デバイスの設定]** - **[印刷の開始]** を選択します。または、フロントパネルで、アイコンを選択して **[ジョブ管理オプション]** - **[印刷の開始]** を選択します。

選択できるオプションは3つあります。

- **[処理後]**： ページ全体の処理が終わってから印刷が開始されます。 処理速度は最も遅く、印刷品質は最高になります。
- **[すぐに]**： ページを処理しながら印刷が行われます。 処理速度は最速ですが、データ処理のため印刷が途中で停止することがあります。 濃色を使用した複雑なイメージにはお勧めできません。
- **[最適化]**： デフォルトの設定です。ページの印刷開始に最適な条件をプリンタが算出します。 通常、**[処理後]** および **[すぐに]** の中間に位置する設定になります。

キュー内のジョブを識別する

キューの内容を確認するには、内蔵Webサーバ (**[情報]** - **[ジョブ キュー]**) を使用するのが最適です。キューの管理や、各ジョブの詳細情報の確認を行うことができます (情報を確認するには、ファイル名をクリックします)。

また、キューはフロントパネルから管理することもできます。 フロントパネルからキューを管理するには、アイコンを選択して **[ジョブのキュー]** を選択します。キュー内のジョブの一覧が表示されます。

各ジョブには識別子が付いていて、以下の形式で表示されます。

<キュー内の位置>: <イメージ名>

現在印刷中のジョブは、位置が「0」になります。 次に印刷されるジョブは「1」、直前に印刷されたジョブは「-1」になります。

キュー内のジョブに優先順位を付ける

キュー内のあるジョブを次に印刷されるように指定するには、そのジョブを選択して **[再印刷]** (内蔵Webサーバ) または **[キューの先頭に移動する]** (フロントパネル) を選択します。

ネスティングがオンになっている場合は、優先させたジョブも他のジョブと一緒にネスティングに残ります。 このジョブのみを次に印刷するには、ネスティングをオフにしてから、上記の手順でジョブをキューの先頭に移動します。

ジョブをキューから削除する

通常は、印刷後にジョブをキューから削除する必要はありません。新しいファイルが送信されると、ジョブはキューの末尾から自動的に削除されます。 ただし、ファイルを間違って送信し、それを印刷しないという場合は、そのファイルを削除することができます。ファイルを選択して **[削除]** (内蔵Webサーバまたはフロントパネル) を選択します。

同じ方法で、まだ印刷されていないジョブを削除することもできます。

現在印刷中のジョブ (内蔵Webサーバでステータスが **[印刷しています]**、またはフロントパネルでキューの位置が「0」のジョブ) をキャンセルして削除するには、内蔵Webサーバで [キャンセル] をクリックするか、フロントパネルの キャンセル ボタンを押し、次にジョブをキューから削除します。

キュー内のジョブのコピーを作成する

キュー内のジョブのコピーを作成するには、内蔵Webサーバでジョブを選択し、**[再印刷]** をクリックして、部数を指定します。 ジョブがキューの先頭に移動します。

この作業はフロントパネルから行うこともできます。フロントパネルで **[部数]** を選択し、部数を指定して 選択 ボタンを押します。 上記の設定は、ソフトウェアで指定された値より優先されます。

注記 回転がオンになっている場合は、各コピーもすべて回転した状態で印刷されます。

ジョブの印刷が終了している場合は、**[キューの先頭に移動する]** を使用して、ジョブをキューの先頭に移動します。

ジョブ ステータスについて

表示されるジョブ ステータスのメッセージには、以下のものがあります。

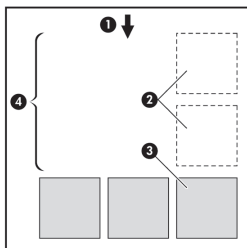
- **受信中です**： プリンタはコンピュータからジョブを受信しています。
- **処理を待っています**：ジョブはプリンタによって受信され、レンダリングを待っています (内蔵Webサーバから送信したジョブの場合のみ)。
- **データを処理しています**： プリンタはジョブの解析およびレンダリング中です。
- **印刷の準備を行っています**： プリンタはジョブの印刷前に出力システムの確認を実行中です。
- **印刷待ち**：ジョブはプリンタ エンジンが解放されて印刷を開始できるようになるのを待っています。
- **ネスティング待ち**： プリンタはネスティングがオンに設定されており、ネストを完了して印刷を開始するために他のジョブを待っています。

- **一時停止しています**： ジョブはプレビューを表示するオプションを使用して送信され、一時停止中です。

注記　ジョブの印刷中にプリンタが停止した場合、キュー機能がオンになっていると、一部しか印刷されていないジョブはプリンタが再起動したときに、キューに **一時停止しています** と表示されます。 ジョブを再開すると、中断されたページから印刷が開始されます。

- **一時停止しています**： 必要な用紙がプリンタに取り付けられていないため、ジョブを印刷できません (「一時停止しています」というメッセージが表示される [4500] を参照)。ジョブを再開するには、必要な用紙を取り付けて **[続行]** をクリックします。
- **アカウンティング情報を待っています**：プリンタがすべてのジョブにアカウントIDを要求しているため、ジョブを印刷できません。ジョブを再開するには、アカウントIDを入力して **[続行]** をクリックします。
- **印刷しています**
- **乾燥しています**
- **用紙をカットしています**
- **用紙を排出しています**
- **キャンセルしています**： ジョブはキャンセル中ですが、プリンタのジョブ キューには残ります。
- **削除しています**： プリンタからジョブを削除しています。
- **印刷しました**
- **キャンセルしました**： プリンタによってジョブがキャンセルされました。
- **ユーザの指示によりキャンセルしました**
- **ジョブがありません**： ジョブに印刷するものが含まれていません。

ロール紙を節約するためにジョブをネスティングする

ネスティングとは、ページを順々にではなく並べて用紙に配置することです。 これにより、用紙を節約することができます。

1. 用紙送りの方向
2. ネスティングがオフ
3. ネスティングがオン
4. ネスティングによって節約された用紙

プリンタがページをネスティングする場合

次の両方に当てはまる場合に、ページがネスティングされます。

- プリンタにカット紙ではなくロール紙が取り付けられている。
- フロントパネルの [ジョブ管理] メニューまたは内蔵Webサーバの [デバイスの設定] ページで、**[ネスティング]** がオンになっている。

ネスティングが可能なページ

ページが大きすぎてロール紙に横に並べて収まらない場合やページが多すぎてロール紙の残りの長さに収まらない場合を除いて、すべてのページをネスティングできます。 ネスティングによって1つのグループになったページは、2つのロール紙間で分割できません。

ネスティングに適したページ

同じネスト内にページを入れるには、個々のページが次のすべてに当てはまる必要があります。

- すべてのページが同じ品質設定 ([高速 (ドラフト)]、[標準 (高画質)]、または [高品質 (最高画質)]) になっている。
- すべてのページで、[描画/テキスト] が最適化されているか、または [イメージ] が最適化されている。
- すべてのページの [高精細] 設定が同じである。
- すべてのページの [マージン] 設定が同じである ([広い]、または [ふつう])。
- すべてのページの [左右反転] 設定が同じである。
- すべてのページの [レンダリング用途] 設定が同じである。
- すべてのページの [カッター] 設定が同じである。

- すべてのページのカラー調整が同じである。 これらの設定は、Windowsドライバでは [カラー詳細設定]、Mac OSドライバでは [CMYK設定] と呼ばれています。
- すべてのページがカラーか、グレースケールである (一部がカラー、一部がグレースケールではない)。
- すべてのページが次の2つのグループのいずれかに属している (2つのグループは同じネストに混在できない)。
  - HP-GL/2、RTL、CALS G4
  - PostScript、PDF、TIFF、JPEG
- 解像度が300dpiを超えるJPEG、TIFF、およびCALS G4ページは、他のページとネスティングできない場合がある。

プリンタが別のファイルを待つ時間

プリンタはネスティングを最適化できるように、ファイルを受け取ってから待ち、その後に続くページがファイルにネスティングされているか、既にキューに入っているページにネスティングされているかを確認します。 この待機時間は、ネスティング待ち時間と呼ばれます。 工場出荷時のデフォルトのネスティング待ち時間は、2分です。つまり、プリンタは、最後のファイルを受け取ってから、最後のネストを印刷するまでに最大2分間待機することになります。 この待ち時間は、プリンタのフロントパネルから変更できます。 アイコンをクリックして、**[ジョブ管理オプション]** - **[ネスティングの設定]** - **[待ち時間の選択]** を選択します。 使用可能な範囲は、1～99分です。

プリンタがネスティングのタイムアウトまで待っている間、残り時間がフロントパネルに表示されます。 ネストの印刷 (ネスティング待機のキャンセル) は、キャンセル ボタンを押すことで実行できます。

5 使用方法 (スタッカ) [4500]

注記 この章は、HP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

スタッカはHP Designjet 4500シリーズ プリンタ用の別売オプションです。 これは、標準の用紙スタッカのかわりに、印刷した用紙を平らに積み重ねることのできるオプションです。

- スタッカを取り付ける
- スタッカを取り外す
- スタッカ使用時にロール紙を変更する
- スタッカ ローラーをクリーニングする
- スタッカを移動または保管する

スタッカを取り付ける

1. スタッカとプリンタの間にケーブルを接続します。

2. スタッカの電源を入れます。
3. フロントパネルの アイコンを選択し、次に **[アクセサリ]** - **[スタッカ]** - **[スタッカをインストール]** を選択します。 フロントパネルに、スタッカをプリンタに接続するよう求めるメッセージが表示されます。
4. スタッカの上に、プリンタのディフレクターに合うラッチが2つあります。 スタッカをプリンタに取り付けるには、最初に一方の側を取り付けてから、次にもう一方の側を取り付けます (これが最も無理なくできる方法です)。

ウォームアップ時間が必要です。特に、スタッカの電源を入れた直後に必要です。

注記 スタッカはカットされた紙に使用します。 スタッカの電源を入れると、カッターが自動的に有効になります。 スタッカの電源が切れている場合、または用紙をカットできない場合 (キャンバスなど) は動作しません。

スタッカを取り外す

1. スタッカを取り外すには、フロントパネルの アイコンを選択し、次に **[アクセサリ]** - **[スタッカ]** - **[スタッカをアンインストール]** を選択します。
2. フロントパネルに、スタッカをプリンタから取り外すよう求めるメッセージが表示されます。 最初に一方の側からスタッカを引き出して取り外し、次にもう一方の側から取り外します。

3. スタッカ ケーブルを取り外します。

スタッカ使用時にロール紙を変更する

1. スタッカを扱いやすくするために、積み重なったカットされた紙をスタッカから取り除きます。
2. 最初にスタッカの片側、次にもう一方の側をプリンタから取り外します。
3. ロール紙を通常の方法で変更します。プリンタから用紙を取り外す [4500] および ロール紙をプリンタに取り付ける [4500] を参照してください。

スタッカ ローラーをクリーニングする

警告！ スタッカは使用中に熱くなります。 クリーニングする前に、電源を切って熱が冷めるのを待ちます。

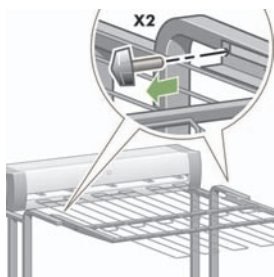
インクはスタッカ ローラー本体および小さい出力ローラーに付着しやすいため、水を含ませた布で定期的にクリーニングする必要があります。

クリーニングする頻度は、使用する用紙の種類によってある程度決まります。

- 普通紙、コート紙、または厚手コート紙の場合は、月に一度で十分です。
- 半透明紙、ベラム紙、光沢紙、またはトレーシングペーパーの場合は、最も遅い印刷モードで使用するときでも、週に一度のクリーニングが必要な場合があります。

スタッカを移動または保管する

スタッカを移動または保管する前に、いくつかの手順を実行して、必要なスペースを減らします。

1. スタッカ トレイの両側のネジを外し、スタッカ トレイを垂直にします。

2. 脚拡張部からピンを取り外し、脚拡張部を上向きに回転させます。

6 使用方法 (イメージの調整)

ページ サイズを変更する

ページ サイズは、以下の方法で指定することができます。

- Windows用プリンタ ドライバを使用する場合： [用紙/品質] タブを選択して **[用紙サイズ]** を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバを使用する場合： ファイル メニューから **[ページ設定]** を選択し、**[対象プリンタ]** プルダウン メニューで、使用するプリンタを選択し、次に **[用紙サイズ]** を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合： [ジョブの送信] ページの [ページ サイズ] セクションに移動します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルト オプション]** - **[用紙オプション]** - **[用紙サイズの選択]** を選択します。

注記　プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバで用紙サイズが設定されている場合、フロントパネルで設定した用紙サイズよりもこちらが優先されます。

印刷品質を変更する

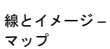
このプリンタには、3種類の印刷品質オプションが用意されています。**[高品質]**、**[標準]** および **[高速]** の3種類です。 また、印刷品質に影響を与える補足的なオプションとして、**[最適化：描画/テキスト]** または **[最適化：イメージ]**、および **[高精細]** の2種類も用意されています。 これらのオプションの選択については、印刷品質設定を選択する を参照してください。

印刷品質は、以下の方法で指定することができます。

- Windows用プリンタ ドライバを使用する場合： [用紙/品質] タブの [印刷品質] セクションに移動します。
- Mac OS用プリンタ ドライバを使用する場合： [イメージ品質] パネルに移動します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合： [ジョブの送信] ページの [イメージ品質] セクションに移動します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルト オプション]** - **[印刷品質]** を選択します。

注記　プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

注記　プリンタに送信中または送信済みのページの印刷品質は、印刷がまだ開始されていない場合でも変更できません。

印刷品質設定を選択する

以下の表は、ロール紙を使用している場合に推奨される印刷品質設定と用紙の種類を、印刷物の種類ごとにまとめたものです。 必ずしもこの表に従う必要はありませんが、用紙を選択する際に参考してください。

カット紙を使用する場合は、印刷品質を **[高品質]** に設定することをお勧めします。

印刷品質設定の変更方法については、印刷品質を変更する を参照してください。

注記　印刷密度の高いイメージには、厚い用紙 (厚手紙または光沢紙) を使用してください。

印刷内容	印刷品質の設定			用紙の種類
	印刷品質	最適化	高精細	
線 (ドラフト)	高速	描画/テキスト	オフ (高品質/低速度の場合はオン)	インクジェット普通紙 普通紙 半透明紙* コート紙
線	標準	描画/テキスト	オフ	インクジェット普通紙 ボンド紙 半透明紙* コート紙
線と塗りつぶし (高速)	標準	描画/テキスト	オン	インクジェット普通紙 ボンド紙 半透明紙* コート紙 厚手コート紙 光沢フォト用紙2
線と塗りつぶし	高品質	描画/テキスト	オフ	インクジェット普通紙 ボンド紙 半透明紙* コート紙 厚手コート紙 光沢フォト用紙2
線とイメージ – 高画質マップ	高品質	描画/テキスト	オン	コート紙

印刷内容	印刷品質の設定			用紙の種類
	印刷品質	最適化	高精細	
				厚手コート紙 光沢フォト用紙2
店内広告	標準	イメージ	オフ	コート紙 厚手コート紙 光沢フォト用紙2
レンダリング	高品質	イメージ	オフ	厚手コート紙 光沢フォト用紙2
写真	高品質	イメージ	オフ	光沢フォト用紙2

*半透明紙には、ベラム紙、半透明ボンド紙、トレーシングペーパー、クリアフィルム、マット フィルムが含まれます。

印刷解像度の技術的な詳細は、CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。

最高速度で印刷する

フロントパネルには、最高速度で印刷するための用紙設定が2種類 ([インクジェット普通紙 (最高速)]* と [ボンド紙 (最高速)] †) 用意されています。

印刷内容	印刷品質の設定			用紙の種類 (フロントパネル)
	印刷品質	最適化	高精細	
線 (ドラフト)	高速	描画/テキスト	オフ	インクジェット普通紙(最高速)*

印刷内容	印刷品質の設定			用紙の種類 (フロントパネル)
	印刷品質	最適化	高精細	
				ボンド紙(最高速)†

*[インクジェット普通紙 (最高速)] を使用する場合は、HPインクジェット普通紙を取り付け、フロントパネルの用紙の種類のリストから [インクジェット普通紙 (最高速)] を選択してください。

†[ボンド紙 (最高速)] を使用する場合は、HPスタンダード普通紙を取り付け、フロントパネルの用紙の種類のリストから [ボンド紙 (最高速)] を選択してください。

マージンを調整する

プリンタのマージンを調整することで、アプリケーションで使用できるページの印刷可能範囲を決めることができます。 マージン オプションは、[狭い]、[標準マージン]、[広い] の 3 種類です (マージンを追加せずに印刷する を参照)。 マージンの寸法については、CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。

マージンは、以下の方法で指定することができます。

- Windows HP-GL/2プリンタ ドライバの場合： デフォルトで [標準マージン] が選択されています。 別のオプションを選択するには、[用紙/品質] タブを選択して **[マージン]** ボタンを押します。
- Windows PostScriptプリンタ ドライバの場合： [用紙/品質] タブを選択し、**[用紙サイズ]** を選択します。 [用紙サイズ - 拡張マージン]を選択します。
- Mac OSプリンタ ドライバを使用する場合： **[ファイル]** メニューから **[ページ設定]** を選択し **[用紙サイズ]** を選択します。 [用紙サイズ - 拡張マージン]を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合： [ジョブの送信] ページの [マージン設定] リストから選択します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルト オプション]** - **[用紙オプション]** - **[マージン設定の選択]** を選択します。

注記　プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバでマージンが設定されている場合は、フロントパネルで設定したマージンよりもこちらが優先されます。

オーバーサイズの用紙に印刷する

技術上の理由から、用紙の幅や長さに完全に合致するイメージを印刷することはできません。 イメージの周囲には必ずある程度のマージンが必要です。 ただし、たとえばA3サイズのイメージをマージンなしで印刷する場合は、通常どおりイメージの周囲にマージンを残してA3より大きな用紙に印刷し、印刷後にマージンを切り落とすことができます。

オーバーサイズの用紙レイアウトは、このような場合に使用します。 オーバーサイズの用紙はどれも、標準サイズの用紙にマージンを合わせても十分にカバーできるだけの大きさがあります。

オーバーサイズの用紙レイアウトは、以下の方法で指定することができます。

- Windows HP-GL/2プリンタ ドライバの場合： [用紙/品質] タブを選択して **[マージン]** ボタンを押し、レイアウト オプションから **[オーバーサイズ]** を選択します。
- Windows PostScriptプリンタ ドライバの場合： [用紙/品質] タブを選択し、**[用紙サイズ]** を選択します。 オーバーサイズの用紙とマージンを同時に選択します。
- Mac OS 9 (または10.1) プリンタ ドライバの場合： マージン幅なしのカスタム ページ サイズを作成します。その際、最終的なジョブにはプリンタのフロントパネルで設定したマージンが追加されることを忘れないでください。
- 最新のMac OSプリンタ ドライバを使用する場合： **[対象プリンタ]** プルダウン メニューでプリンタを選択し、用紙サイズを選択すると、マージン オプションが表示されます。 オーバーサイズの用紙とマージンを同時に選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合： [ジョブの送信] ページで、 [マージン設定] リストから **[オーバーサイズ]** を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： **[印刷デフォルト オプション]** - **[用紙オプション]** - **[マージン設定の選択]** - **[オーバーサイズ]** を選択します。

オーバーサイズの用紙を使用する場合、通常どおりマージンの寸法を選択できます (マージンを調整する を参照)。

詳細は、マージンを追加せずに印刷する も参照してください。

マージンを追加せずに印刷する

技術上の理由から、用紙の幅や長さに完全に合致するイメージを印刷することはできません。 イメージの周囲には必ずある程度のマージンが必要です。 ただし、印刷するイメージに既に適切なマージン (端の余白部分) が含まれている場合は、印刷時にマージンを追加しないようにプリンタを指定できます。この場合、端には印刷が必要な部分がないことを前提として、実際にはイメージの端が切り取られます。

マージンを追加しない設定は、以下の方法で行います。

- Windows HP-GL/2プリンタ ドライバの場合： [用紙/品質] タブを選択して **[マージン]** ボタンを押し、レイアウト オプションから **[Clip Contents By Margins]** を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合： [ジョブの送信] ページで、 [マージン設定] リストから **[Clip Contents By Margins]** を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： **[印刷デフォルト オプション]** - **[用紙オプション]** - **[Select layout]** - **[Clip contents by margins]** を選択します。

このオプションは、Windows PostScriptドライバまたはMac OSドライバでは使用できません。

このオプションを使用する場合、通常どおりマージンの寸法を選択できます (マージンを調整する を参照)。 プリンタは引き続きマージンを使用しますが、イメージにマージンを追加するのではなく、イメージからマージンを切り取るだけです。

イメージの印刷方向を選択する

イメージの印刷方向は、縦置きまたは横置きに指定できます。 画面に表示する場合、以下のようになります。

- 縦置きのイメージは、高さが幅よりも長くなります （縦長のイメージ）。

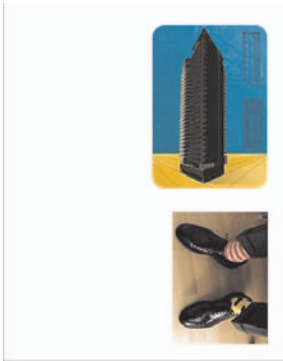
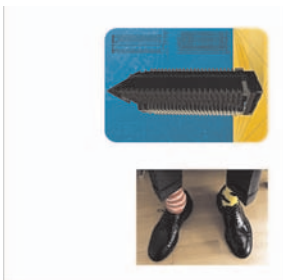
- 横置きイメージは、幅が高さよりも長くなります （横長のイメージ）。

画面に表示するときに、イメージの印刷方向を選択する必要があります。 横置きのイメージに縦置きを選択したり、縦置きのイメージに横置きを選択すると、印刷時にイメージの一部が印刷されない場合があります。

プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバを使用して、印刷方向を選択できます。

- PostScriptプリンタ ドライバ (Windows NT用) を使用する場合： [ページ設定] タブの [印刷の向き] セクションに移動します。
- 他のプリンタ ドライバ (Windows用) を使用する場合： [レイアウト] タブの [印刷の向き] セクションに移動します。
- PostScriptプリンタ ドライバ (Mac OS用) を使用する場合： **[ファイル]** メニューをクリックし、**[ページ設定]** を選択して、[ページ属性] パネルの [方向] セクションに移動します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合： [ジョブの送信] ページの [印刷の向き] セクションに移動します。

イメージを回転させる

デフォルトでは、イメージは次のように短い方の縁が用紙の上端に平行になるように印刷されます。

用紙を節約するため、次のようにイメージを90度回転させることができます。

イメージの回転は、以下の方法で行うことができます。

- Windows用プリンタ ドライバの場合 : [レイアウト] タブを選択して **[90度回転]** を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合 : [仕上げ] パネルを選択して **[90度回転]** を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合 : [ジョブの送信] ページを選択して **[回転]** セクションに移動します。
- フロントパネルを使用する場合 : アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルト オプション]** - **[用紙オプション]** - **[回転]** を選択します。

注記 プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバで回転が設定されている場合は、フロントパネルで設定した回転よりもこちらが優先されます。

注記 ジョブを回転させる際には、ページ サイズの長さを増やしてイメージが途切れないようにすることが必要な場合があります。これは、通常は左右のマージンよりも上下のマージンのほうが大きいためです。

注意　ロール紙でもカット紙でも、縦置きのイメージを横置きに回転させると、用紙の幅が足りなくなることがあります。 たとえば、縦置きのA1サイズのイメージを横置きにしてA1サイズ用紙に印刷すると、用紙の幅からはみ出してしまいます。 内蔵Webサーバを使用している場合は、このような際にはプレビュー画面に警告の三角マークが表示されます。 HP Designjet 4500シリーズ プリンタを使用している場合は、ジョブのステータスが「一時停止しています」になります。

自動回転

HP-GL/2プリンタ ドライバの場合、オーバーサイズの縦置きのイメージを自動的に90度回転して用紙を節約する **[自動回転]** オプションを使用できます。

左右反転させて印刷する

透明な用紙 (バックライト フィルムのような) を使用する場合、イメージを左右反転させて印刷すると、フィルムの背面から光をあてて投射した際に正しい向きのイメージが投影されます。 アプリケーションでイメージを変更せずに左右反転させた印刷を行うには、以下の手順に従います。

- Windows用プリンタ ドライバの場合： [レイアウト] タブを選択して **[左右反転]** を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合： [仕上げ] パネルを選択して **[左右反転]** を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合： [ジョブの送信] ページを選択して **[左右反転]** セクションに移動します。
- フロントパネルを使用する場合： フロントパネルで アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルト オプション]** - **[用紙オプション]** - **[左右反転の有効化]** を選択します。

注記　プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバで左右反転が設定されている場合は、フロントパネルで設定した左右反転よりもこちらが優先されます。

イメージを拡大縮小する

イメージを特定のサイズでプリンタに送信し、プリンタの側でサイズを拡大縮小 (大体は拡大) するように指定することができます。 これは、次のような場合に便利です。

- 使用しているソフトウェアで大判印刷がサポートされていない場合。
- ファイル サイズが大きすぎてプリンタのメモリでは対応できない場合。このような場合、ソフトウェアではページ サイズを小さくし、印刷時にフロントパネルのメニューを使用して拡大することができます。

プリンタでの拡大縮小は、以下の方法で行うことができます。

- Windows用プリンタ ドライバの場合： [効果] タブを選択して **[サイズ変更オプション]** を選択します。
  - **[文書を印刷する用紙]** オプションを使用すると、プリンタの設定で選択したページ サイズで印刷できるように、イメージ サイズを調整できます。 たとえば、ISO A2をページ サイズに選択し、A4サイズのイメージを印刷する場合、A2ページに合うようにイメージは拡大されます。 ISO A3をページ サイズに選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合、A3サイズに合うようにイメージは縮小されます。
  - **[%(元のサイズに対する比率)]** オプションを使用すると、元のページの印刷可能範囲を指定した比率で拡大し、プリンタ マージンを追加して出力ページ サイズを調整できます。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合： [仕上げ] パネルを選択して **[文書を印刷する用紙]** を選択します。

  ドライバが、プリンタの設定で選択したページ サイズに合わせてイメージ サイズを調整します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合： [ジョブの送信] ページを選択して **[サイズ変更]** を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルト オプション]** - **[用紙オプション]** - **[スケール]** を選択します。

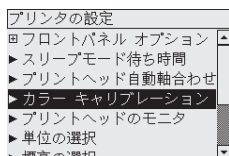
1枚の用紙に印刷する場合は、イメージをページ内に収めることができるか確認してください。イメージが途切れる可能性があります。

7 使用方法 (カラー)

カラー キャリブレーションを実行する

カラー キャリブレーションを実行すると、印刷物間、およびプリンタ間で色調をそろえることができます。

通常、カラー キャリブレーションは、プリントヘッドを交換した場合、必ず実行する必要があります。 また、新しいプリントヘッドでキャリブレーションを実行したことがない場合や、新しい用紙の種類を使用する場合にも、実行する必要があります。 ただし、既に認識されている用紙の種類については、カラー キャリブレーションをオフにして、デフォルトのカラー調整を使用できます。

1. フロントパネルから アイコンを選択し、次に **[プリンタの設定]** - **[カラー キャリブレーション]** を選択します。

2. カラー キャリブレーションには以下のオプションがあります。
   - **[オン]**： プリンタは、現在のプリントヘッドでキャリブレーションを実行したことがない場合や、新しい用紙の種類を使用する場合には、必ずカラー キャリブレーションを実行します。 このキャリブレーションによって行われたカラー調整は、以後、この用紙の種類を使用した同じ印刷品質設定の印刷に使用されます。
   - **[オフ]**： プリンタは、用紙の種類と印刷品質の設定ごとに、デフォルトのカラー調整を使用します。

3. プリンタは、キャリブレーション用の帯状のパターンを印刷して、それを内蔵光センサーでスキャンし、必要なカラー調整を算出することで、カラー キャリブレーションを実行します。 帯状のパターンは、光沢紙を使用した場合は幅が269mm、長さが18mmとなり、その他の種類の用紙の場合は、長さが109mmとなります。 カラー キャリブレーションの実行には、3分から6分ほどかかります。時間は用紙の種類によって異なります。

注記　カラー キャリブレーションは、いつでもフロントパネルから手動で実行することができます。実行するには、 アイコンを選択し、次に **[プリントヘッドの管理]** - **[カラー キャリブレーション]** を選択します。

注意　カラー キャリブレーションは、不透明な用紙でのみ連続して実行できます。 透明なフィルムでは実行しないでください。

黒点の補正を行う

[黒点補正] オプションでは、カラー スペース間でカラー変換を行ったときに、黒点の差異を調整するかどうかを指定します。 このオプションを選択すると、変換元スペースのダイナミック レンジが変換先

スペースのダイナミック レンジにマッピングされます。 このオプションにより、変換元スペースの黒点が変換先スペースの黒点より濃い場合に、暗い部分が表示されなくなるのを防ぐことができます。 このオプションは、レンダリング用途に [相対カラー メトリック] が選択されている場合のみ使用できます (詳細は、レンダリング用途を設定する を参照してください)。

黒点の補正は、以下の方法で指定することができます。

- Windows用PostScriptプリンタ ドライバの場合： [カラー] タブを選択し、**[黒点補正]** を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合： [カラー品質] パネルを選択し、**[黒点補正]** を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合： [ジョブの送信] ページを選択し、**[黒点補正]** を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルト オプション]** - **[カラー オプション]** - **[黒点の補正]** を選択します。

レンダリング用途を設定する

レンダリング用途とは、カラー変換を行う際の設定の1つです。 印刷する色によっては、プリンタでその色を再現できない場合があります。 レンダリング用途では、このような色域外の色を再現するための方法を、次の4つの中から選択することができます。

- **[彩度]**： 明るい、鮮やかな色を使用するプレゼンテーション用のグラフィック、表、またはイメージに最適です。
- **[知覚的]**： 中間色が多数含まれた写真またはイメージに最適です。 カラーの全体的な見栄えは、可能な限り維持されます。
- **[相対カラー メトリック]**： 特定のカラーと調和させる場合に最適です。 主にプルーフ用に使用され、 正確にカラーを印刷できる状態では、正確なカラーが確実に印刷されます。 これ以外のオプションでは、より望ましい色の範囲が再現される場合もありますが、特定の色が正確に印刷されるとは限りません。 また、このオプションでは、入力カラー スペースの白が、印刷する用紙の白にマッピングされます。
- **[絶対カラー メトリック]**： 相対カラー メトリックと同様ですが、白のマッピングは行われません。 このレンダリングも主にプルーフ用に使用されますが、この場合のプルーフは、1台のプリンタの出力のシミュレーション (白点を含む) を目的に行います。

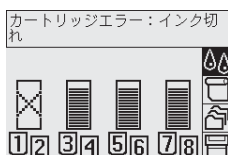
レンダリング用途は、以下の方法で指定することができます。

- Windows用PostScriptプリンタ ドライバの場合： [カラー] タブを選択し、**[レンダリング用途]** を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合： [カラー品質] パネルを選択し、**[レンダリング用途]** を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合： [ジョブの送信] ページを選択し、**[レンダリング用途]** を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルト オプション]** - **[カラー オプション]** - **[レンダリング用途の選択]** を選択します。

8 使用方法 (インク システム)

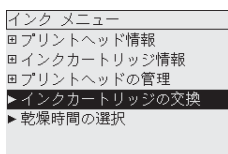
インクカートリッジを取り外す

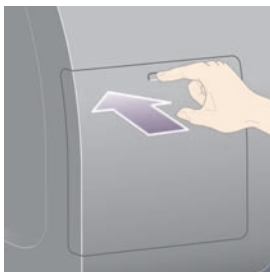
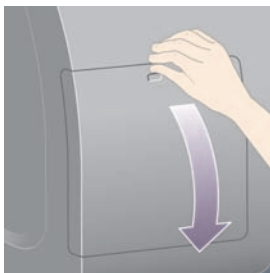
インクカートリッジを取り外す必要のある状況には、以下の2通りが考えられます。

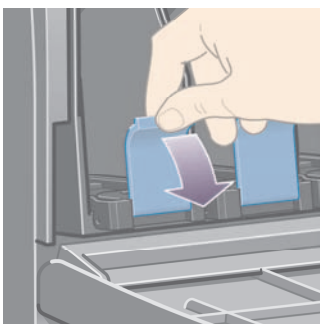
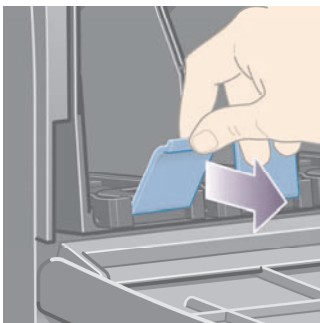
- インクカートリッジの残量が残りわずかなため、無人印刷を行うのに十分な量のインクカートリッジと交換する必要がある場合 (交換前のカートリッジに残っているインクは、別の機会に使い切ることができます)。
- インクカートリッジが空になったか、または、インクカートリッジに問題があり、交換しないと印刷を続けられない場合。

注意　印刷中はインクカートリッジを取り外さないでください。

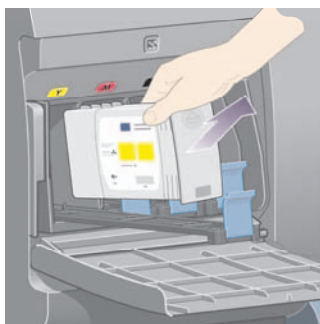
注意　インクカートリッジを取り外す場合は、新しいインクカートリッジを用意してから行ってください。

警告！　プリンタのキャスタがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

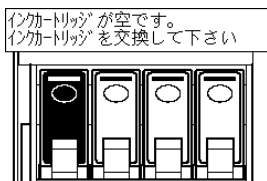
1. フロントパネルで アイコンを選択し、次に **[インクカートリッジの交換]** を選択します。

2. インクカートリッジは、プリンタの左側に取り付けます。

3. カチッと音がするまでドアの上部を押して、ドアを緩めます。

4. ドアを引いて完全に開きます。

5.　取り外すカートリッジの前面にある青いタブをつかみます。

6.　青いタブを下げます。

7.　次に、タブを手前に引きます。

8. カートリッジが引き出しに載って出てきます。

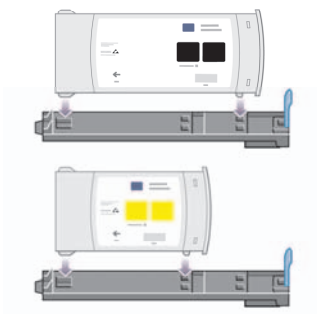
9. インクカートリッジを引き出しから取り出します。

注記　プリンタとの接続部分には触らないでください。接続部分にインクが付着していることがあります。

注記　一部使用済みのインクカートリッジを保管する場合は、接続部分を下にしないようにしてください。

10. フロントパネルに、取り付けられていないインクカートリッジが表示されます。

インクカートリッジを取り付ける

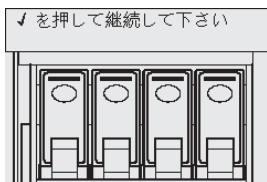
1. 新しいインクカートリッジを用意し、ラベルを参照してインクの色を確認してください。 色が記載されたラベルが手前から見て上部に見えるようにインクカートリッジを持ちます。
2. プリンタの空いたスロットの上部にあるラベルの色と、カートリッジのラベルの色が同じであることを確認します。
3. インクカートリッジを、カートリッジ用の引き出しに取り付けます。

カートリッジは、下の図のように引き出しの奥に置きます。

注記　引き出しの全長分の大きいサイズの黒インクカートリッジを使用できます。

4. カートリッジを設置した引き出しをスロットの中にスライドさせ、所定の位置に固定されるまで押し込みます。

取り付けにくい場合は、インクカートリッジを取り付けられないを参照してください。

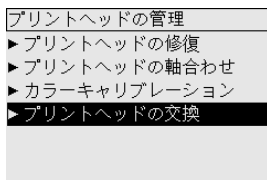
5. すべてのカートリッジを取り付けたら、ドアを閉めます (カチッと音がするまで押します)。

6. フロントパネルに、すべてのカートリッジが正しく取り付けられたことが表示されます。

プリントヘッドを取り外す

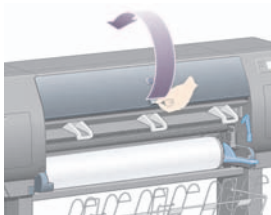
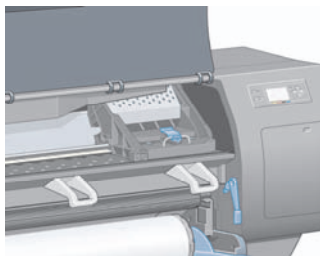
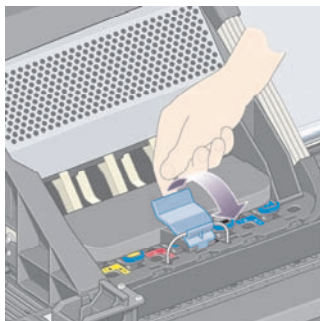
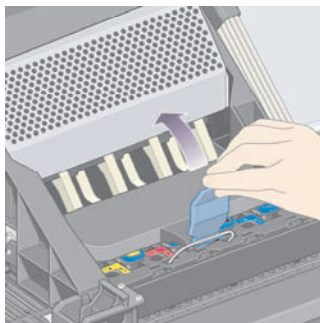
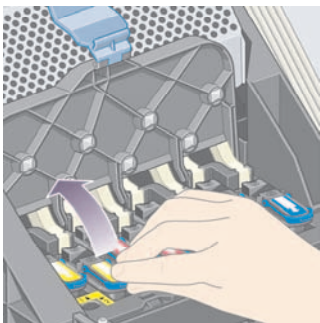
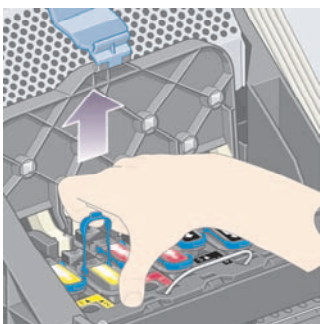
警告！　プリンタのキャスタがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

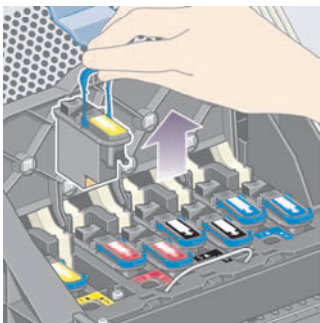
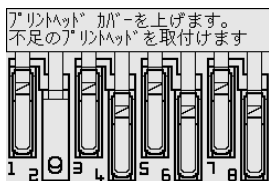
プリントヘッドの交換は、プリンタの電源スイッチがオンになっている状態で行ってください。

1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、**[プリントヘッドの管理]** - **[プリントヘッドの交換]** を選択します。

   プリントヘッドの管理
   ▶ プリントヘッドの修復
   ▶ プリントヘッドの軸合わせ
   ▶ カラーキャリブレーション
   ▶ プリントヘッドの交換

2. キャリッジが適切な位置に移動します。

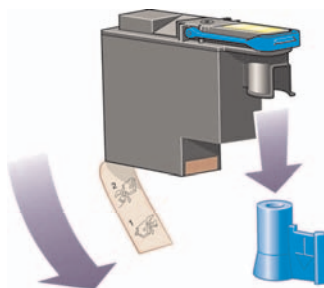
   注意　キャリッジは、プリンタの中央部分に移動してから7分以上放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

3. キャリッジが停止したら、ウィンドウを開くようフロントパネルにメッセージが表示されます。

4. キャリッジを確認します。

5. キャリッジ上部のラッチを引き上げて、ロックを解除します。

6. キャリッジのラッチを解除する カバーを持ち上げ、 プリントヘッドを確認してください。

7. 取り外すプリントヘッドの青いハンドルを持ち上げます。

8. 持ち上げた青いハンドルを使用して、プリントヘッドを静かに取り外します。

9. プリントヘッドがキャリッジから外れるまで、青いハンドルをゆっくりと引き上げます。

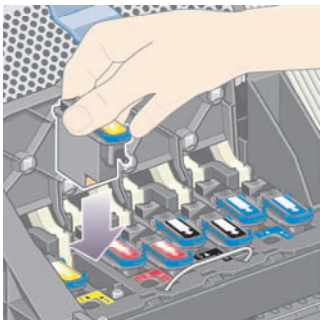
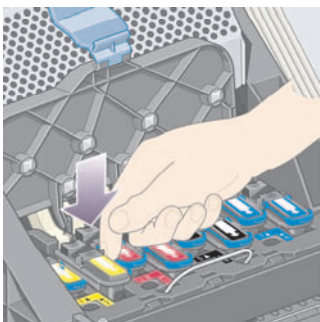
注意 急いで引き上げるとプリントヘッドが破損することがありますので、ゆっくりと引き上げてください。

10. フロントパネルに、取り付けられていないプリントヘッドが表示されます。

プリントヘッドを取り付ける

1. 新しいプリントヘッドを取り付ける場合は、以下の手順に従ってください。

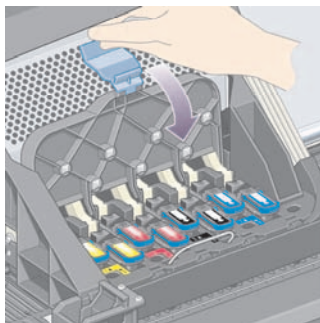
   a. 青い保護キャップを下に引っぱり取り外します。

   b. 紙のタブを引っぱり、プリントヘッドのノズルから透明の保護テープを剥がします。

プリントヘッドは、間違った位置に取り付けられないよう設計されています。 プリントヘッドのラベルの色と、プリントヘッドを取り付ける先のキャリッジのラベルの色が合っていることを確認してください。

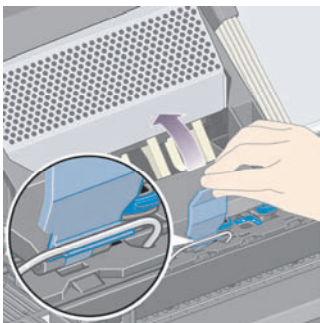
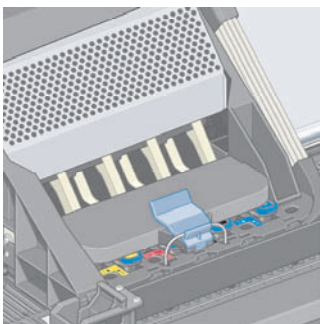
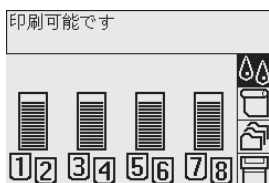
2. 新しいプリントヘッドを、キャリッジの該当する位置に取り付けます。

注意　プリントヘッドは、ゆっくりと垂直に下ろして取り付けてください。 急に下ろしたり、斜めに取り付けたり、取り付ける際に回したりすると、破損することがあります。

3. 図の矢印のとおりに、プリントヘッドを下に押し込みます。

新しいプリントヘッドを取り付ける場合は、しっかりと、またゆっくりと押し込んでください。

取り付けにくい場合は、プリントヘッドを取り付けられないを参照してください。

4. 必要なプリントヘッドをすべて取り付けたら、キャリッジ カバーを閉じます。

すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられ、プリンタがそれを認識すると、プリンタのブザーが鳴ります。

注記　プリントヘッドを取り付けてもブザーが鳴らず、フロントパネルに**[プリントヘッドエラー：交換して下さい]**というメッセージが表示された場合は、プリントヘッドを取り付け直してください。

5. キャリッジ カバーのラッチを閉めます。

キャリッジのラッチが正しく固定されると、下の図のようになります。

6. ウィンドウを閉じます。
7. フロントパネルに、すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられたことが表示されます。

8. 交換したプリントヘッドのプリントヘッド クリーナを交換します。 詳細は プリントヘッド クリーナを取り外す および プリントヘッド クリーナを取り付ける を参照してください。

注意　古いプリントヘッド クリーナをプリンタに残したままにすると、新しいプリントヘッドの寿命が短くなり、プリンタが故障することがあります。

プリントヘッドのモニタ状況を管理する

プリンタは、時々プリントヘッドの状態を自動的にチェックして、プリントヘッドの調子をモニタし、印刷品質に影響を与える可能性のある問題を検出します。 このチェックの実行頻度を最適化することで、高いスループットを維持することができます。

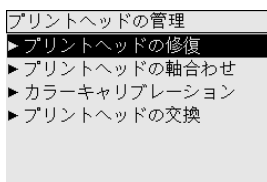
プリントヘッドのモニタの頻度を増やし、問題を早急に検出できるようにするには、 アイコンを選択し、次に **[プリンタの設定]** - **[プリントヘッドのモニタ]** - **[強化]** を選択します。 プリンタが印刷中で、プリントヘッドのモニタが **[強化]** に設定されている場合、フロントパネルおよび内蔵Webサーバのステータスには、**[印刷中。 プリントヘッドのモニタリング中]**と表示され、**[印刷中]** という表示ではなくなります。

注記　[強化] が選択されている間は、プリントヘッドのチェックが頻繁に行われるため、プリンタのスループットは低下します。

モニタの実行頻度をデフォルト設定に戻すには、アイコンを選択し、次に **[プリンタの設定]** - **[プリントヘッドのモニタ]** - **[最適化]** を選択します。

プリントヘッドを修復 (クリーニング) する

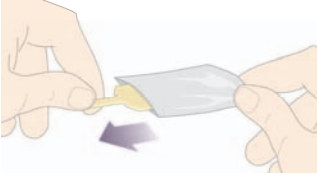
プリントヘッドのクリーニングを行うと、問題を解決できる場合があります。クリーニングを行うには、プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[プリントヘッドの管理]** - **[プリントヘッドの修復]** を選択します。 クリーニングには2～4分かかります。

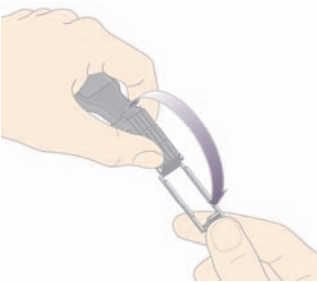
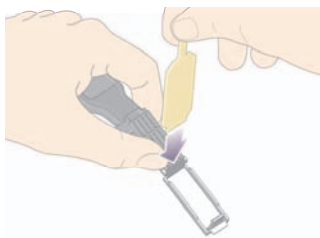
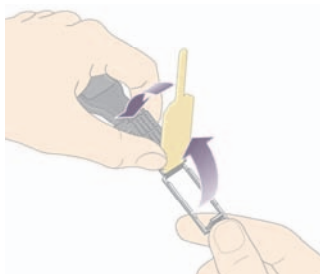
プリントヘッドの管理
▶ プリントヘッドの修復
▶ プリントヘッドの軸合わせ
▶ カラーキャリブレーション
▶ プリントヘッドの交換

プリントヘッドの電極部分をクリーニングする

ごくまれに、プリントヘッドを取り付けてもプリンタがプリントヘッドを認識しないことがあります。これは、プリントヘッドとプリントヘッド キャリッジが接触する電極部分に、インクがたまって付着していることが原因です。 このような場合は、プリントヘッドの電極部分をクリーニングすることをお勧めします。 特に問題がなければ、電極部分を定期的にクリーニングする必要はありません。

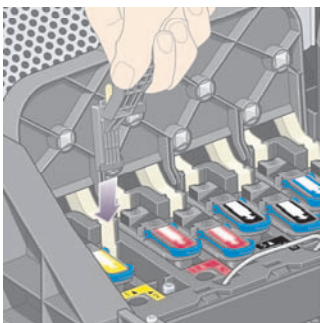
プリンタのメンテナンス キット ボックスには、キャリッジ接点ワイパーが入っています。

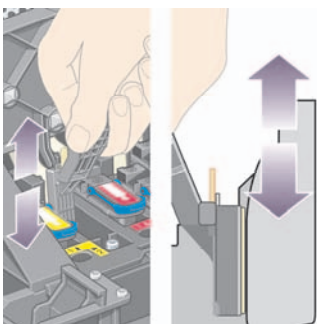
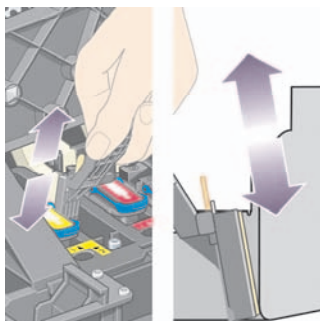
フロントパネルに、**[取り付け]**または**[交換]**メッセージが表示され続ける場合は、キャリッジ接点ワイパーを使用してプリントヘッド キャリッジとプリントヘッドの両方の電極部分をクリーニングします。

1. 湿った新しい交換スポンジを袋から取り出します。

   スポンジの替えはワイパーと一緒にボックスに入っています。 スポンジの替えをすべて使い切り、さらに必要な場合は、日本HP カスタマ・ケア・センタにお問い合わせください。

2. キャリッジ接点ワイパーを開きます。

3. スポンジをキャリッジ接点ワイパーに取り付けます。スポンジの短いほうの端をキャリッジ接点ワイパーの取り付け用スロットに入れます。

4. キャリッジ接点ワイパーを閉じて、スポンジをはさみ込みます。

5. プリントヘッド キャリッジのラッチを開き、フロントパネルに表示されている問題のプリントヘッドを取り外します。 詳細は、プリントヘッドを取り外すを参照してください。

6. キャリッジ接点ワイパーをプリントヘッド スロットの奥に差し込みます。 スロットの奥の電極部分とスチール製のバネの間に、スポンジが電極の方を向くようにワイパーを入れ、電極を拭きます。 このとき、スロットの底にたまったインクをすくい上げないようにしてください。

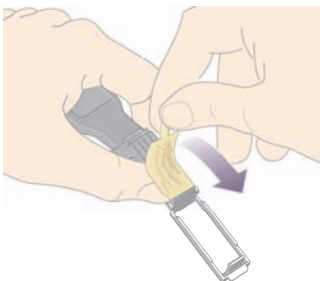
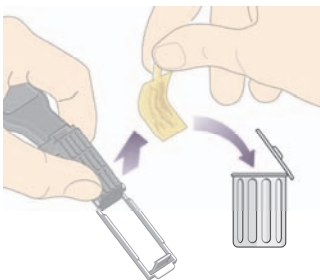
注意　キャリッジは、プリンタの中央部分に移動してから7分以上放置されると、 右端の通常の位置に戻ります。

7. スポンジを**軽く**動かし、フレックス コネクタの底まで (ワイパーが止まるところまで)、電極を拭きます。

使用方法 (インク システム)

8. すべての電極を慎重にクリーニングします。コネクタの底の部分の電極も忘れずにクリーニングしてください。

9. プリントヘッドが新しいものではない場合は、同じスポンジを使用して、プリントヘッドの下側にある電極ストリップをクリーニングします。上側の電極には触らないでください。

注意　ノズルがある面には触らないでください。破損しやすくなっています。

10. 両方のコネクタが乾くまでしばらく待ちます。乾いたら、プリントヘッドをプリントヘッド キャリッジに取り付けます。 詳細は、プリントヘッドを取り付けるを参照してください。

11. クリーニング作業が完了したら、スポンジのタブを引いてキャリッジ接点ワイパーを開きます。

12. キャリッジ接点ワイパーから汚れたスポンジを取り外します。

13. 手や服にインクが付かないように、汚れたスポンジは適切な場所に捨ててください。

フロントパネルに **[再度取付けて下さい]** または **[交換して下さい]** というメッセージがまだ表示される場合は、プリントヘッドを交換するか、日本HP カスタマ・ケア・センタにお問い合わせください。

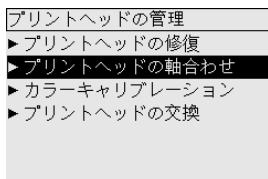
プリントヘッドの軸合わせを行う

プリントヘッドを交換する毎に、通常はプリントヘッドの軸合わせが行われます。 プリントヘッドを交換した際に用紙が取り付けられていない場合は、次に用紙を取り付けたときに軸合わせが行われます。

注記　この自動軸合わせはオフにすることができます。オフにするには、フロントパネルで アイコンを選択し、次に **[プリンタの設定]** - **[プリントヘッド自動軸合わせ]** - **オフ** を選択します。

また、プリントヘッドの軸合わせは、イメージ診断の印刷で軸合わせエラーが確認された場合にも行う必要があります。 詳細は、使用方法 (イメージ診断の印刷)を参照してください。

1. 不透明のロール紙がプリンタに取り付けられていることを確認します。最高の結果を得るため、普段印刷に使用している用紙の種類を使用してください。 カット紙ならびに、半透明ボンド紙、クリア フィルム、マット フィルム、トレーシングペーパー、ベラム紙などの透明紙は、プリントヘッドの軸合わせに適していません。
2. プリントヘッドの軸合わせが自動的に実行されない場合、手動で実行するには、フロントパネルで アイコンを選択し、次に **[プリントヘッドの管理]** - **[プリントヘッドの軸合わせ]** を選択します。

   プリントヘッドの管理
   ▶ プリントヘッドの修復
   ▶ プリントヘッドの軸合わせ
   ▶ カラーキャリブレーション
   ▶ プリントヘッドの交換

3. ロール紙を初めて使用するかまたはそれに近い場合、プリントヘッドの軸合わせが開始される前に最大3m (10フィート) の用紙が排出される可能性があるというメッセージが、フロントパネルに表示されます。 これは、正常に軸合わせを行うために必要な処理です。 この場合、以下のいずれかを選択できます。
   - 必要な分の用紙が排出されることを了解した上で、プリントヘッドの軸合わせを続行する
   - 先に数メートルの用紙を印刷に使用し、その後でプリントヘッドの軸合わせが行われるようにする
   - プリントヘッドの軸合わせをキャンセルする
4. プリントヘッドの軸合わせの続行を選択すると、イメージの印刷を除き、ただちにプリントヘッドの軸合わせが実行されます。印刷中の場合は、現在の印刷ジョブの終了後すぐに実行されます。

   軸合わせの処理には、12 分ほどかかります。

プリントヘッド クリーナを取り外す

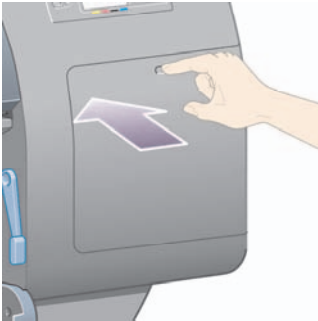
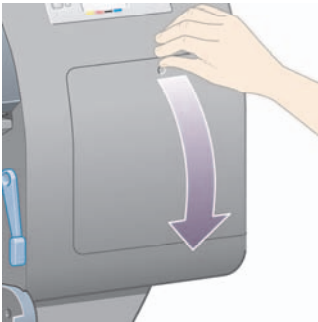
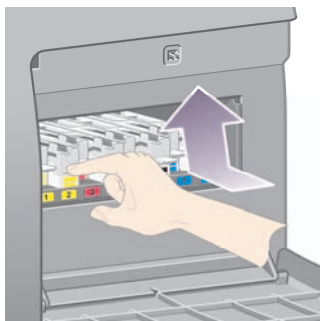
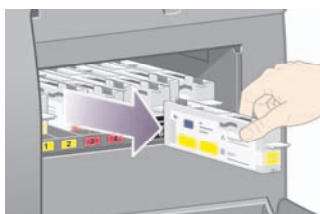
プリントヘッドを交換すると、フロントパネルにプリントヘッド クリーナの交換を求めるメッセージが表示されます。

注意　プリントヘッドを交換した場合、対応するプリントヘッド クリーナも必ず交換してください。 古いクリーナをプリンタに残したままの場合、新しいプリントヘッドをお使いいただける期間がきわめて短くなり、プリンタが故障することがあります。 新しいプリントヘッドには、新しいプリントヘッド クリーナが同梱されています。

プリントヘッド クリーナを取り外す場合は、以下のことに注意してください。

- 手にインクが付かないように気を付けてください。 取り外したプリントヘッド クリーナは、中にインクが残っていたり、外側にインクが付着していることがあります。
- 取り外したプリントヘッド クリーナを扱う際、また保管する際には、インクがこぼれないように、必ず上向きにするようにしてください。

警告！ プリンタのキャスタがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

1. プリントヘッド クリーナは、プリンタ前面のフロントパネルの下に位置するスロットにあります。 右のドアの上部を押します。

2. ドアを開きます。

3. 各プリントヘッド クリーナには、前面にハンドルがあります。 クリーナを取り外すには、下の図の矢印のように奥に押しながら上向きに押し上げます。クリーナが固定位置から外れます。

4. プリントヘッド クリーナを持ち上げてスロットから取り外し、下の図のように水平に取り出します。

詳細は、プリントヘッド クリーナを取り付ける も参照してください。

プリントヘッド クリーナを取り付ける

新しいプリントヘッド クリーナが入っていた袋は、古いプリントヘッドとプリントヘッド クリーナを捨てる際に使用できます。

1. 各プリントヘッド クリーナを、下の図の矢印の方向どおりに、該当する色のスロットに挿入します。

2. プリントヘッド クリーナが奥まで入ったら、カチッと音がするまで、下の図の矢印のように奥に押しながら下方向に押し下げます。

取り付けにくい場合は、プリントヘッド クリーナを取り付けられないを参照してください。

注記　右のドアを閉めるまで、フロントパネルに新しいプリントヘッド クリーナは表示されません。

3. プリントヘッド クリーナをプリンタに取り付け終えたら、右のドアを閉めます。

注記 印刷を続行するには、インクカートリッジ、プリントヘッド、プリントヘッド クリーナをすべて取り付ける必要があります。

4. 用紙が取り付けられていない場合は、フロントパネルに用紙の取り付けを指示するメッセージが表示されます。

新しいプリントヘッドとクリーナを取り付けると、通常はプリントヘッドの軸合わせとカラー キャリブレーションが実行されます。 最高の品質で印刷するためには、両方とも実行することをお勧めします。 場合によっては、もう少し印刷作業を続け、それまでプリントヘッドの軸合わせを延期することもできます。

注記 品質を多少下げてでも時間を節約したい場合は、これらの処理が自動的に実行される機能をオフにします。オフにするには、フロントパネルで アイコンを選択し、次に **[プリンタの設定]** - **[プリントヘッド自動軸合わせ]** - **[オフ]** を選択し、さらに **[プリンタの設定]** - **[カラー キャリブレーション]** - **[オフ]** を選択します。

フロントパネルに、プリントヘッドの軸合わせに適した用紙を取り付けるよう要求するメッセージが表示される場合があります。 プリントヘッドの軸合わせを実行する場合、不透明のロール紙が必要です。 カット紙または透明や半透明の用紙は使用できません。

フロントパネルに **[印刷可能です]** というメッセージが表示されたら、印刷を開始できます。

注記 サプライ品を交換したら、ウィンドウと右のドアを必ず閉めてください。 開いていると印刷は開始されません。

インク システムのステータスを確認する

1. 内蔵Webサーバにアクセスします (詳細は、内蔵Webサーバにアクセスする を参照してください)。

2. **[サプライ品]** ページに移動します。

[サプライ品] ページには、インクカートリッジ (インク残量など)、プリントヘッド、プリントヘッド クリーナ、および取り付けられている用紙に関するステータスが表示されます。

インクカートリッジの情報を確認する

インクカートリッジの情報を確認するには、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで、💧 アイコンを選択します。
2. **[インクカートリッジ情報]** を選択し、情報を確認するカートリッジを選択します。
3. フロントパネルに、以下の情報が表示されます。
   - 色
   - 製品名
   - 製品番号
   - シリアル番号
   - プリントヘッドのステータス
   - インク残量 (該当する場合)
   - 容量 (ml)

- 製造元
- 保証期限

内蔵Webサーバを使用すると、コンピュータ上で上記の情報について確認できます。

インクカートリッジのステータス メッセージの詳細は、インクカートリッジのステータス メッセージが表示される を参照してください。

プリントヘッドの情報を確認する

プリントヘッドの情報を確認するには、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで、アイコンを選択します。
2. **[プリントヘッド情報]** を選択し、情報を確認するプリントヘッドを選択します。
3. フロントパネルに、以下の情報が表示されます。
   - 色
   - 製品名
   - 製品番号
   - シリアル番号
   - プリントヘッドのステータス
   - 使用済みインク量
   - 保証期限
   - クリーナのステータス

内蔵Webサーバを使用すると、コンピュータ上で上記の情報について確認できます。

プリントヘッドとプリントヘッド クリーナのステータス メッセージの詳細は、プリントヘッドのステータス メッセージが表示される および プリントヘッド クリーナのステータス メッセージが表示される を参照してください。

保証期限が**[保証に関する注記を参照]**の場合は、HP製以外のインクが使用されていることを示します。保証の詳細は 全世界共通の無償保証—HP Designjet 4000/4500プリンタ シリーズおよび4500mfp を参照してください。

9　使用方法 (イメージ診断の印刷)

イメージ診断の印刷をする

イメージ診断の印刷では、印刷品質の問題を明確にするためのパターンが印刷されます。 これを使用すると、印刷品質に問題があるかどうかを確認することができ、問題がある場合は、問題の原因と解決方法を特定できます。

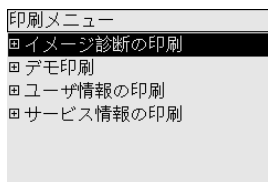
イメージ診断の印刷を使用する前に、適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください (詳細は、印刷品質設定を選択する を参照してください）。

イメージ診断の印刷をするには、以下の手順に従います。

1. A3サイズ (29.7 × 42cm = 11.7 × 16.5インチ) 以上の用紙がプリンタに取り付けられていることを確認してください。 問題が検出された時と同じ用紙の種類を使用します。

2. フロントパネルに、問題が検出された時と同じ印刷品質が設定されていることを確認します (詳細は、印刷品質を変更する を参照してください）。 イメージ診断の印刷では、**[描画/テキスト]** と **[イメージ]** の違いは、[イメージ] の方がパート2で多くのインクを使用するため、色が暗くなるという点のみです。

   [イメージ] を選択した場合、印刷には2分かかります。**[描画/テキスト]** を選択した方が、印刷時間が短くなる場合があります。ただし、これは用紙の種類により異なります。

3. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[印刷メニュー]** - **[イメージ診断の印刷]** - **[描画/テキストの最適化]** または **[イメージの最適化]** を選択します。

プリンタが印刷可能になったら、イメージ診断の印刷を使用する を参照してください。

イメージ診断の印刷を使用する

イメージ診断の印刷は、番号が付いた3つのパートに分かれています。

1. パート1では、プリントヘッドの軸合わせのテストが行われます。 詳細は、イメージ診断パート1を使用して問題を特定するを参照してください。

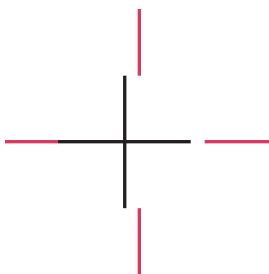
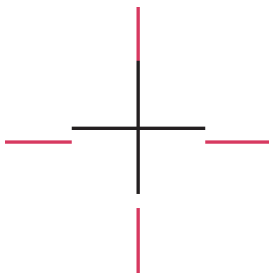
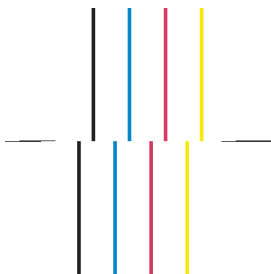
2. パート2では、プリントヘッドの動作と用紙送り機構がテストされます。 詳細は、イメージ診断パート2を使用して問題を特定するを参照してください。

3. パート2でプリントヘッドに問題があると確認された場合、パート3では、8つのプリントヘッドのどれに問題があるのかが特定されます。 詳細は、イメージ診断パート3を使用して問題を特定するを参照してください。

   パート2で何も問題が確認されなかった場合は、パート3の内容は無視してください。

イメージ診断パート1を使用して問題を特定する

パート1では、カラーの軸合わせおよび両方向の軸合せの問題を確認します。

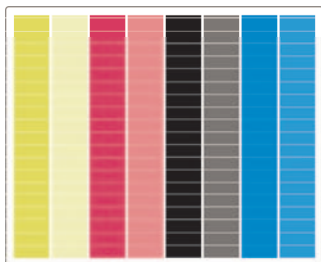
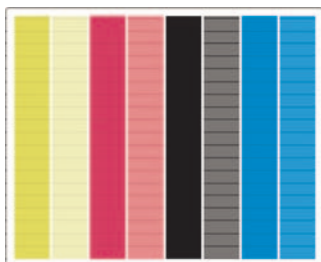
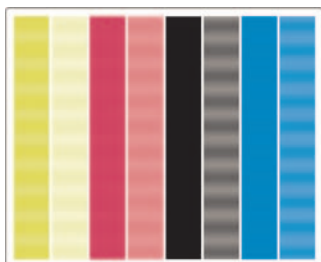
水平方向の軸合わせに問題がある場合、次のように表示されます。

垂直方向の軸合わせに問題がある場合、次のように表示されます。

両方向の軸合わせに問題がある場合、次のように表示されます。

補正処理

1. 可能であれば、印刷品質が不適切だったときと同じ用紙の種類を使用して、プリントヘッドの軸合わせを行います (一部の用紙はプリントヘッドの軸合わせに適していません)。 詳細は、プリントヘッドの軸合わせを行うを参照してください。
2. 印刷品質が改善されない場合は、日本HP カスタマ・ケア・センタにお問い合わせください。

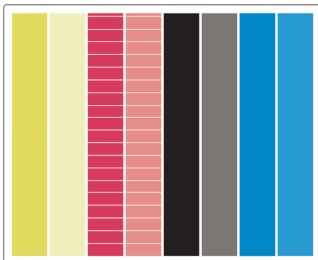
イメージ診断パート2を使用して問題を特定する

パート2では、プリントヘッドおよび用紙送りの機構が正しく動作しているかどうかを確認できます。 このパートは、色の一貫性や精度の確認には使用しないでください。

帯状のムラ

印刷したイメージに、水平方向の帯状のムラが繰り返し現れる場合があります。 次のように、薄い帯状のムラが現れる場合があります。

次のように、濃い帯状のムラが現れる場合もあります。

または、次のように、段階的な波状のムラが現れる場合もあります。

特定の色にのみ現れる水平方向の帯状のムラ

プリントヘッドに問題があると、特定の色にのみ、水平方向の帯状のムラが現れます。または、特定の色に現れる水平方向のムラが、他の色のムラよりも顕著に現れます。

注記　グリーンに現れるムラはあまり目立ちません。このムラは、イエローのプリントヘッドまたはシアンのプリントヘッドに原因がある場合があります。 グリーンにのみ帯状のムラが現れる場合は、イエローのプリントヘッドが原因です。グリーンとシアンに帯状のムラが現れる場合は、シアンのプリントヘッドが原因です。

補正処理

1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。 詳細は、印刷品質設定を選択するを参照してください。
2. プリントヘッドをクリーニングします。 詳細は、プリントヘッドを修復 (クリーニング) するを参照してください。
3. もう一度、イメージ診断の印刷を実行してください。 それでもムラが現れる場合は、手順4、5に進んでください。
4. 色ごとに2つのプリントヘッドがあるため、イメージ診断印刷のパート3を見て、どのプリントヘッドに問題があるかを確認します。 詳細は、イメージ診断パート3を使用して問題を特定する を参照してください。
5. 問題があるプリントヘッドを交換してください。 詳細は プリントヘッドを取り外す および プリントヘッドを取り付ける を参照してください。

すべての色に現れる水平方向の帯状のムラ

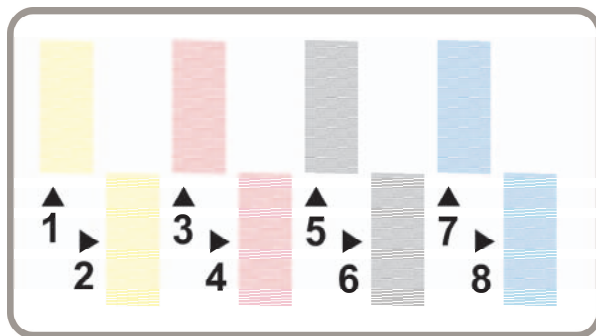
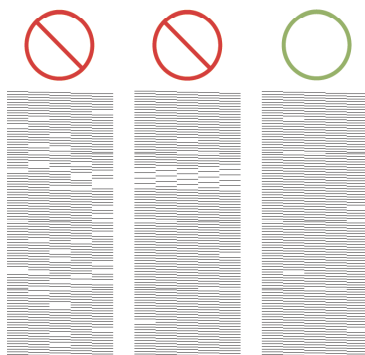
プリンタの用紙送りに問題がある場合、すべての色で水平方向の帯状のムラが発生します。

注記　グリーンに現れるムラは、あまり目立ちません。

補正処理

1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。 詳細は、印刷品質設定を選択するを参照してください。
2. 低品質の用紙を使用している場合は、高品質の用紙に変更してみてください。 プリンタのパフォーマンスは、推奨されている用紙を使用する場合にのみ保証されます。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。
3. 最終印刷に使用するのと同じ用紙の種類で、拡張精度キャリブレーションを実行します。 詳細は、使用方法 (拡張精度キャリブレーション)を参照してください。
4. 印刷品質が改善されない場合は、日本HP カスタマ・ケア・センタにお問い合わせください。

イメージ診断パート3を使用して問題を特定する

パート2でプリントヘッドに問題があることを確認した場合、パート3では、特定のプリントヘッドに問題があるかどうかを確認します。 このプロットの各長方形には、印刷したプリントヘッドの番号のラベルが付いています。

以下の3つは、黒い長方形の1つを拡大したもので、細い線が長方形を形成していることが分かります。

上の図のうち左の2例は、印刷されない線が多くあるため、プリントヘッドに問題がある可能性があります。 左から3番目の例の場合、わずかに数行が欠けていますが、プリンタにより問題が補正されるためプリントヘッドに問題はありません。

補正処理

パート3でプリントヘッドの問題を検出し、パート2では問題がなかった場合は、ただちに補正処理を行う必要はありません。これは、プリンタによって問題が補正され印刷品質が維持されているためです。ただし、パート2でも問題を検出した場合は、以下の手順に従います。

1. プリントヘッドをクリーニングします。 詳細は、プリントヘッドを修復 (クリーニング) するを参照してください。
2. 印刷品質が改善されない場合は、問題があるプリントヘッドを交換してください。 詳細は プリントヘッドを取り外す および プリントヘッドを取り付ける を参照してください。

問題が解決されない場合

イメージ診断の印刷の処理全体では不具合が検出されなかったにもかかわらず、印刷品質に問題がある場合は、以下の点を確認してください。

- 印刷品質オプションを今より高いレベルにしてみます。 詳細は 印刷品質設定を選択する および 印刷品質を変更する を参照してください。
- 印刷に使用しているドライバを確認します。 HP製以外のドライバの場合は、http://www.hp.com/go/designjet/ にアクセスして、適切なHPドライバをダウンロードしてください。
- HP製以外のRIPを使用している場合、設定が不適切である可能性があります。 RIPに付属のマニュアルを参照してください。
- プリンタのファームウェアが最新版かどうかを確認します。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。
- ソフトウェア アプリケーションが正しく設定されているかどうかを確認します。
- 問題がページの上部でのみ発生する場合は、印刷の開始直後に不具合が発生する を参照してください。

10　使用方法 (拡張精度キャリブレーション)

プリンタは出荷時にキャリブレーションが行われているため、サポートされている用紙であれば、通常の環境条件では高い精度で用紙を送ります。 ただし、状況によっては、キャリブレーションを行ったほうがよい場合があります。

- サポートされていない用紙：他のメーカーから提供されている厚さや硬さの異なる用紙を使用する場合は、キャリブレーションを行うと効果的な場合があります。 HPの推奨用紙を使用すると、最高の印刷品質を実現できます (CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照)。
- 通常と異なるが安定した環境条件： 温度または湿度 (CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照) が通常と異なるものの、安定した条件下で印刷する場合は、キャリブレーションが効果的です。

ただし、拡張精度キャリブレーションは、イメージ品質に関する問題があり、適切なトラブルシューティング手順がすでに実行されていることを前提とした機能です。 特に問題がない場合は、 キャリブレーションを実行する必要はありません。

拡張精度キャリブレーションを実行する前に、イメージ診断の印刷を使用して、プリントヘッドの軸合わせが正しく行われていることを確認してください (詳細は、イメージ診断の印刷をする を参照してください)。

注記　理論上は、拡張精度キャリブレーションによって印刷品質が向上するはずです。 ただし、キャリブレーションを実行しても品質が向上しない場合は、誤った用紙送り設定を選択したために、出力品質が低下している可能性があります。 この場合は、フロントパネルで アイコンまたは アイコンを選択し、次に **[拡張精度キャリブレーション]** - **[描画/テキストの 最適化]** または **[イメージの最適化]** - **[パターンの選択]** - **[工場出荷時のデフォルト]** を選択します。

キャリブレーション処理の概要

1. フロントパネルを使用して、プリンタに保存されているカラー パターンを7回印刷します。7回とも異なる用紙送り設定を使用します。
2. どのパターンが最も正常に印刷されたかを判断します。
3. フロントパネルを使用して、最適なパターンおよび今後使用される用紙送り設定をプリンタに通知します。

注記　フロントパネルに表示される用紙の種類ごとに用紙送りの設定が異なるため、キャリブレーションは個別に実行する必要があります。 特定の用紙の種類のキャリブレーションが行われる場合、その他の用紙の種類の設定は影響を受けません。

注記　**[描画/テキストの最適化]** および **[イメージの最適化]** ではそれぞれ別の用紙送り設定が行われるため、キャリブレーションは個別に実行する必要があります。

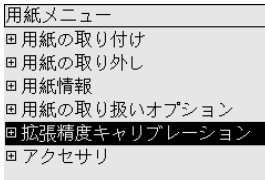
注記　他のメーカーの用紙は、同じ種類であっても、それぞれ別の用紙送り設定が必要な場合があります。そのため、キャリブレーションを行っていない用紙に対しては、その設定が効果的でない場合もあります。 キャリブレーションを実行すると、 その用紙の前の用紙送りの設定が上書きされます。

キャリブレーション処理の詳細

手順1： 印刷に使用する用紙をプリンタに取り付けます。 幅41cm (16インチ)、長さ75cm (30インチ) 以上の用紙を使用してください。

手順2： フロントパネルで、 または アイコンをハイライトさせます。 HP Designjet 4500シリーズ プリンタを使用し、ロール紙を2つ取り付けている場合、キャリブレーションを行うロール紙が印刷可能になっていることを確認してください (フロント パネルでハイライトされている必要があります)。

手順3： 選択 ボタンを押して、**[拡張精度キャリブレーション]** を選択します。

用紙メニュー
- ⊞ 用紙の取り付け
- ⊞ 用紙の取り外し
- ⊞ 用紙情報
- ⊞ 用紙の取り扱いオプション
- ⊞ 拡張精度キャリブレーション
- ⊞ アクセサリ

手順4： 印刷の種類に応じて、**[描画/テキストの 最適化]** または **[イメージの最適化]** を選択します。

注記　ドライバ、内蔵Webサーバ、またはフロントパネルでは、**必ず**後で印刷に使用するのと同じ設定を選択してください (**[描画/テキストの最適化]** または **[イメージの最適化]**)。 違うものを選択した場合、キャリブレーションを行っても効果はありません。

手順5： **[パターンを印刷します]** を選択します。 プリンタは、番号付きのパターン (1～7) を印刷します。**[描画/テキストの最適化]** を選択した場合、各パターンは次のようになります。

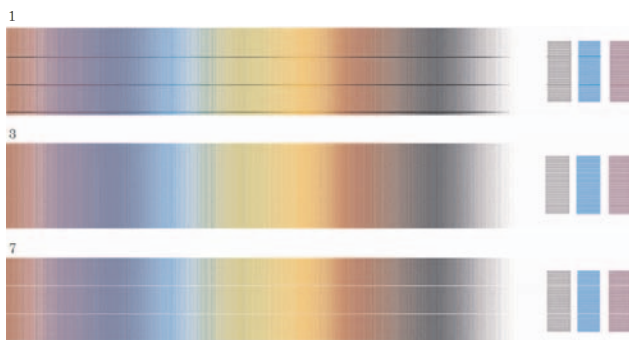
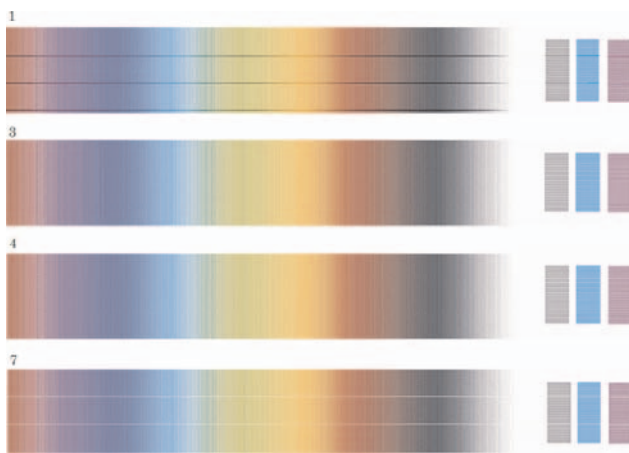
または **[イメージの最適化]** を選択した場合、各パターンは次のようになります。

[描画/テキストの 最適化] の場合、印刷には約3分、**[イメージの最適化]** の場合は約5分かかります。 キャリブレーションの印刷が完了すると、プリンタは用紙をカットします。

手順6： 印刷された各パターン (1～7) を見て、どのパターンが最高品質かを判断します。 各パターンには、左側に連続したカラー階調度 (A) が表示され、右側に別の内容のもの (B) が表示されます。 どちらも状況に合わせて、最適なパターンを判断するのに役立ちます。 ただし、光沢紙またはキャンバスを使用している場合は、Aの部分を無視し、Bの部分のみを確認して選択することをお勧めします。

カラー階調度の部分 A では、明るい (または暗い) 水平方向の帯 (帯状のムラ) がないかどうか確認してください。これは、用紙送りが適切ではないことを示します。 通常は、最初のパターンに暗い帯、最後のパターンに明るい帯が印刷されます (以下の例を参照)。 最適なパターンは、帯状のムラがないものです。判断できない場合は、暗い帯のある最後のパターンと、明るい帯のある最初のパターンの間にある、中央のパターンを選択してください。

最適なパターンを特定できない場合は、以下の例の説明を参考にしてください。

- 明らかに最適なパターンが1つだけあり、上下のパターンには明るい帯または暗い帯がある場合は、このパターンを選択してください。

- 以下に示すように、帯状のムラがない、隣り合った2つのパターンがある場合は、この2つのパターンの上下にあるパターンを参考にして、最適なパターンを選択してください。 たとえば、同じパターンが2つあるときに、上のパターンの方が帯状のムラが少ない場合は、すぐ下のパターンを選択してください。

- 帯状のムラがない3つのパターンがある場合は、中央のパターンを選択してください。

印刷されたBの部分を見ると、一部のパターンが他のパターンよりも暗く見える場合があります。 最適なパターンは、最も明るく、明るさが一定して、ざらつきが少なく見えます。

手順7： または アイコンを選択し、次に **[拡張精度キャリブレーション]** - **[描画/テキストの 最適化]** または **[イメージの最適化]** - **[パターンの選択]** を選択します。

手順8： 最適な印刷のパターンの番号 (1～7) を選択します。 パターン3と4のように、2つのパターンから選択するのが難しい場合は、パターン3と4の間を選択します。

これで、キャリブレーションは完了です。

キャリブレーションを行ったあと

拡張精度キャリブレーションにより印刷品質の問題が軽減しても完全に解決しない場合は、手順7を再試行して、別の番号を選択してください。 明るい帯がある場合は、最初に選択した番号よりも小さい番号を選択してみてください。 暗い帯がある場合は、大きい番号を選択してみてください。

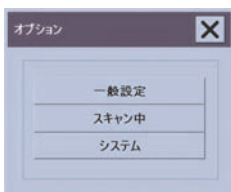
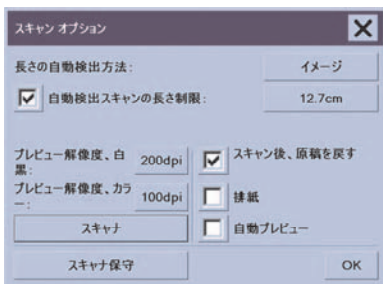
キャリブレーション後の設定を、プリンタ出荷時の用紙送り設定に戻す場合は、 または アイコンを選択し、次に **[拡張精度キャリブレーション]** - **[描画/テキストの最適化]** または **[イメージの最適化]** - **[パターンの選択]** - **[工場出荷時のデフォルト]** を選択します。

11 使用方法 （スキャナ） [4500]

注記 この章は、HP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

スキャナのキャリブレーション

最高のスキャン品質を維持するために、月に1回スキャナのキャリブレーションを行ってください。

1. キャリブレーションを実行する前に、スキャン領域のクリーニング方法についてスキャナのオンラインガイドをお読みく▯さい。 次にスキャナをオフにして、スキャン領域をクリーニングします。スキャン領域が汚れていると、キャリブレーションは正しく機能しません。
2. スキャン領域のクリーニングが終了したら、スキャナをオンにして、少なくとも1時間そのままにしてから次の手順に進みます。
3. [セットアップ] タブの **[オプション]** ボタンを押します。

4. [オプション] ボックスの **[スキャン中]** ボタンを押します。

5. [スキャン オプション] ボックスの **[スキャナ保守]** ボタンを押します。
6. 保守ウィザードでは、カメラのアラインメント、スティッチング、およびキャリブレーションの手順が順に示されます。 スキャナに同梱されている保守シートが必要です。

画面のキャリブレーション

1. [セットアップ] タブを押します。
2. **[オプション]** ボタンを押します。
3. **[システム]** ボタンを押します。
4. **[画面のキャリブレーション]** ボタンを押して画面の指示に従います。

画面の異なる場所に表示されたターゲットを押して、キャリブレーションを実行します。 画面の操作に通常使用するポインタ （指やその他のもの）を使って、ターゲットが表示されなくなるまで各ターゲットを押し続けます。

新しいメディア プロファイルの作成

この手順を開始する前に、スキャナのキャリブレーションを実行し (詳細は、スキャナのキャリブレーション を参照してください)、正しい用紙の種類をプリンタに取り付けたことを確認してください。

1. [セットアップ] タブを押します。
2. 正しいプリンタを選択していない場合は、**[プリンタ]** ボタンを押して選択します。
3. **[メディア プロファイル]** ボタンを押します。 既存のメディア プロファイルのリストが表示されます。 現在選択されているメディア プロファイルは、グレーアウトされています。 メディア プロファイルを作成する必要のある、プリンタに現在取り付けられている用紙の種類もこのリストに含まれています。
4. **[カラー シートの印刷]** ボタンを押します。
5. 自動的にキャリブレーションが実行され、カラー パッチ リファレンス シートが印刷されます。 この処理が終了するまで待ちます。
6. メディア プロファイルのリストから、プリンタに取り付けられている用紙の種類を選択します。 新しいメディア プロファイルを生成するかどうかを確認するプロンプトが表示されます。
7. **[メディア プロファイル]** ボタンを押します。

注記　[メディアの設定] ウィンドウは、プリンタの機種によって異なります。

8. 印刷面を下向きにして、通常どおりスキャナの中央にくるようにカラー シートを差し込みます。
9. **[スキャン シート]** ボタンを押します。
10. カラー シートをスキャンしたら、ウィンドウを閉じます。

メディア プロファイルは、使用可能なメディア プロファイルのリストに表示されます。

[削除] ボタンを使用して、メディア プロファイルを削除することができます。 ユーザが作成したプロファイルのみを削除できます。

ドキュメントのコピー

1. 印刷する用紙の種類のメディア プロファイルがまだない場合は、メディア プロファイルを作成する必要があります。 詳細は、新しいメディア プロファイルの作成を参照してください。
2. ドキュメントを挿入します。
   a. 印刷面を下向きにして、上端がスキャナの挿入スロットに向くようにドキュメントを置きます。 ドキュメントの中央を挿入スロットの中央に合わせます。
   b. 開始位置に突き当たるまで、ドキュメントをゆっくり挿入スロットに差し込みます。

3. カラーまたは白黒コピーを選択します。

   どちらを選択するかによって、次の手順で使用できる原稿のタイプ テンプレートが決まります。

4. 原稿のタイプ テンプレートを選択します。

   a. [コピー] タブの **[原稿のタイプ]** ボタンを押します。

   b. これらのオプションの設定を変更したり、新しいオプションを作成する場合は、[ツール] ボタン を押します。

   c. 現在の入力に該当する原稿のタイプ テンプレートを選択します。

5. 入力サイズを選択します。

   a. [コピー] タブの **[入力サイズ]** ボタンを押します。

   b. これらのオプションの設定を変更したり、新しいオプションを作成する場合は、[ツール] ボタン を押します。

   c. リストから原稿に対応するサイズを選択します。 幅と長さの自動検出を選択することもできます。

6. 出力サイズを選択します。

   a. [コピー] タブの **[出力サイズ]** ボタンを押します。

   b. これらのオプションの設定を変更したり、新しいオプションを作成する場合は、[ツール] ボタン を押します。

   c. リストから出力コピーのサイズを選択します。

   入力サイズと異なる出力サイズを選択すると、拡大/縮小パーセントが自動的に計算され、最初のプレビュー後に [コピー] タブの [倍率] ボタンに表示されます。 または、ボタンを押して自分で拡大/縮小パーセントを選択することもできます。

7. 部数を設定します。

   a. 取り付けたドキュメントを複数コピーする場合は、[部数] オプションを押します。

   b. 編集フィールドに部数を入力します。

   このオプションを使用すると、システムを無人で動作させることができます。

8. コピーを開始します。

   [コピー] ボタン を押すと、選択した設定でコピー処理が開始されます。

   [停止] ボタン を使用して、現在のプレビューまたはコピー処理をキャンセルすることができます。

[リセット] ボタン を押して、現在の設定をクリアし、スキャナのデフォルト値にすべてリセットしてください。

ドキュメントをファイルにスキャンする

1. [スキャン] タブを選択し、原稿のタイプ、サイズ、ファイル名などのスキャン オプションを設定します。ファイル フォーマット (TIFF、JPEG) を設定するには、[設定] ボタンを押して [スキャン設定] ダイアログを表示します。

   マージン、レイアウト、メディア プロファイルなどのオプションは、次回、ファイルから印刷する前に [セットアップ] タブで設定することができます。

2. **[ファイル名]** ボタンを押して、新しい名前を入力します。 デフォルトのファイル名は現在の日付と時刻です。

   [ファイル フォルダ] ボタンを押して保存先フォルダを変更することができます。

   - 矢印を使用して、リストで目的のフォルダを検索します。
   - 3 つのピリオド (...) が表示されたボタンを押すと、親フォルダに移動します。
   - フォルダ名を押すと、そのフォルダ内に移動します。

- **[新しいフォルダ]** ボタンを使用して、現在のフォルダ内に新しいフォルダを作成します。
- **[OK]** ボタンをクリックすると、[スキャン] タブに戻ります。

3. [ファイルをスキャン] ボタン を押してスキャンを開始します。

ファイルの印刷

ファイルの印刷は、便利な印刷リストを使用して設定および制御します。 ファイルごとに部数を定義したり、セット数 （リスト全体を印刷する回数） を指定したり、またはこの両方を組み合わせて、部数を設定することができます。

1. 印刷する用紙の種類のメディア プロファイルがまだない場合は、メディア プロファイルを作成する必要があります。 詳細は、新しいメディア プロファイルの作成を参照してください。

2. [印刷] タブを押します。

[印刷] ダイアログに移動すると、[コピー] ボタン は [印刷] ボタン に変わります。

印刷リスト グループには、印刷用として現在選択されているファイルが表示されます。 このリストが空であったり、変更が必要な場合は、**[リストに追加]** ボタンを押してファイルを選択することができます。

3. [セットアップ] タブの設定をチェックまたは変更します。 マージン、レイアウト、プリンタ、メディア プロファイルなどの、[セットアップ] タブの現在の設定は、印刷ジョブ全体に適用されます。

4. [印刷] ボタン を押して、表示されているファイルをプリンタに送信します。

注記　[印刷] タブは、[スキャン] タブによって作成されたファイルを印刷するように設計されています。このタブを使用して、その他のソースからのファイルを印刷することはできません。

ファイルの表示または削除

1. [印刷] タブを押します。
2. **[リストに追加]** ボタンを押します。
3. リスト内のファイル名を押します。
4. **[表示]** または **[削除]** ボタンを押します。

厚手コート紙または厚紙のスキャン

スキャナでは、厚手コート紙および厚紙をスキャンすることができます。

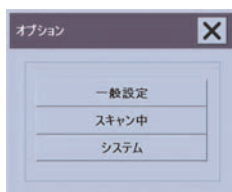
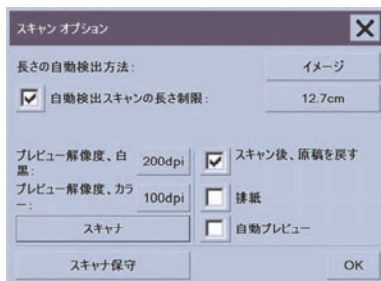
警告！　その他の厚手用紙はサポートされておらず、こうした用紙をスキャンすると故障することがあります。 スキャン前に、ホチキスの針やその他の表面の粗い付着物は取り除いてください。

1. スキャナのコントロールパネルで、厚さ自動調節ボタンを押します。

2. 挿入スロットがドキュメントを挿入できる高さになるまで、上矢印ボタンを押したままにします。 挿入スロットの高さは、2～15mm (0.08～0.59インチ) の範囲内で変更できます。
3. ドキュメントを挿入します。
4. 挿入スロットが自動的に調整を停止するまで、下矢印ボタンを押したままにします。
5. テスト スキャンを実行して、エラーがないかチェックします。 はっきりした対角線のあるイメージでは、エラーを簡単に見つけることができます。

注記　大きいドキュメントの場合には、両手で出し入れする必要があります。

線が並行になっていない場合は、以下の手順に従います。

1. [セットアップ] タブで、**[オプション]** ボタンを選択して、**[スキャン中]** ボタンを押します。

2. [スキャン オプション] ダイアログで、**[スキャナ]** ボタンを押します。

3. [スキャナ] ダイアログで、**[セットアップ]** ボタンを押します。

4. [標準以上の厚さ] タブを選択して、[厚い原稿の処理設定を使用する] チェック ボックスをオンにします。

5. スキャナの各カメラの値を変更します。 通常は、正の値のみを使用してください。

6. 線が正しくスティッチされるまで、テスト スキャンを行って値を再調整します。

7. **[OK]** をクリックして設定を適用します。

満足できる結果が得られるまでこの手順を繰り返します。

挿入スロットの高さを通常の位置に戻すには、以下の手順に従ってください。

1. 挿入スロットからすべての用紙を取り除きます。
2. 厚さ自動調節ボタンを押します。
3. 挿入スロットが自動的に調整を停止するまで、下矢印ボタンを押したままにします。

挿入スロットを長時間、最低の高さより上に設定したままにしないようにしてください。 スキャナは定期的に自動自己調整手順を実行しますが、これは、挿入スロットが最低の高さになっている場合のみ実行されます。

色の調整

[コピー] または [スキャン] タブの [原稿のタイプ] ボタンを押し、[ツール] ボタンを押すと、[原稿のタイプの設定] ボックスに、スキャンされたイメージの色を調整するさまざまなオプションが表示されます。

変更内容を保存するには、**[保存]** ボタンを押します。

注記 変更内容は現在のメディア プロファイルに保存されます。

スキャナ アカウントを有効/無効にする

1. [セットアップ] タブを押します。
2. **[アカウント]** ボタンを押します。

3. 必要に応じて、[ツール] ボタン を押します。

4. [アカウンティング] ボックスで、以下の操作を行ないます。

   - **[削除]** ボタンを押して、現在のアカウント (ボックスに名前が表示されているアカウント) を削除します。
   - **[新規]** ボタンを押して、新しいアカウントを作成し、新しいアカウントの名前を入力します。 新しいアカウントは自動的に現在のアカウントになります。
   - **[名前の変更]** ボタンを押して、現在のアカウントの名前を変更します。
   - **[リセット]** ボタンを押して、現在のアカウントをリセットします (すべての数値がゼロに戻ります)。

   上記のどのボタンを押しても、管理者のパスワードを入力するよう求めるメッセージが表示されます。

印刷キューの確認

画面の下部にある [印刷キュー] ボタン を押します。

注記　このボタンは、HP Designjet 4500シリーズ プリンタを使用している場合のみ動作します。

[印刷キュー] ボックスで、待機中の印刷ジョブを管理することができます。 リスト内を移動して、不要なジョブを削除できます。

[プロパティ] セクションには、キュー内の選択したジョブをプレビューしたり、追加情報を表示するウィンドウがあります。

複数の部数の印刷

1. [印刷] タブを押します。
2. **[リストに追加]** ボタンを押します。
3. チェック ボックスを使用して、印刷する複数のファイルを選択します。
4. **[セット数]** ボタンを押して、印刷する部数を選択します。
5. **[印刷]** ボタンを押します。

選択したファイルがセットを構成し、選択した数だけ印刷されます。

ガラスのクリーニング

1. スキャナの電源をオフにして、スキャナの電源ケーブルを取り外します。
2. スキャン領域カバーの両側の挿入スロット付近にある、2つのレバーボタンを押し込みます。 スキャン領域カバーのロック機構が解除されます。
3. 両方のレバーボタンを押し込んだまま、空いている指を挿入スロットに差し込んで、スキャン領域カバーを開きます。 これで、スキャン領域が露出してクリーニングを行うことができます。
4. 刺激が少なく筋のつかないガラス用洗剤を浸した柔らかい布で、ガラス プレートをゆっくり拭きます。

注意　研磨剤、アセトン、またはこれらの薬品を含む液体は使用しないでください。 スキャナのガラス プレートやスキャナの他の場所に液体を直接吹き付けないでください。

ガラス プレートの寿命は、スキャンする用紙の種類によって異なります。 マイラーなどの表面が粗い用紙をお使いの場合は、普通よりも早くプレートを劣化させます。その場合、プレート交換につきましてはお客様の責任となりますのであらかじめご了承ください。

5. メンテナンス キットに同梱されているような、別の乾いたきれいな柔らかい布を使用して、ガラス全体を乾拭きします。

スリープおよびウェイクアップ タイマーの設定

1. [セットアップ] タブを押します。
2. **[オプション]** ボタンを押します。
3. **[システム]** ボタンを押します。
4. **[WIDEsystem]** ボタンをクリックします。
   - 自動電源オンを有効にするには、[オン] 列の日付のチェック ボックスをオンにします。

     時刻を変更するには、時間数を選択して上矢印または下矢印ボタンを押し、分数を選択します。この手順を繰り返してください。 [AM] または [PM] を選択して、上矢印または下矢印ボタンを押します。
   - 自動電源オフを有効にするには、[オフ] 列の日付のチェック ボックスをオンにして、上記のように時刻を設定します。
5. **[適用]** ボタンを押し、変更を確認して処理を続けるか、**[OK]** ボタンを押し、変更を確認して WIDEsystem を終了します。

12 トラブルシューティング (用紙)

用紙が正しく取り付けられない [4000]

注記　このトピックはHP Designjet 4000シリーズ プリンタにのみ適用されます。

- 用紙が、斜めまたは間違った位置に取り付けられている可能性があります。 用紙の右端が、プラテンの右端にある半円に揃えられているかどうかを確認してください。特に、カット紙の場合には、先端がプラテンの金属バーに揃えられているかどうかを確認してください。
- 用紙がしわになっている、歪んでいる、または曲がっている可能性があります。

ロール紙

- プラテンへの用紙経路の紙詰まりは、用紙の先端が曲がっているかまたは汚れていることが原因の場合があります。 ロール紙の先端の2cm (1インチ) を切り取って、再度試してください。 新しいロール紙の場合でも、この処理が必要な場合があります。
- スピンドルが正しく挿入されているかどうかを確認します。 右側のスピンドル レバーは、水平になっている必要があります。
- 用紙がスピンドルに正しく取り付けられていて、ロール紙の向きが正しいかどうかを確認します。
- 用紙がロールにしっかりと巻き取られているかどうかを確認します。

カット紙

- カット紙の先端がプラテンのカッター の溝に揃っているかどうかを確認します。
- 手で切った用紙は形が不揃いになる可能性があるので使用しないでください。 購入したカット紙のみを使用してください。

用紙の取り付けに関連するフロントパネル メッセージと、推奨する処理の一覧を以下に示します。

フロントパネル メッセージ	推奨する処理
ロール紙の右端が取り付け線から離れています。	ロール紙が正しく取り付けられていないか、右端がプラテンの半円に合っていません。 選択 ボタンを押して、ロール紙を取り付け直してください。
カット紙の右端が取り付け線から離れています。	カット紙が正しく取り付けられていないか、右端がプラテンの取り付け線に合っていません。 選択 ボタンを押して、ロール紙を取り付け直してください。
右端が見つかりません。	用紙の右端が見つかりません。用紙が正しく取り付けられていない可能性があります。 選択 ボタンを押して、ロール紙を取り付け直してください。
カット紙の端が見つかりません。	カット紙の端が見つかりません。用紙が正しく取り付けられていない可能性があります。 選択 ボタンを押して、カット紙を取り付け直してください。
ロール紙の端が見つかりません。	用紙の取り付け中に、用紙が検出されませんでした。 選択 ボタンを押して再試行してください。
取り付けた用紙にスキューが多すぎます。	用紙の取り付け中に、用紙のスキュー (歪み) が多すぎることが検出されました。 選択 ボタンを押して、ロール紙を取り付け直してください。

フロントパネル メッセージ	推奨する処理
用紙が小さすぎます。	用紙の取り付け中に、用紙の縦または横が短すぎることが検出されたため、プリンタに取り付けることができません。 キャンセル ボタンを押して、用紙の取り付け処理を停止してください。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。
用紙が大きすぎます。	用紙の取り付け中に、用紙の縦または横が長すぎると検出されたため、正しく取り付けることができません (カット紙のみ)。 キャンセル ボタンを押して、用紙の取り付け処理を停止してください。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。
カット紙が長すぎます。	用紙の取り付け中に、カット紙が長すぎると検出されたため、正しく取り付けることができません。 ロール紙ではなくカット紙として認識されていることを確認します。 選択 ボタンを押して、ロール紙を取り付け直してください。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。
レバーが上がっています。	用紙の取り付け中に、用紙取り付けレバーが上がっていました。 この状態では、プリンタに用紙を取り付けることができません。 選択 ボタンを押して、ロール紙を取り付け直してください。

用紙が正しく取り付けられない [4500]

注記　このトピックはHP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

- 用紙が、斜めまたは間違った位置に取り付けられている可能性があります。
- 用紙がしわになっている、歪んでいる、または曲がっている可能性があります。
- プラテンへの用紙経路の紙詰まりは、用紙の先端が曲がっているかまたは汚れていることが原因の場合があります (手動カッターで用紙をカットする [4500] を参照)。 ロール紙の先端の2cm (1インチ) を切り取って、再度試してください。 新しいロール紙の場合でも、この処理が必要な場合があります。
- 引き出しが正しく閉じられているかどうかを確認します。
- スピンドルが正しく挿入されているかどうかを確認します。
- 用紙がスピンドルに正しく取り付けられていて、ロール紙の向きが正しいかどうかを確認します。
- 用紙がロールにしっかりと巻き取られているかどうかを確認します。

用紙の取り付けに関連するフロントパネル メッセージと、推奨する処理の一覧を以下に示します。

フロントパネル メッセージ	推奨する処理
右端が見つかりません。	用紙の右端が見つかりません。用紙が正しく取り付けられていない可能性があります。 選択 ボタンを押して、ロール紙を取り付け直してください。
ロール紙の端が見つかりません。	用紙の取り付け中に、用紙が検出されませんでした。 選択 ボタンを押して再試行してください。

フロントパネル メッセージ	推奨する処理
取り付けた用紙にスキューが多すぎます。	用紙の取り付け中に、用紙のスキュー (歪み) が多すぎることが検出されました。選択 ボタンを押して、ロール紙を取り付け直してください。
用紙が小さすぎます。	用紙の取り付け中に、用紙の縦または横が短すぎることが検出されたため、プリンタに取り付けることができません。 キャンセル ボタンを押して、用紙の取り付け処理を停止してください。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。
レバーが上がっています。	用紙の取り付け中に、用紙取り付けレバーが上がっていました。 この状態では、プリンタに用紙を取り付けることができません。 選択 ボタンを押して、ロール紙を取り付け直してください。

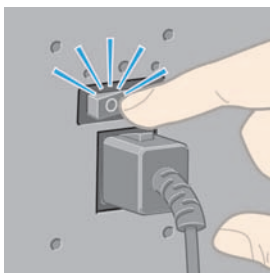
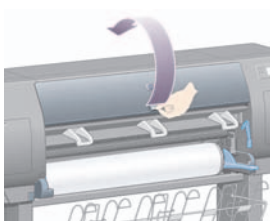
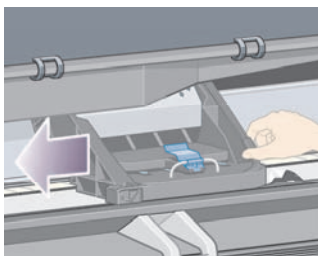
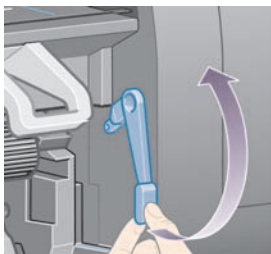
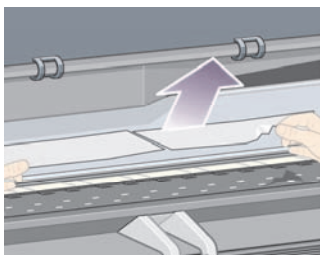
紙詰まり (プリンタの紙詰まり) [4000]

注記 このトピックはHP Designjet 4000シリーズ プリンタにのみ適用されます。

紙詰まりが発生した場合、通常は **[紙詰まりの可能性があります]** というメッセージがフロントパネルに表示されます。このメッセージには、次の2つのエラーコードのいずれかが表示されます。

- 「81:01」が表示された場合は、用紙がプリンタに送られていません。
- 「86:01」が表示された場合は、プリントヘッド キャリッジが左右に移動できません。

プリントヘッドの給紙経路を確認する

1. フロントパネルでプリンタの電源を切り、背面にある電源スイッチもオフにします。

2. ウィンドウを開きます。

3. プリントヘッド キャリッジを邪魔にならない場所に移動してみます。

4. 用紙取り付けレバーを上がるところまで持ち上げます。

5. プリンタの上部から、詰まった用紙を慎重に取り除きます。

6. 残りのロール紙またはカット紙をプリンタから慎重に引き出します。

7. プリンタの電源を入れます。

8. ロール紙を取り付け直すか、新しいカット紙を取り付けます。 詳細は、ロール紙をプリンタに取り付ける [4000] または カット紙を取り付ける [4000] を参照してください。

9. さらにプリンタ内に障害の原因となる用紙が残っている場合は、手差し用紙をプリンタに取り付けることで、取り除くことができる場合があります。

10. 紙詰まりが発生した後で印刷品質に問題がある場合は、プリントヘッドの軸合わせを再度行ってください。 詳細は、プリントヘッドの軸合わせを行うを参照してください。

用紙経路を確認する

- この問題は、ロール紙が終了したときに、ロール紙の端が厚紙の芯に張り付いている場合に発生します。 この場合は、ロール紙の端を芯から切り取ってください。プリンタに用紙を給紙できるようにしてから、新しいロール紙を取り付けます。
- それ以外の場合は、前述の プリントヘッドの給紙経路を確認する の手順に従います。

紙詰まり (プリンタの紙詰まり) [4500]

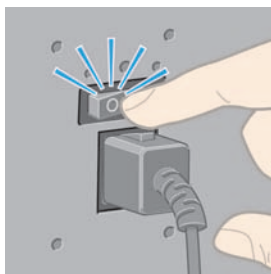
注記 このトピックはHP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

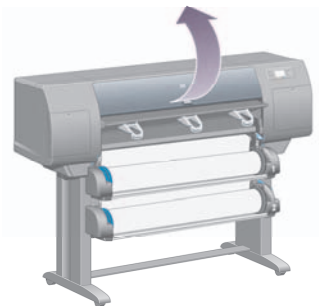
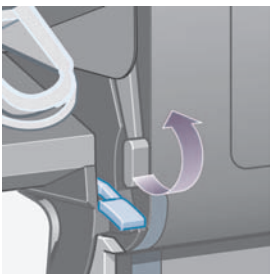
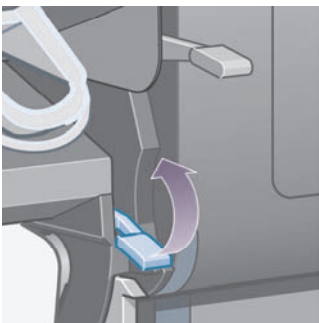
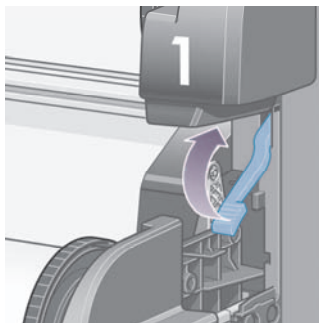
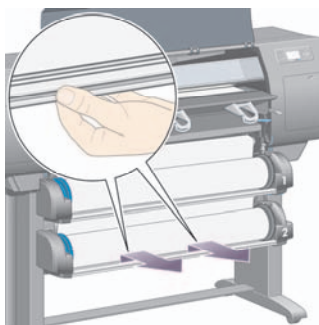
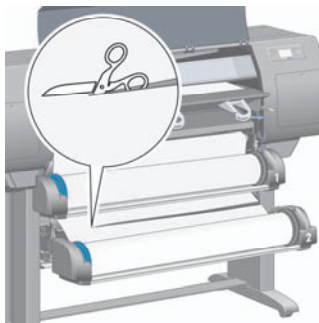
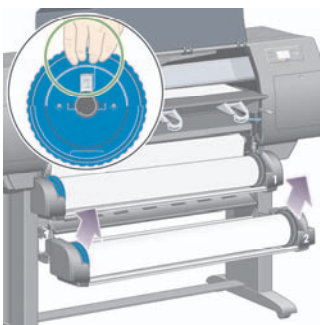
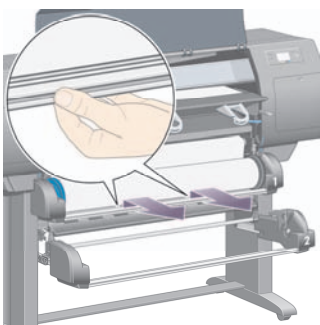
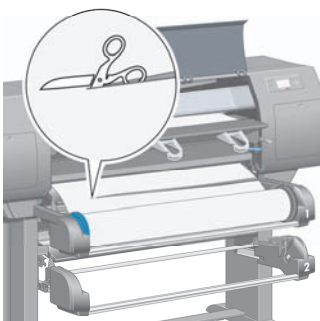
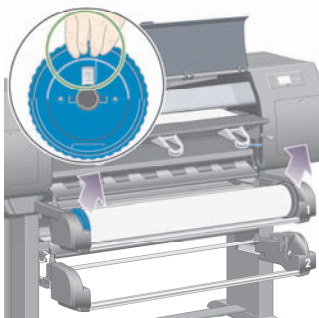
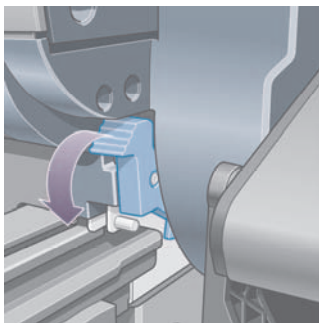
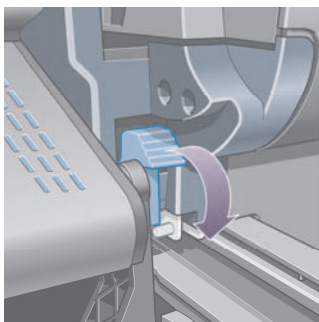
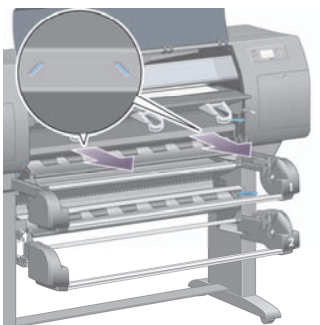
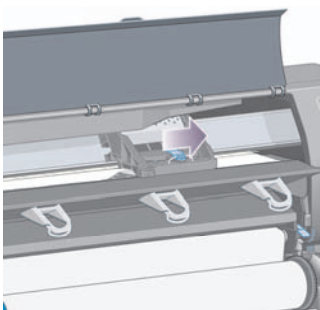
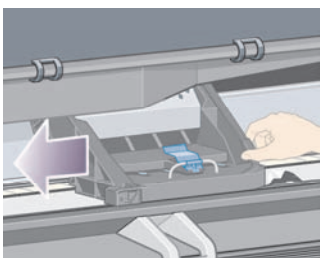
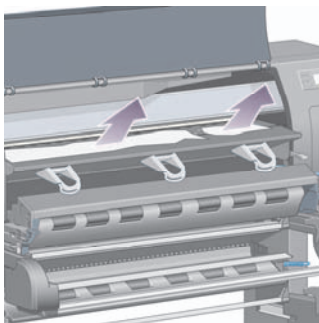
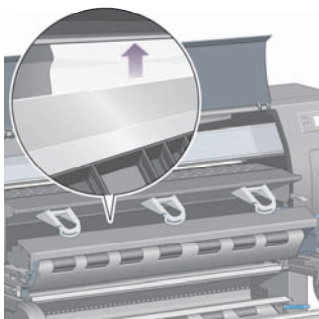
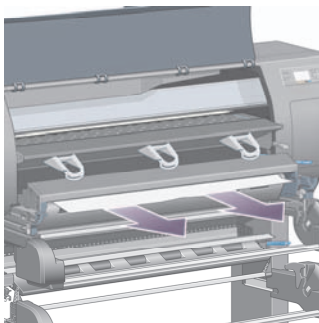
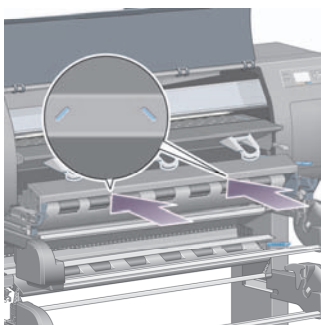
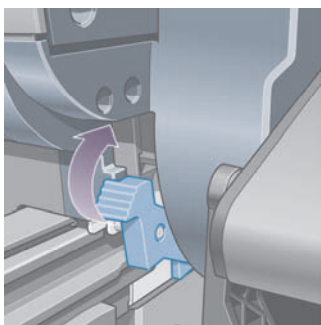
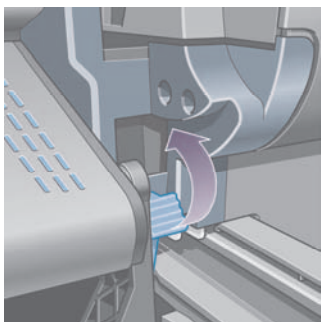
紙詰まりが発生した場合、通常は**[紙詰まりの可能性があります]**というメッセージがフロントパネルに表示されます。このメッセージには、次のエラーコードのいずれかが表示されます。

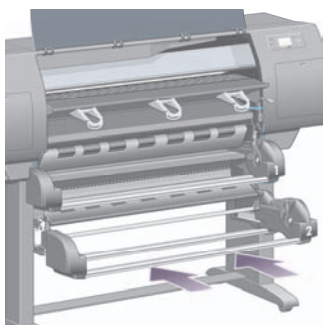
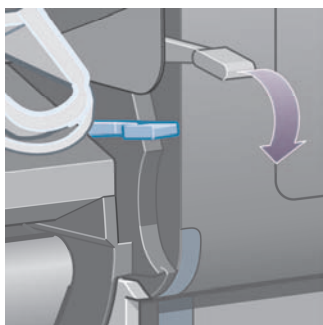
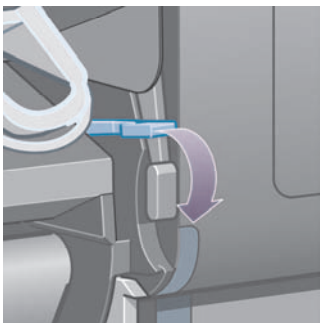
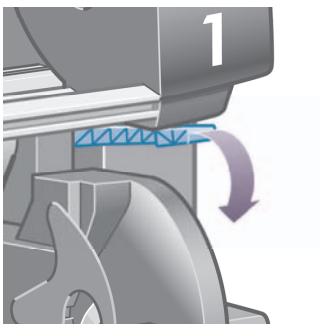
- 「81:01」が表示された場合は、用紙がプリンタに送られていません。
- 「84.1:01」が表¤ºされた場合は、引き出し1で紙詰まりが発生しています。
- 「84.2:01」が表示された場合は、引き出し2で紙詰まりが発生しています (詳細は、引き出し2で紙詰まり [4500] を参照してください）。
- 「86:01」が表示された場合は、プリントヘッド キャリッジが左右に移動できません。

選択 ボタンを押すと、フロント パネルに紙詰まりの解消方法を示すアニメーションが表示されます。本書を参照することもできます (以下を参照)。

プリントヘッドの給紙経路を確認する

1. フロントパネルでプリンタの電源を切り、背面にある電源スイッチもオフにします。

2. プリンタから用紙スタッカを取り外します。

3. ウィンドウを開きます。

4. ドライブ ピンチ レバーを上がるところまで持ち上げます。

5. ロール紙1用紙取り付けレバーを持ち上げます。

6. ロール紙2用紙取り付けレバーを持ち上げます。

7. 下の引き出しを少し上に持ち上げて、引き出せるところまで手前に引き出します。

8. 用紙をカットします。

9. ロール紙を取り外します。

10. 上の引き出しを少し上に持ち上げて、引き出せるところまで手前に引き出します。

11. 用紙をカットします。

12. ロール紙を取り外します。

13. 左側のロック レバーを下げます。

14. 右側のロック レバーを下げます。

15. 前面の手差し用紙フィーダを引き出せるところまで手前に引き出します。

16. プリントヘッド キャリッジを邪魔にならない場所に移動してみます。

17. プリンタの上部から、詰まった用紙を慎重に取り除きます。

18. 用紙をプラテンの内側に押し込みます。

19. 残りの用紙をプリンタから慎重に引き出します。 用紙経路にたるんだ用紙が残っていないかどうか確認します。

20. 前面の手差し用紙フィーダを所定の位置に押し戻します。

21. 左側のロック レバーを上げます。

22. 右側のロック レバーを上げます。

23. 上の引き出しを所定の位置に押し戻します。

24. 下の引き出しを所定の位置に押し戻します。

25. ドライブ ピンチ レバーを下げます。

26. ロール紙1用紙取り付けレバーを下げます。

27. ロール紙2用紙取り付けレバーを下げます。

28. ウィンドウを閉じます。

29. プリンタの電源を入れます。

30. ロール紙を取り付け直します。 詳細は、ロール紙をプリンタに取り付ける [4500]を参照してください。

    さらにプリンタ内に障害の原因となる用紙が残っている場合は、手差し用紙をプリンタに取り付けることで、取り除くことができる場合があります。

31. 用紙スタッカをプリンタに再び取り付けます。

32. 紙詰まりが発生した後で印刷品質に問題がある場合は、プリントヘッドの軸合わせを再度行ってください。 詳細は、プリントヘッドの軸合わせを行うを参照してください。

用紙経路を確認する

- この問題は、ロール紙が終了したときに、ロール紙の端が厚紙の芯に張り付いている場合に発生します。 この場合は、ロール紙の端を芯から切り取ってください。プリンタに用紙を給紙できるようにしてから、新しいロール紙を取り付けます。
- それ以外の場合は、前述の プリントヘッドの給紙経路を確認する の手順に従います。

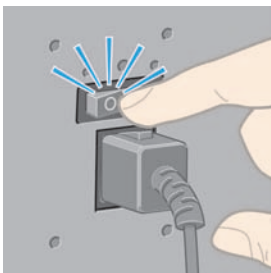
引き出し2で紙詰まり [4500]

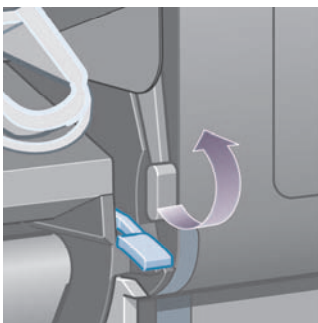
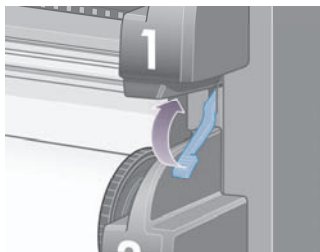
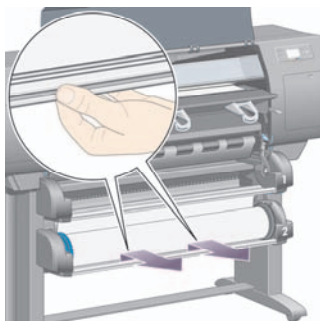
注記 このトピックはHP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

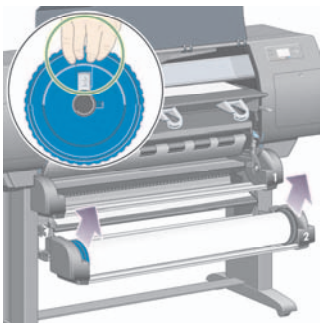
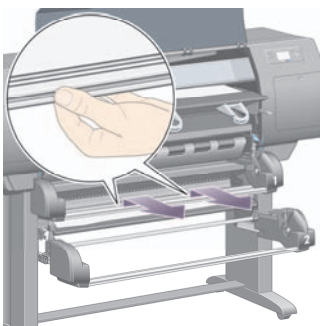
引き出し2で紙詰まりが発生した場合、**[紙詰まりの可能性があります]** というメッセージが、エラー コード84.2:01とともにフロントパネルに表示されます。

選択 ボタンを押すと、フロント パネルに紙詰まりの解消方法を示すアニメーションが表示されます。 本書を参照することもできます (以下を参照)。

紙詰まりを取り除くには、以下の手順に従ってください。

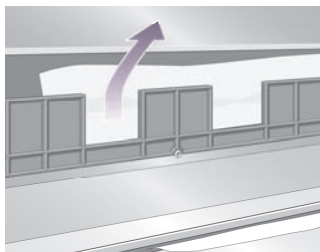
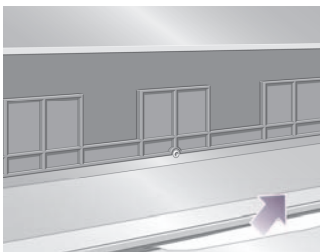
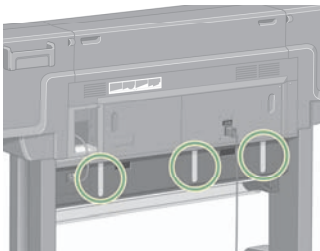
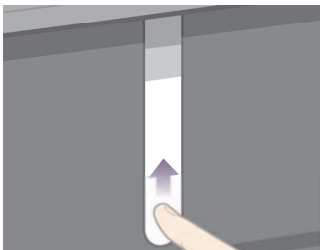
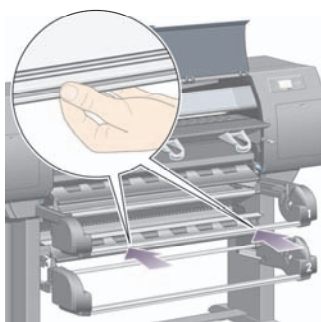
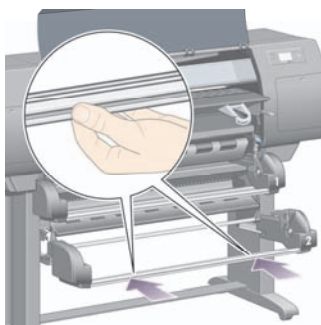
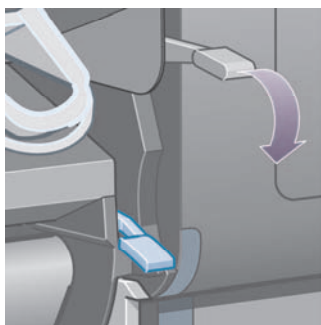
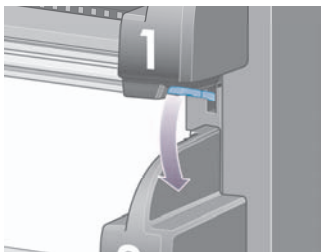
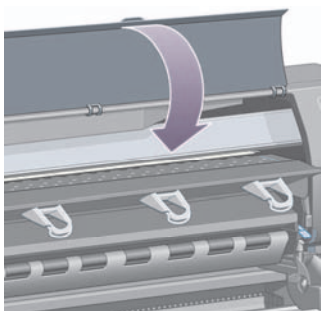
1. フロントパネルでプリンタの電源を切り、背面にある電源スイッチもオフにします。

2. プリンタから用紙スタッカを取り外します。
3. ウィンドウを開きます。

4. ドライブ ピンチ レバーを上がるところまで持ち上げます。

5. ロール紙2用紙取り付けレバーを持ち上げます。

6. 下の引き出しを少し上に持ち上げて、引き出せるところまで手前に引き出します。

7. 用紙をカットします。

8. ロール紙を取り外します。

9. 上の引き出しを少し上に持ち上げて、引き出せるところまで手前に引き出します。

10. カットした下側の用紙を慎重に取り除きます。

11. プリンタの上部から、持ち上げて取り出すことができる用紙を慎重に取り除きます。

12. 引き出しの後ろのロール紙モジュールの前面を調べます。

13. そこに見えている用紙を取り除きます。

14. ロール紙と小さなプラスチック ローラーの間に詰まっている用紙を取り除きます。

15. プリンタの後ろに回って、ロール紙モジュールの背面にある3つの縦のスリットを調べます。

16. スリットから用紙が見えている場合には、上下に押して取り除きます。

17. プリンタの前面に戻って、上の引き出しを所定の位置に押し戻します。

18. 下の引き出しを所定の位置に押し戻します。

19. ドライブ ピンチ レバーを下げます。

20. ロール紙2用紙取り付けレバーを下げます。

21. ウィンドウを閉じます。

22. プリンタの電源を入れます。

23. ロール紙を取り付け直します。 詳細は、ロール紙をプリンタに取り付ける [4500]を参照してください。

さらにプリンタ内に障害の原因となる用紙が残っている場合は、手差し用紙をプリンタに取り付けることで、取り除くことができる場合があります。

24. 用紙スタッカをプリンタに再び取り付けます。

25. 紙詰まりが発生した後で印刷品質に問題がある場合は、プリントヘッドの軸合わせを再度行ってください。 詳細は、プリントヘッドの軸合わせを行うを参照してください。

印刷物が用紙スタッカに正しく積み重ねられない [4000]

注記　このトピックはHP Designjet 4000シリーズ プリンタにのみ適用されます。

- 小さいカット紙に印刷する場合は、3つのループ ストッパを持ち上げます。
- 用紙は端でカールすることが多いため、積み重ねの問題が発生します。 新しいロール紙を取り付けるか、印刷が完了したら手で取り出します。
- 異なるサイズの印刷物が混じっていたり、ネスティングしている場合、スタッカに複数のサイズの用紙が積み重ねられるため、問題が発生することがあります。

印刷物がバスケットに正しく積み重ねられない [4500]

注記　このトピックはHP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

- 上にある印刷物の重さによって、バスケットの下にある印刷物が傷つくことがあります。 このため、バスケットが一杯になる前にバスケットから印刷物を取り出すことをお勧めします。
- インク含量の多いコート紙は、バスケット内に落とした場合しわになる可能性があります。 この場合は、通常より頻繁に印刷物をバスケットから取り出す必要があります。

プリントヘッドの軸合わせで大量の用紙が使用される

プリントヘッドの軸合わせを正しく行うため、軸合わせ処理が開始される前に、最大3m (約10フィート) の用紙が排出される場合があります。 これは、正常な動作ですので、中断したり停止したりしないでください。 詳細は、プリントヘッドの軸合わせを行うを参照してください。

プリンタがスタンバイ モードのときに用紙が移動する [4500]

注記　このトピックはHP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

プリンタがスタンバイ モードのときに、用紙を最適な状態に保つために一時的にプリンタが動作し、用紙を少し移動させる場合があります。 これは、特定の用紙の種類 (フィルム、光沢紙、厚手コート紙) の場合のみ行われます。

長期間プリンタを使用しなかった場合、プリンタが用紙を取り外したりカットしたりする [4500]

注記　このトピックはHP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

数日間プリンタを使用しなかった場合、用紙を最適な状態に保つために、プリンタが自動的にロール紙を取り外したりカットしたりすることがあります。 これは、特定の用紙の種類 (光沢紙および厚手コート紙) の場合のみ行われます。

プリンタの電源がオフのときに用紙が取り外される [4500]

注記　このトピックはHP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

フロント パネルでプリンタの電源がオフのとき、用紙を最適な状態に保つために、プリンタが自動的にロール紙を取り外すことがあります。 これは、特定の用紙の種類 (フィルム、光沢紙、厚手コート紙) の場合のみ行われます。

プリンタの電源をオンにすると用紙が取り外される [4500]

注記　このトピックはHP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

背面の電源スイッチのオフ、電源ケーブルの取り外し、または停電によってプリンタの電源が切られた場合、再度電源を入れると、用紙を最適な状態に保つために、プリンタが自動的にロール紙を取り外すことがあります。 これは、特定の用紙の種類 (フィルム、光沢紙、厚手コート紙) の場合のみ行われます。

注意　プリンタの電源を切る場合は、背面の電源スイッチを使用したり電源ケーブルを取り外す前に、フロント パネルの 電源 ボタンを使用することを強くお勧めします。

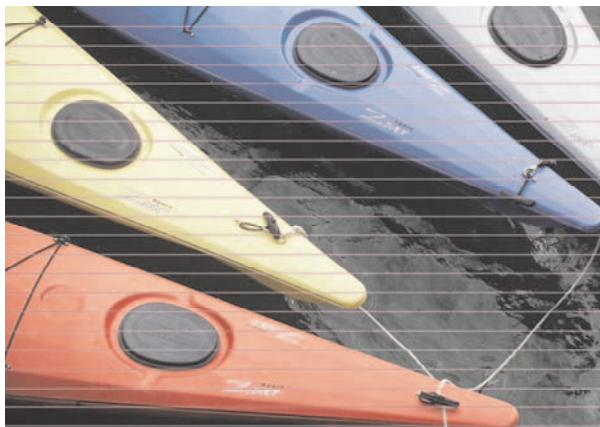
13 トラブルシューティング (印刷品質)

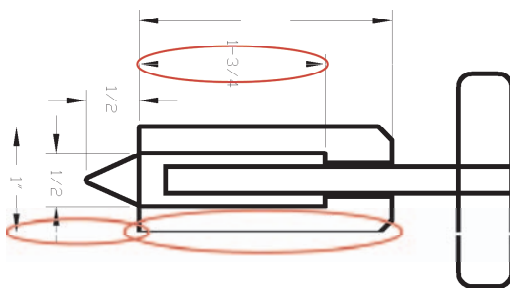
一般的なヒント

印刷の品質に問題がある場合は、以下の項目を確認してください。

- プリンタで最高のパフォーマンスを実現するために、HP純正のサプライ品とアクセサリをお使いください。これは、純正品では信頼性とパフォーマンスが十分に検証されており、トラブルなく最高品質の印刷を実現できるためです。 推奨する用紙についての詳細は、CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。
- フロントパネルで選択されている**用紙の種類**が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。 これを確認するには、フロントパネルの またはアイコンをハイライトさせます。
- 用紙の種類が同じである場合、一般的にカット紙よりロール紙の方が高い印刷品質を実現できます。 カット紙を使用している場合は、印刷品質を常に **[高品質]** に設定することを強くお勧めします。
- 目的に最も適した印刷品質設定を使用しているかどうか確認します (詳細は、印刷品質設定を選択する を参照)。 印刷品質の問題が最も起こりやすいのは、印刷品質を **[高速]** に設定している場合です。
- 印刷速度を遅くしても最高の印刷品質を維持する場合は、**[プリントヘッドのモニタ]** 設定を **[強化]** に設定します。 詳細は、プリントヘッドのモニタ状況を管理するを参照してください。
- 環境状況 (温度、湿度) が高品質の印刷に適しているか確認します。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。

帯状のムラがある (イメージに横線)

以下のように、印刷イメージに横線が現れる場合 (色は異なる場合があります) は、以下の手順に従います。

1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。 詳細は、印刷品質設定を選択するを参照してください。
2. 問題が解決されない場合は、適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認して、イメージを印刷してください。 詳細は、プリントヘッドを修復 (クリーニング) するを参照してください。
3. 厚い用紙に変更してみてください。濃い色を印刷する場合は、HP厚手コート紙またはHP光沢フォト用紙2をお勧めします。
4. 問題が解決されない場合は、イメージ診断印刷を使用して、問題の詳細を確認します。 詳細は、使用方法 (イメージ診断の印刷)を参照してください。

線が印刷されない、または細い

1. 線の太さおよび色の設定が正しいかどうかを、アプリケーションで確認します。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。 詳細は、印刷品質設定を選択するを参照してください。

3. 問題が解決されない場合は、適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認して、イメージを印刷してください。 詳細は、プリントヘッドを修復 (クリーニング) するを参照してください。

4. 問題が解決されない場合は、イメージ診断印刷を使用して、問題の詳細を確認します。 詳細は、使用方法 (イメージ診断の印刷)を参照してください。

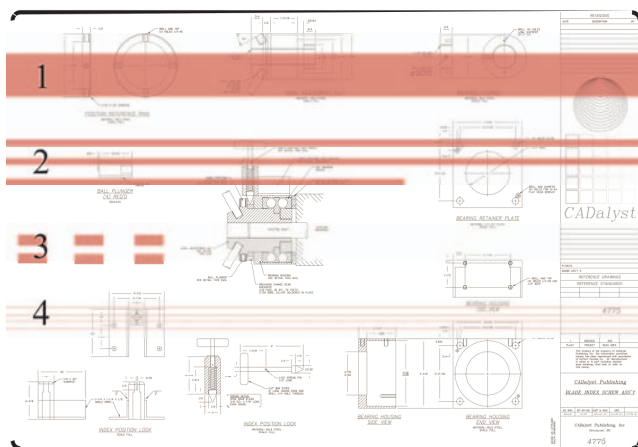
イメージの上に帯状や線状の塗りつぶしが現れる

下の図のマゼンタ色で表示されている部分のように、この問題はさまざまな形状で現れます。

1. 太い色付きの帯

2. 細い色付きの帯

3. 不連続状の色付きのブロック

4. 細い線

いずれの場合でも、以下の手順に従うことをお勧めします。

1. 問題があると思われるプリントヘッドの電極部分をクリーニングします (この例では、マゼンタのプリントヘッド)。 詳細は、プリントヘッドの電極部分をクリーニングするを参照してください。

2. プリントヘッドをクリーニングします。 詳細は、プリントヘッドを修復 (クリーニング) するを参照してください。

3. 前と同じ設定でイメージを印刷します。

4. 問題が解決しない場合は、問題の原因になっていると考えられるプリントヘッドを交換します。 どのプリントヘッドが原因かわからない場合は、イメージ診断の印刷を使用して、プリントヘッドを特定します。 詳細は、使用方法 (イメージ診断の印刷)を参照してください。

触れたときに印刷が汚れる

黒の顔料は、指やペンで触れると汚れます。 これは特に、ベラム紙、半透明ボンド紙、フィルム、フォト用紙、およびトレーシングペーパーを使用した場合に顕著です。

汚れを少なくするには、以下の手順に従ってください。

- 湿度が高すぎない環境で印刷してみます。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。
- イメージの純粋な黒のオブジェクトを、こげ茶などの暗い色に変更して、黒インクではなくカラー インクで印刷するようにします。
- HP厚手コート紙を使用します。
- 乾燥時間を増やします (詳細は、乾燥時間を変更する を参照)。

用紙にインクが残る

この問題は、複数の理由で発生します。

コート紙の表面に汚れがある

コート紙に使用するインクが多すぎると、インクが用紙に吸収され広がります。 プリントヘッドは、用紙の上を移動するときに用紙に触れるため、印刷イメージが汚れます。

この問題が発生した場合は、印刷ジョブをただちにキャンセルする必要があります。 キャンセル ボタンを押して、コンピュータ アプリケーションのジョブをキャンセルします。 そのままにしておくと、インクが染み込んだ用紙が原因で、プリントヘッドが損傷する可能性があります。

この問題を解消するには、以下の方法を試してください。

- 推奨する用紙の種類を使用します (CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照)。
- 印刷するイメージに強い色彩が含まれている場合は、HP厚手コート紙を使用してみます。
- マージン設定を広くします (詳細は、マージンを調整する を参照)。または、ソフトウェア アプリケーションを使用してページ内のイメージを移動し、マージンを大きくします。
- 必要に応じて、透明フィルムなどの紙以外の材質のものに変更してみます。

光沢紙の表面に汚れやキズがある

光沢紙は、スタッカなどの印刷直後に触れるものに対して非常に敏感な場合があります。 これは、印刷したインクの量と、印刷時の環境条件によって異なります。 用紙の表面に触れないようにして、印刷物は注意深く扱ってください。

ヒント　カット紙を1枚スタッカに入れて、印刷直後の用紙がスタッカと直接触れないようにします。 または、重要な印刷物がプリンタから出てきたらすぐに取り出して、スタッカに落ちないようにします。

用紙の裏面にインクが付着する

プラテンや給紙ローラーに残ったインクが用紙の裏に付着する場合があります。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。

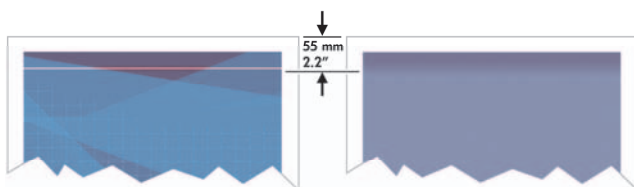
スタッカの使用時にインクが残る [4500]

注記　スタッカは、HP Designjet 4500シリーズ プリンタでのみ使用できます。

以下の方法を試してください。

- スタッカ ローラーをクリーニングします。 詳細は、スタッカ ローラーをクリーニングするを参照してください。
- 使用している用紙がスタッカに対応しているかどうかを確認します。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。
- 半透明ボンド紙、ベラム紙、またはトレーシングペーパーに [高速] モードで印刷する場合、インク濃度の高い領域でインクにじみが発生する可能性があります。 この問題を解消するには、[標準] または [高品質] モードを選択します。 詳細は、印刷品質を変更するを参照してください。

印刷の開始直後に不具合が発生する

用紙の端から5.5cm以内の、印刷の最初の部分にのみ不具合が発生することがあります。 色調がそろっていない細い帯または太い帯が現れます。

この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. 最も簡単な解決方法は、プリンタ ドライバ、内蔵Webサーバ、またはフロントパネルで、**[マージン設定 - 広い]** を選択します。 これにより、問題の起こりやすい (ページの始まり) 範囲が印刷されなくなります。 詳細は、マージンを調整するを参照してください。
2. プリントヘッドの軸合わせを行います。 詳細は、プリントヘッドの軸合わせを行うを参照してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。 詳細は、印刷品質設定を選択するを参照してください。

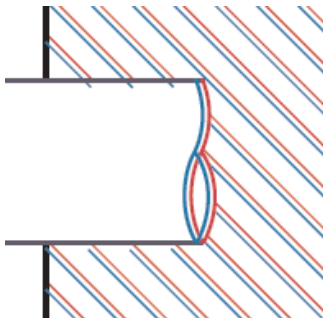
線が段状になる

印刷時に、イメージの線が段状になるとか、またはギザギザになった場合、以下の手順に従ってください。

1. イメージ自体に問題がある場合もあります。 イメージの編集に使用しているアプリケーションで、イメージの品質を向上させてみます。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。 詳細は、印刷品質設定を選択するを参照してください。
3. [高精細] オプションをオンにします。

線が二重または間違った色で印刷される

以下に示すように、この問題にはさまざまな種類があります。

- 色付きの線が、別の色で二重に印刷される。

- 色付きのブロックの境界線の色が間違っている。

この問題を修正するには

1. プリントヘッドの軸合わせを行います。 詳細は、プリントヘッドの軸合わせを行うを参照してください。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。 詳細は、印刷品質設定を選択するを参照してください。

線が不連続になる

以下の図のように、線が不連続になる場合は、以下の手順に従います。

1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。 詳細は、印刷品質設定を選択するを参照してください。
2. カット紙よりもロール紙を使用したほうが、縦線を鮮明に印刷できます。 カット紙を使用する場合は、印刷品質を **[高品質]** に設定してください。
3. HP厚手コート紙またはHP光沢フォト用紙2などの厚い紙に変更してみてください。 詳細は、印刷品質設定を選択する を参照してください。
4. プリントヘッドの軸合わせを行います。 詳細は、プリントヘッドの軸合わせを行うを参照してください。

線がぼやけている (にじむ)

インクが用紙ににじんでいる場合、線がぼやけてあいまいになります。これは、空気中の湿気が原因になっている可能性があります。 以下の方法を試してください。

1. 環境状況 (温度、湿度) が高品質の印刷に適しているか確認します。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。
2. HP厚手コート紙またはHP光沢フォト用紙2などの厚い紙に変更してみてください。 詳細は、印刷品質設定を選択する を参照してください。

注記　既にこれを試している場合は、厚めの用紙で試してみてください。 特に、光沢フォト用紙は乾きにくい用紙なので、十分に注意してください。

3. フロントパネルで選択した用紙の種類が、実際に使用している用紙の種類と同じかどうか確認します。
4. プリンタの出力を早くするために、フロントパネルで乾燥時間を調整した可能性があります。 アイコンをクリックして、**[乾燥時間の選択]** を選択し、**[最適]** に設定されていることを確認します。
5. 印刷物が個別に乾燥する時間を確保します。印刷物を覆ったり重ねたりしないでください。

線が少しゆがんでいる

用紙自体がゆがんでいる可能性があります。 これは、用紙を不適切な環境で使用または保管している場合に発生します。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。

カラー精度

カラー精度を実現するには、2つの基本的な要件があります。

1. 用紙の種類に対してキャリブレーションが実行済みであることを確認します。これにより、大量の印刷でも、またプリンタを変えても色の一貫性を実現できます。 詳細は、カラー キャリブレーションを実行するを参照してください。
2. アプリケーションで適切なオプションを選択します。詳細は、使用方法 (カラー) を参照してください。

注記　PostScriptを使用している場合は、ソフトウェアのパレットではなく、内蔵のペン パレットの1つが使用される (デフォルト) ようにプリンタが設定されていることに注意してください。 詳細は、ペンの設定が適用されないを参照してください。

ページ レイアウト アプリケーションでEPSまたはPDFイメージを使用した場合のカラー精度

Adobe InDesignやQuarkXPressなどのページ レイアウト アプリケーションは、EPS、PDF、またはグレースケール ファイルのカラーマネージメントをサポートしていません。

このようなファイルを使用する必要がある場合は、Adobe InDesignまたはQuarkXPressで使用するのと同じカラー スペースに、EPS、PDF、またはグレースケール イメージが既にあることを確認します。たとえば、SWOP標準に従った印刷機でジョブを印刷することを目標にしている場合は、EPS、PDF、またはグレースケールの作成時に、イメージをSWOPに変換する必要があります。

PANTONEカラー精度

スポット カラーは、前もって混合された特殊なインクで、印刷機で直接使用されます。最も有名なスポット カラーは、PANTONEカラーです。

PostScriptモデルを使用している場合、プリンタには自動PANTONE(R)キャリブレーション (または、HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション) という機能があります。これにより、ほとんどのPANTONEソリッド コーテッド スポット カラーと簡単に一致させることができます。 アプリケーションがPANTONEカラーを印刷用に送信すると、該当するCMYK値の推定値とPANTONE名が送信されます。 自動PANTONE(R)キャリブレーション機能は、PANTONE名を認識して、プリンタ モデルおよび選択した用紙の種類に基づいて、CMYKに変換します。 これにより、アプリケーションによって送信された一般的なCMYK値よりも精度の高いカラーのレンダリングが可能になります。

自動PANTONE(R)キャリブレーションを使用している場合でも、プリンタはPANTONEカラーと完全に一致することはできません。 本機はPantoneで認定されていますが、PANTONEカラーを完全に再現できるわけではありません。

自動PANTONE(R)キャリブレーションの使用 (最良の選択)

自動PANTONE(R)キャリブレーションを使用するには、PANTONEカラーを認識するアプリケーションと、キャリブレーション実行済みのPostScriptプリンタが必要です。

自動PANTONE(R)キャリブレーション機能は、PANTONEソリッド コーテッド カラー (サフィックス C) のみをエミュレートします。 その他のPANTONEカラーは、アプリケーションによって送信されたCMYK値で印刷されます。

PANTONEカラーの手動変換

PostScript以外のプリンタを使用している場合、またはPANTONEカラーの名前をプリンタに送信しないアプリケーション (Adobe Photoshopなど) を使用している場合は、自動PANTONE(R)キャリブレーションを使用することはできません。 代わりに、プリンタと用紙の種類別に作成された表を使用して、各PANTONEカラーをアプリケーションのCMYK値に手動で変換できます。

アプリケーションにPANTONEカラーをCMYK値に自動的に変換する機能がある場合でも、プリンタまたは用紙の種類は考慮されない可能性があるため、表を使用して手動で変換する方が、よい結果が得られます。

PANTONEキャリブレーション カラー チャートは、EPS、TIFF、およびPDF形式で入手することもできます。このチャートは、アプリケーションに、インポートしたグラフィックからカラーを抽出するスポイト ツールが備わっている場合に便利です。

ヒント

- 自動PANTONE(R)キャリブレーションは、PostScriptプリンタでのみ機能します。
- 自動PANTONE(R)キャリブレーションがドライバでオンになっていることを確認してください。

- アプリケーションによっては、PANTONEカラーを完全にサポートしていない場合もあります。たとえば、Photoshop 7.0は、PANTONEカラーとその名前を送信しません。標準の表からCMYK値を抽出し、その値のみを送信します。
- 一部の色は色域の範囲外になるため、プリンタと用紙の種類に一致させることができない場合があります。

他のHP Designjetと色が一致しない

異なる2機種のプリンタ (HP Designjet 4000シリーズ プリンタとHP Designjet 1000シリーズ プリンタなど) でイメージを印刷した場合、2つの印刷物の色が一致しないことがあります。

それぞれの印刷デバイスで、インクの化学組成、用紙の化学組成、およびプリントヘッドが違っている場合、色を完全に一致させることはできません。 ここでは、特定のプリンタを別のプリンタでエミュレートする最適な方法を説明します。 その場合でも、印刷結果は完全に一致するとは限りません。

別々のPostScriptドライバ経由で印刷する場合

PostScriptドライバがそれぞれにインストールされたプリンタで、印刷を行う場合の手順を説明します。 以下の例では、HP Designjet 4000シリーズ プリンタおよびHP Designjet 1000シリーズ プリンタを使用しているものとします。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。
2. どちらのプリンタにも、最新のプリンタ ドライバがインストールされていることを確認します。 HP製プリンタの最新のプリンタ ドライバは、http://www.hp.com/go/designjetにアクセスしてダウンロードできます。
3. カラー キャリブレーション機能がオンになっていることを確認します。 HP Designjet 4000シリーズ プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[設定メニュー]** - **[カラー キャリブレーション]** - **[オン]** を選択します。
4. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。
5. フロントパネルで用紙の種類に取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。
6. 通常の設定を使用して、HP Designjet 1000シリーズ プリンタで印刷を実行します。
7. 同じイメージを、今度はHP Designjet 4000シリーズ プリンタで印刷する準備を行います。
8. アプリケーションで、イメージのカラー スペースを設定し、HP Designjet 1000シリーズ プリンタとそのプリンタで使用した特定の用紙の種類をエミュレートします。 ドライバに送信されるデータは、既にこのエミュレーション カラー スペース (CMYKカラー スペース) に変換されている必要があります。 変換方法の詳細については、アプリケーションのオンライン ヘルプを参照してください。 このようにして、この用紙の種類で印刷が行われたときに1000シリーズが作成した色が、4000シリーズによってエミュレートされます。
9. HP Designjet 4000シリーズ プリンタ用PostScriptドライバで [カラーマネージメント] セクションに移動し、CMYK入力プロファイルを、アプリケーションで選択したものと同じHP Designjet 1000シリーズ プリンタのカラー スペース (エミュレーション カラー スペース) に設定します。

注記　別のプリンタのエミュレートを行う場合は、RGBカラーではなく必ずCMYKカラーを使用してください。

10. 用紙の白さをエミュレートする場合は、レンダリング用途を [相対カラー メトリック] または [絶対カラー メトリック] に設定します。

11. HP Designjet 4000シリーズ プリンタでイメージを印刷します。

別々のHP-GL/2ドライバ経由で印刷する場合

HP-GL/2ドライバがそれぞれインストールされているプリンタで、印刷を行う場合の手順を説明します。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。

2. どちらのプリンタにも、最新のプリンタ ドライバがインストールされていることを確認します。 HP製プリンタの最新のプリンタ ドライバは、http://www.hp.com/go/designjetにアクセスしてダウンロードできます。

3. カラー キャリブレーション機能がオンになっていることを確認します。 HP Designjet 4000シリーズ プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[設定メニュー]** - **[カラー キャリブレーション]** - **[オン]** を選択します。

4. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。

5. フロントパネルで用紙の種類に取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。

6. HP Designjet 4000シリーズ プリンタ用HP-GL/2ドライバで、[カラー] タブを選択し、カラー マネージメント オプションのリストから **[プリンタのエミュレーション]** を選択します。 次に、エミュレートされるプリンタのリストからDesignjet 1000シリーズを選択します。

7. HP Designjet 1000シリーズ プリンタ用HP-GL/2ドライバで、[オプション] タブを選択して、**[マニュアルカラー]** - **[カラー コントロール]** - **[ディスプレイカラー]** を選択します。 また、[用紙サイズ] タブを選択して、**用紙の種類** を選択します。

同一のHP-GL/2ファイルを印刷する場合

一方のプリンタにインストールされたHP-GL/2ドライバを使用してHP-GL/2ファイル (PLTファイルとも呼ばれます) を生成し、生成したファイルを両方のプリンタに送信する場合の手順を説明します。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。

2. カラー キャリブレーション機能がオンになっていることを確認します。 HP Designjet 4000シリーズ プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[設定メニュー]** - **[カラー キャリブレーション]** - **[オン]** を選択します。

3. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。

4. フロントパネルで用紙の種類に取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。

5. HP Designjet 1000シリーズ プリンタ用に生成したHP-GL/2ファイルを、HP Designjet 4000シリーズ プリンタで印刷する場合は、内蔵Webサーバまたはフロントパネルで以下の手順に従います。

   - 内蔵Webサーバを使用する場合： カラー オプションをデフォルトのままにします。
   - フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルト オプション]** - **[カラー オプション]** - **[RGB入力プロファイルの選択]** - **[HP Designjet 1000シリーズ]** を選択します。

その他のHP Designjetプリンタを使用する場合は、画面の色がそれぞれのHP-GL/2ドライバを使用して印刷したときと一致するように (選択できる場合はsRGBに)、両方のプリンタを設定します。

14 トラブルシューティング (イメージ エラー)

まったく印刷されない

フロントパネルのグラフィック言語の設定が **[自動]** (デフォルト) の場合は、他の設定を試してください。たとえば、PostScriptファイルの場合は **[PostScript]** 、HP-GL/2ファイルの場合は **[HP-GL/2]** になります (CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照)。 次に、再度ファイルを送信します。

この印刷が完了したら、グラフィック言語を **[自動]** に再設定します。

一部しか印刷されない

- プリンタがすべてのデータを受信する前に、キャンセル ボタンを押した可能性があります。 押した場合は、データの送信が途中で終了したため、ページを印刷し直す必要があります。
- **[I/Oタイムアウト]** 設定が短すぎる可能性があります。 この場合、フロントパネルで、**[I/Oタイムアウト]** 設定を長くして、データを再度送信して印刷します。 アイコンを選択し、次に **[I/Oの設定]** - **[I/Oタイムアウトの選択]** を選択します。
- コンピュータとプリンタの間の通信に問題がある可能性があります。 インタフェース ケーブルを確認してください。
- ソフトウェアの設定が現在のページ サイズに適しているかどうかを確認してください (長尺印刷など)。
- ネットワーク ソフトウェアを使用している場合は、タイムアウトが発生していないかどうか確認してください。

イメージの一部が印刷されない

HP Designjet 4500シリーズ プリンタで、一部が印刷されない可能性がある場合は、通常、ステータスは「一時停止しています」になります。実際に一部が印刷されない問題が発生するのは、何らかのソフトウェア エラーが発生した場合だけです。 HP Designjet 4000シリーズ プリンタでは、一部が印刷されない問題は通常、取り付けられている用紙の実際の印刷可能な範囲と、ソフトウェアで認識されている印刷可能な範囲が一致していない場合に発生します。

- 取り付けた用紙サイズの、実際の印刷可能な範囲を確認します。

  印刷可能な範囲 = 用紙サイズ – マージン

  WindowsのHP-GL/2ドライバでは、[用紙/品質] タブに印刷可能な範囲が表示されます。

- ソフトウェアで認識される印刷可能な範囲 (「印刷領域」または「印刷可能領域」と呼ばれることもあります) を確認してください。 たとえば、ソフトウェア アプリケーションによっては、このプリンタで使用される印刷可能な範囲よりも広い範囲を標準と想定している場合があります。
- 印刷するイメージ自体にマージンが含まれている場合は、イメージにマージンを追加しないようにプリンタを設定することによって正常に印刷できることがあります (マージンを追加せずに印刷する を参照)。 この場合は次のようになります。

  印刷可能な範囲 = 用紙サイズ

- 非常に長いイメージをロール紙に印刷する場合は、ソフトウェアがそのサイズのイメージを印刷できるかどうか確認します。
- 用紙の方向が、ソフトウェアで想定されている方向と同じかどうかを確認します。 フロントパネルで [セットアップ] アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルト オプション]** - **[用紙オプション]** - **[回転]** オプションを選択すると、印刷の方向とページの向きを変更できます。 ロール紙で回転されたイメージは、正しいページ サイズを保持するために、一部が印刷されない可能性があります。
- 幅が足りない用紙サイズの場合、縦置きから横置きにページを回転するように求めるメッセージが表示されることもあります。
- 必要に応じて、ソフトウェアの印刷可能な範囲を変更します。

イメージの一部が印刷されない場合、別の原因も考えられます。 Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、CorelDRAWなどのアプリケーションは、16ビットの内部座標系を使用するため、32,768ピクセルを超えるイメージを処理できません。 これらのアプリケーションで、これより大きいイメージを印刷しようとすると、イメージの下部が印刷されません。 この場合、イメージ全体を印刷するには、イメージ全体が32,768ピクセルより小さくなるように、解像度を下げます。 HP-GL/2プリンタドライバには、**[16ビット アプリケーション互換性]** というオプションがあり、このようなイメージの解像度を自動的に下げることができます。 このオプションは、ドライバの [詳細設定] タブを選択して、**[ドキュメントのオプション]** - **[プリンタの機能]** を選択すると表示されます。

トラブルシューティング (イメージ エラー)

イメージが印刷可能の範囲に小さく印刷される

- アプリケーションで選択したページ サイズが小さすぎる可能性があります。
- イメージがページの一部であるとアプリケーションで認識されている可能性があります。

イメージが誤った向きに回転される

フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルト オプション]** - **[用紙オプション]** - **[回転]** を選択します。 設定が正しいかどうかを確認してください。

PostScript以外のファイル： **[ネスティングの有効化]** が **[オン]**になっている場合、用紙を節約するためにページが自動的に回転することがあります。 詳細は、イメージを回転させるを参照してください。

イメージが左右反対に印刷される

フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルト オプション]** - **[用紙オプション]** - **[左右反転の有効化]** を選択します。 設定が正しいかどうかを確認してください。

印刷が歪むまたは不鮮明になる

- プリンタをネットワーク (またはコンピュータ) に接続しているインタフェース ケーブルに問題が発生した可能性があります。 ケーブルを変えて試してみます。
- フロントパネルのグラフィック言語の設定が **[自動]** (デフォルト) の場合は、他の設定を試してください。たとえば、PostScriptファイルの場合は **[PostScript]** 、HP-GL/2ファイルの場合は **[HP-GL/2]** になります (CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照)。 次に、再度ファイルを送信します。
- プリンタで使用しているソフトウェア、ドライバ、およびRIPによっては、この問題を解決する独自の方法があります。 詳細については、販売元のマニュアルを参照してください。

トラブルシューティング (イメージ エラー)

同じシート上でイメージが別のイメージと重なる

[I/Oタイムアウト] 設定が長すぎる可能性があります。 フロントパネルで設定を小さくして、印刷し直してください。 アイコンを選択し、次に **[I/Oの設定]** - **[I/Oタイムアウトの選択]** を選択します。

ペンの設定が適用されない

この場合、いくつかの原因が考えられます。

- アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルト オプション]** - **[HP-GL/2の設定]** - **[パレットの定義]** を選択してフロントパネルの設定を変更したが、**[印刷デフォルト オプション]** - **[HP-GL/2の設定]** - **[パレットの選択]** を選択していない場合が考えられます。
- ソフトウェアによるペンの自動設定を有効にする場合は、フロントパネルで アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルト オプション]** - **[HP-GL/2の設定]** - **[パレットの選択]** - **[ソフトウェア]** を選択する必要があります。

一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない

高品質の大判印刷ジョブを行うには、大量のデータが必要な場合があります。一部の特別なワークフローでは、いくつかのオブジェクトが出力されない問題が発生する可能性があります。 このような場合のWindows 用HP-GL/2ドライバの推奨する設定は、次のとおりです。

- [詳細設定] タブで、**[ドキュメントのオプション]** - **[プリンタの機能]** を選択して、**[ラスタ形式でジョブを送信する]** を **[有効]** に設定します。
- [詳細設定] タブで、**[ドキュメントのオプション]** - **[プリンタの機能]** を選択して、**[16ビット アプリケーション との互換性]** を **[有効]** に設定します。
- [詳細設定] タブで、**[ドキュメントのオプション]** - **[プリンタの機能]** を選択して、**[アプリケーションの最大 解像度]** を [300] に設定します。

上記の設定はトラブルシューティング用として示したものです。この設定は、最終的な出力品質や印刷ジョブの生成に必要な時間に悪影響を与える可能性があります。 したがって、問題が解決されない場合は、デフォルト値に戻してください。

PDFファイルの一部やオブジェクトが印刷されない

Adobe AcrobatまたはAdobe Readerの古いバージョンでは、HP-GL/2ドライバを使用して高解像度で印刷する場合、大きなPDFファイルの一部が印刷されなかったり、一部のオブジェクトが印刷されないことがあります。 このような問題を解消するには、Adobe AcrobatまたはAdobe Readerソフトウェアを最新バージョンにアップグレードしてください。 バージョン7以降では、これらの問題は解決されています。

Microsoft Visio 2003から印刷しても出力されない

Microsoft Visio 2003から大きなイメージ (長さ129インチ以上) を印刷する場合の問題についての詳細は、マイクロソフトのオンライン サポート技術情報 (http://support.microsoft.com/search/) を参照してください。

これらの問題を解消するには、Visioでイメージのサイズを129インチ以下に縮小し、Windows HP-GL/2またはPSドライバの [効果] タブの **[サイズ変更オプション]** を使用して描画を拡大します。 アプリケーションでの縮小率とドライバでの拡大率が一致する場合、結果は設定どおりになります。

15 トラブルシューティング (インク システム)

インクカートリッジを取り付けられない

1. 正しいカートリッジ (モデル番号) を使用しているかどうかを確認してください。
2. カートリッジのラベルの色が、スロットのラベルと同じ色かどうかを確認します。
3. カートリッジの向きが正しいかどうか (色のラベルが上になっているか) を確認します。

注意　インクカートリッジ スロットの内部はクリーニングをしないでください。

プリンタが大きな黒のインクカートリッジを認識しない

容量が775mlの黒のインクカートリッジは、HP Designet 4500シリーズと、リリース4.1.1.5以降のファームウェアを搭載したHP Designjet 4000シリーズでサポートされています。 HP Designjet 4000シリーズ プリンタでこの問題が発生した場合は、ファームウェアをアップデートしてみてください (CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照)。

インクカートリッジを取り外せない

インクカートリッジを取り外すには、まずフロント パネルで **[インクカートリッジの交換]** を選択する必要があります (インクカートリッジを取り外す を参照)。 フロント パネルを使用せずにカートリッジを取り外そうとすると、カートリッジが抜けなくなり、フロント パネルにエラー メッセージが表示されます。

この状態を解消するには、(引き出しや青いタブではなく) カートリッジ自体を押して元の場所に戻します。 エラー メッセージが消えたら (問題が解決されていなくても、しばらくすると表示されなくなります)、**[インクカートリッジの交換]** を選択して正しい方法で手順をやり直すことができます。

プリントヘッドを取り付けられない

1. 正しいプリントヘッド (モデル番号) を使用しているかどうか確認します。
2. プリントヘッドから、青の保護キャップを取り外し、透明の保護テープを剥がしたかどうかを確認します。
3. プリントヘッドのラベルの色が、スロットのラベルと同じ色かどうかを確認します。
4. プリントヘッドの向きが正しいかどうか (他のプリントヘッドと比較して) を確認します。
5. プリントヘッドのカバーを閉じて、ラッチで固定されているかどうかを確認します。

プリントヘッド クリーナを取り付けられない

1. 正しいクリーナ (モデル番号) を使用しているかどうかを確認します。
2. クリーナのラベルの色が、スロットのラベルと同じ色かどうかを確認します。
3. クリーナの向きが正しいかどうか (他のクリーナと比較して) を確認します。

フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される

1. プリントヘッドを取り外し、保護フィルムが剥がされていることを確認します。
2. プリントヘッドとキャリッジ間の電極部分のクリーニングを行います。 詳細は、プリントヘッドの電極部分をクリーニングするを参照してください。
3. プリントヘッドをキャリッジに取り付け直して、フロントパネルのメッセージを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、新しいプリントヘッドを取り付けてください。

インクカートリッジのステータス メッセージが表示される

表示されるインクカートリッジのステータス メッセージには、以下のものがあります。

- **[完了です]**: カートリッジは問題なく正常に動作しています。
- **[インクカートリッジがありません。インクカートリッジを取り付けて下さい。]**: カートリッジが全く取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- **[カートリッジのインク量が僅かです]**: インクの残量が少なくなっています。
- **[カートリッジのインク量が僅かです]**: インクの残量がきわめて少なくなっています。
- **[インクがありません]**: カートリッジが空です。
- **[インクカートリッジエラー：再度取付けて下さい]**: カートリッジをいったん取り外して、取り付け直してください。
- **[交換して下さい]**: カートリッジをいったん取り外して、取り付け直してください。それでもメッセージが消えない場合は、新しいカートリッジと交換してください。
- **[変更済み]**: インクの補充などカートリッジのステータスに予期しないことが起こりました。

プリントヘッドのステータス メッセージが表示される

表示されるプリントヘッドのステータス メッセージには、以下のものがあります。

- **[完了です]**： プリントヘッドは問題なく正常に動作しています。
- **[プリントヘッドエラー：取り付けられていません]**： プリントヘッドが全く取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- **[再度取り付けて下さい]**： フロントパネルでプリントヘッドを取り外す処理を行う (詳細は、プリントヘッドを取り外す を参照) ように推奨されますが、プリントヘッドは取り外さずに、フロントパネルの 選択 ボタンを押してください。
- **[プリントヘッドエラー：交換して下さい]**： プリントヘッドをいったん取り外して、取り付け直してください。それでもメッセージが消えない場合は、電極部分をクリーニングしてください。それでもメッセージが消えない場合は、新しいプリントヘッドと交換してください。
- **[取り外して下さい]**： このプリントヘッドは印刷用途に適していません (付属のプリントヘッドなど)。

プリントヘッド クリーナのステータス メッセージが表示される

表示されるプリントヘッド クリーナのステータス メッセージには、以下のものがあります。

- **[完了です]**： クリーナは問題なく正常に動作しています。
- **[クリーナ エラー：取り付けられていません]**： クリーナが全く取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- **[再度取付けて下さい]**： クリーナをいったん取り外して、取り付け直してください。
- **[正しく取り付けられていません]**： クリーナが間違った位置に取り付けられています。
- **[寿命です]**： クリーナが寿命になりました。
- **[プリントヘッドは交換されていません]**： 新しいプリントヘッドを取り付けた際、付属の新しいクリーナが取り付けられていません。

プリントヘッド クリーナを取り外すか取り付け直す必要がある場合は、プリントヘッドを交換する処理を行う必要があります (詳細は、プリントヘッドを取り外す を参照)。 フロントパネルに指示が表示されたら、ウィンドウを開きます。 フロントパネルに表示されるプリントヘッドに点滅しているものが1つもない場合は、プリントヘッドを交換する必要はありません。 ウィンドウを閉じると、プリントヘッド クリーナを交換する処理が開始されます。

16 トラブルシューティング (スタッカ) [4500]

注記 この章は、HP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

用紙が巻かれてしまう

カールの強い用紙に [高速] モードで印刷すると、スタッカ トレイに排出するときに用紙が巻かれてしまうことがあります。 この問題を解消するには、[標準] モードに切り替えるか、3インチ芯の用紙ロールを使用することをお勧めします。

用紙の下端がカールする

[イメージの最適化] 設定を使用します。詳細は、印刷品質を変更する を参照してください。

用紙が完全に排出されない

たるんだ用紙や他の用紙など、用紙経路に障害物がないかどうかを確認します。

17 トラブルシューティング (スキャナ) [4500]

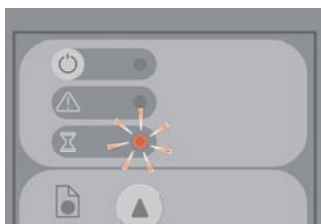
注記　この章は、HP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

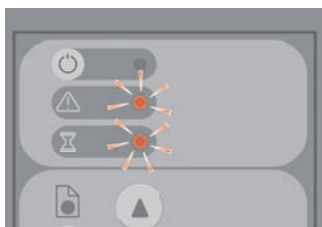
後述する以外の問題がスキャナで発生した場合は、スキャナのオンライン ガイドのヒントを参照してください。

診断ランプが点滅している

この問題が最も起こりやすいのは、スキャン領域のクリーニングが必要な場合です。 クリーニングを含む、オンライン ガイドで説明されている定期保守作業を実行してください。 保守作業が終了したら、スキャナを再起動します。

ランプがまだ点滅する場合は、カメラ位置エラーの可能性があります。 この場合は、日本HP カスタマ・ケア・センタにお問い合わせください。

待機ランプが点滅している

これは、スキャナで再調整が必要な場合に再調整ができないことを示します。 スキャ▯▯からすべての用紙を取り除き、挿入スロットの高さが最低に設定されていることを確認して、ランプが消えるのを待ちます。

待機ランプと診断ランプの両方が点滅している

この場合には、待機ランプを無視して、診断ランプについてのみ対処します。 詳細は、診断ランプが点滅しているを参照してください。

スキャナの警告メッセージが表示される

次のような場合、スキャナの保守作業を推奨するメッセージが表示されることがあります。

- スキャナの保守作業が30日間実行されていない場合
- ランプが劣化した場合。 同時にフィルタを交換する必要があります。
- ガラス プレートが劣化した場合
- 原稿バックグラウンドが劣化した場合

このいずれかの警告が表示された場合は、推奨される保守作業についてスキャナのオンライン ガイドを参照してください。

スキャナ ソフトウェアの言語が間違っている

何らかの理由でスキャナ ソフトウェアに適切な言語が使用されていない場合は、以下の手順に従って、簡単に言語を変更できます。

1. [セットアップ] タブで、**[オプション]** ボタンを押します。
2. **[システム]** ボタンを押します。
3. **[詳細設定]** ボタンを押して、管理者のパスワードを入力します。
4. **[言語の変更]** ボタンを押します。
5. 使用する言語を選択します。

システムがシャット ダウンして再起動するまで、しばらく待ちます。

スキャナ ソフトウェアが起動しない

画面の電源を入れてもスキャナ ソフトウェアが起動しない場合は、電源を切ってから入れ直してください。

それでも起動しない場合は、スキャナ システムに同梱されたSystem Recovery DVDを使用して、ソフトウェアを再インストールする必要があります。

1. システムをオンにした状態で、DVDドライブにSystem Recovery DVDを挿入します。
2. 画面の電源を切ってから、入れ直します。
3. 画面の指示に従います。
4. ソフトウェアが再インストールされると、DVDを取り出して画面を再起動するよう求めるメッセージが表示されます。
5. 画面が再起動すると、ポインタの位置のキャリブレーションを実行するよう求めるメッセージが表示されます。 表示されるターゲットに3回触れて、キャリブレーションを実行してください。 適切で一貫したキャリブレーションを行うには、通常の位置に立ち、画面の操作に通常使用するポインタ （指やその他のもの） でターゲットを押す必要があります。
6. 3つのターゲットに触れると、画面の任意の部分に触れるよう求めるメッセージが表示されます。 キャリブレーションの結果に満足した場合は、**[はい]** ボタンを押します。 システムの再起動を求めるメッセージが表示されたら、**[いいえ]** を押します。
7. 言語選択画面が表示されます。 Designjet Scanアプリケーションに使用する言語を選択します。 画面は、選択した言語で自動的に再起動されます。
8. オペレーティング システムが再ロードされるまで待ちます。 処理が終了すると、画面にDesignjet Scanアプリケーションの [コピー] タブが表示されます。

CDまたはDVDがコンピュータで読み取れない

スキャナでは、Joliet拡張を使用したISO 9660規格準拠のCDおよびDVDを作成することができます。 この規格は一般的にサポートされていますが、すべてのコンピュータが対応しているとは限りません。

メディア プロファイルを生成できない

スキャナとプリンタの両方の電源が入っていて、通常の操作ができる状態になっていることを確認します。

プリンタのジョブが一時停止状態になる

これは、スキャナ アカウントが正しく設定されていない場合 (詳細は、スキャナ アカウントを有効/無効にする を参照)、またはプリンタに正しい用紙の種類やサイズが取り付けられていない場合に発生します。

間違ったロール紙が取り付けられる

HP Designjet 4500シリーズ プリンタは、用紙を節約するために、自動的に他のロール紙を取り付けることがあります。 この動作を防ぐには、プリンタのフロントパネルで アイコンを選択し、次に **[用紙の取り扱いオプション]** - **[ロール紙切替オプション]** - **[ロール紙の変更を最小化]** を選択します。

マージンが広すぎる

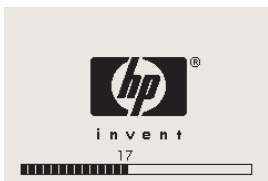
スキャナ ソフトウェアでマージンを設定してからイメージを印刷する場合、定義したマージンにプリンタ独自のデフォルト マージンが追加されます。

この動作の補正をスキャナに指定するには、[セットアップ] タブ - [マージン] ボタン - **[Clip contents by printer's margins]** オプションを選択します。 以後、スキャナ ソフトウェアで選択したマージンが印刷されるマージンとなります。 ただし、イメージの幅が用紙と同じ場合、イメージの端が印刷されない場合があります。

スキャンされたイメージに筋が入る

画面でイメージをプレビューしたときにこの問題が見られる場合は、ガラスの汚れやキズが原因の可能性があります。 まずグラスをクリーニングしてみてください (詳細は、ガラスのクリーニング を参照)。 問題が解決しない場合は、ガラスを交換する必要があります。

18 トラブルシューティング (その他)

プリンタのスタートアップが完了しない

フロントパネルの表示が17の状態でプリンタのスタートアップが停止する場合は、プリンタのハードディスクのファイルシステムに問題があり、ファイルシステム全体の確認と、必要な修正が行われていることを示します。 この問題は、プリンタの電源が入っている状態で電力の供給が停止した場合、またはプリンタのハードディスクに物理的な問題が起こった場合に発生します。

ファイルシステム全体の確認には、通常約30分かかります。 この処理速度を速めることはできません。 途中でプリンタの電源を切ると、再び電源を入れたときに、ファイルシステムの確認が最初から開始されます。

電力の供給が停止していないのに、この問題が繰り返し発生する場合は、日本HP カスタマ・ケア・センタにお問い合わせください。

フロントパネルにメッセージが表示される

フロントパネルには、プリンタの使用続行の確認、続行する前に必要な処理の指示など、さまざまなメッセージが表示されます。

- 注意が必要な状況が検出された場合、メッセージが表示されます。 メッセージには、品質が低下している状態やプリンタの保守の必要性を通知するものもあります。 メッセージを確認したら、選択 ボタンを押すと表示が消去され、引き続きプリンタを使用することができます。
- プリンタでエラーが発生した場合、エラー コードと短いメッセージがフロントパネルに表示されます。 以下の表は、このようなエラー状態から回復するために推奨する処理をまとめたものです。

コード	メッセージ	推奨する処理
13:01	すべてのカートリッジを再度取り付け下さい	すべてのプリントカートリッジを取り外して、取り付け直します。詳細は、インクカートリッジを取り外す および インクカートリッジを取り付ける を参照してください。 問題が解決しない場合は、日本HP カスタマ・ケア・センタにお問い合わせください。
26.0:01	イエローのインクカートリッジを再度取り付けて下さい	イエローのカートリッジが見つかりません。取り付け直してください。詳細は、インクカートリッジを取り外す および インクカートリッジを取り付ける を参照してください。 問題が解決しない場合は、日本HP カスタマ・ケア・センタにお問い合わせください。

コード	メッセージ	推奨する処理
26.1:01	マゼンタのインクカートリッジを再度取り付けて下さい	マゼンタのカートリッジが見つかりません。取り付け直してください。詳細は、インクカートリッジを取り外す および インクカートリッジを取り付ける を参照してください。 問題が解決しない場合は、日本HP カスタマ・ケア・センタにお問い合わせください。
26.2:01	黒のインクカートリッジを再度取り付けて下さい	黒のカートリッジが見つかりません。取り付け直してください。詳細は、インクカートリッジを取り外す および インクカートリッジを取り付ける を参照してください。 問題が解決しない場合は、日本HP カスタマ・ケア・センタにお問い合わせください。
26.3:01	シアンのインクカートリッジを再度取り付けて下さい	シアンのカートリッジが見つかりません。取り付け直してください。詳細は、インクカートリッジを取り外す および インクカートリッジを取り付ける を参照してください。 問題が解決しない場合は、日本HP カスタマ・ケア・センタにお問い合わせください。
27:03	プリンタを再起動し、 それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	プリントヘッドの検出時にエラーが発生しました。 すべてのプリントヘッドを取り付け直してください。詳細は、プリントヘッドを取り外す、プリントヘッドを取り付ける、および 再起動 を参照してください。 問題が解決しない場合は、日本HP カスタマ・ケア・センタにお問い合わせください。
38.1:01	スタッカの通信エラー 接続を確認してください	スタッカからの通信がありません。 スタッカの電源が入っていて、プリンタに接続されていることを確認してください。 必要に応じて、スタッカを完全に取り外し、スタッカなしで印刷を継続する (印刷がまだ開始されていない場合) か、印刷途中のジョブをキャンセルして、スタッカを再起動することができます。 印刷途中のジョブをキャンセルすると、用紙はカットされ、スタッカの再起動時に排出されます。
38.2:01	ステータスが一致しません。 スタッカをリセットしてください。	印刷ジョブの途中で、スタッカの電源がオフにされ再びオンにされました。 ジョブは自動的にキャンセルされ、用紙はカットされて排出されます。
39:01	給紙ローラー 1 と 2 のクリーニングが必要です。印刷を終了する場合はEnterキー、続行する場合は [キャンセル] を押します。	CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。
61:01	ファイル フォーマットが間違っています。 プリンタがジョブを処理できません。	ファイル フォーマットが間違っているため、プリンタがジョブを処理できません。 プリンタのグラフィック言語設定を確認してください (CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照)。 Mac OS環境でUSB接続を使用してPostScriptを送信している場合、ドライバおよびアプリケーションの両方でASCIIエンコードを選択してください。 また、最新リリースのファームウェアとドライバであることを確認してください。
61:04.1	ソフトウェア (ファームウェア) をアップデートします	プリンタに最新のバージョンがインストールされている場合でも、アップデート処理を繰り返してみることをお勧めします。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。
61:08.1	パスワードで保護されたファイルは印刷できません。	このファイルのパスワードを外してプリンタに送信し直してください。

コード	メッセージ	推奨する処理
62:04	プリンタを再起動し、 それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	パラレル ポートでエラーが検出されました。 詳細は、再起動を参照してください。問題が解決しない場合は、最新リリースのファームウェアであることを確認してください。
63:04	プリンタを再起動し、 それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	LANポートでエラーが検出されました。 詳細は、再起動 を参照してください。問題が解決しない場合は、最新リリースのファームウェアであることを確認してください。
64:04	プリンタを再起動し、 それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	USBポートでエラーが検出されました。 詳細は、再起動 を参照してください。問題が解決しない場合は、最新リリースのファームウェアであることを確認してください。
66:08	用紙の種類が変更されているため、ジョブを再送信してください	ジョブが送信された後に用紙の種類が変更されました。 取り付けられている用紙にジョブを印刷できません。ジョブを送信し直すか、用紙を変更してください。
71:03	プリンタを再起動し、 それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	メモリ不足によるエラーです。 内蔵Webサーバを使用して、ハード ディスクから不要なファイルを削除することをお勧めします。 詳細は、再起動を参照してください。
76:03	プリンタを再起動し、 それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	ハード ディスクに空き容量がありません。 問題が解決しない場合は、内蔵Webサーバを使用して、ハード ディスクから不要なファイルを削除することをお勧めします。 詳細は、再起動を参照してください。
77:04	プリンタを再起動し、 それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	内蔵Webサーバが動作していないと考えられます。 詳細は、再起動 を参照してください。問題が解決しない場合は、最新リリースのファームウェアであることを確認してください。
81:01	紙詰まりの可能性があります	プリンタ内で紙詰まりが検出されました。 詳細は、紙詰まり (プリンタの紙詰まり) [4000] または 紙詰まり (プリンタの紙詰まり) [4500] を参照してください。
83.y:1x	スタッカ内部エラー スタッカをリセットしてください	印刷ジョブは自動的にキャンセルされ、用紙はカットされます。 スタッカの電源を切ってから、入れ直してください。 問題が解決しない場合は、スタッカを取り外し、スタッカなしで印刷を続けてください。
84.1:01	紙詰まりの可能性があります	引き出し1で紙詰まりが検出されました。 詳細は、紙詰まり (プリンタの紙詰まり) [4500]を参照してください。
84.1:03	プリンタを再起動し、 それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	プリンタとロール紙モジュール2の間のケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
84.2:01	紙詰まりの可能性があります	引き出し2で紙詰まりが検出されました。 詳細は、引き出し2で紙詰まり [4500]を参照してください。
86:01	紙詰まりの可能性があります	プラテン領域で紙詰まりが検出されました。 詳細は、紙詰まり (プリンタの紙詰まり) [4000] または 紙詰まり (プリンタの紙詰まり) [4500] を参照してください。
	スタッカの通信エラー。 接続を確認してください。	スタッカからの通信がありません。 スタッカを接続するか、電源を入れてください。
	スタッカが外れています。 プリンタに取り付けてください。	スタッカの電源を切り、プリンタに取り付けて、再び電源を入れてください。

コード	メッセージ	推奨する処理
	スタッカが用紙で一杯になっています	積み重なった用紙をスタッカから取り除いてください。
	スタッカで紙詰まりが発生しました	積み重なった用紙をスタッカから取り除いてください。 スタッカの電源を切ってから、入れ直してください。

プリンタのフロントパネルに、上記以外のエラー コードが表示されている場合は、プリンタを再起動するか (再起動 を参照)、ファームウェアとドライバが最新バージョンであることを確認するか (CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照)、またはその両方を実行してください。 問題が解決しない場合は、日本HP カスタマ・ケア・センタにお問い合わせください。

「プリントヘッドのモニタリング中」というメッセージが表示される

これは、エラー メッセージではありません。 このメッセージは、**[プリントヘッドのモニタ]** オプションが **[強化]** に設定されている場合に表示されます。 設定を **[最適化]** に変更すると、メッセージは表示されません。 詳細は、プリントヘッドのモニタ状況を管理するを参照してください。

「プリントヘッドの品質が低下しています」というメッセージが表示される

このメッセージは、プリンタが最適に機能していないプリントヘッドの存在を検出し、品質を維持するために特別な対処をする必要がある場合に、印刷中のフロントパネルに表示されます。 このメッセージを消去するには、以下のいずれかを選択します。

- 印刷品質のレベルを上げます。詳細は、印刷品質を変更する を参照してください。
- プリントヘッドをクリーニングします。詳細は、プリントヘッドを修復 (クリーニング) する を参照してください。
- イメージ診断の印刷を使用して、問題の原因になっているプリントヘッドを特定します。詳細は、使用方法 (イメージ診断の印刷) を参照してください。

「一時停止しています」というメッセージが表示される [4500]

注記　このトピックはHP Designjet 4500シリーズ プリンタにのみ適用されます。

次のいずれかの理由で、印刷ジョブに「一時停止しています」というメッセージが表示される場合があります。

- ジョブに対して、現在取り付けられていない用紙の種類を要求しました。
- ジョブに対して、現在取り付けられていない用紙ロール (1または2) を要求しました。
- ジョブの幅が、現在取り付けられているロール紙の幅より大きい。

この問題が発生した場合、ジョブを印刷するには次の2つの方法が可能です。

- 指定された用紙の種類、指定されたロール紙、または正しい幅のロール紙を取り付けて、問題を修正します。 **[プロパティ]** を選択すると、ジョブの要件を表示できます。 次に、内蔵Webサーバまたはフロントパネルで **[続行]** を選択します。 これが推奨する解決方法です。
- プリンタで何も変更せずに、内蔵Webサーバまたはフロントパネルで **[続行]** を選択します。 警告メッセージが表示され、確認を求めるメッセージが表示されます。 確認すると、ジョブは、そのまま正しくない用紙の種類に印刷されたり (印刷品質に影響する可能性があります)、狭すぎる用紙に印刷されます (イメージが途切れる可能性があります)。

注記 フロント パネルにジョブ キューを表示するには、アイコンを選択して **[ジョブのキュー]** を選択します。

プリンタで印刷ができない

すべての手順を正しい順序で実行しても (用紙およびインク コンポーネントを正しく装着し、ファイルのエラーがない状態)、コンピュータから送信されたファイルが正しく印刷されない場合があります。

- 電源に問題がある可能性があります。 プリンタが動作せず、フロントパネルに何も表示されない場合は、電源ケーブルが正しく接続され、ソケットに電源が供給されているかどうかを確認してください。
- 強力な電磁場や重大な電気障害など、異常な電磁現象が発生している場合、プリンタが異常な動作をしたり、動作を停止することがあります。 このような場合は、フロントパネルの 電源 ボタンを押してプリンタの電源を切り、電磁的な環境が正常に戻るまで待機してから、電源を入れ直してください。 問題が解決しない場合は、日本HP カスタマ・ケア・センタにお問い合わせください。
- グラフィック言語の設定が間違っている可能性があります。 CDに収められている『*プリンタの使い方*』を参照してください。
- プリンタに適したドライバがコンピュータにインストールされていない可能性があります。 詳細は、『セットアップ手順』を参照してください。

- 正しい用紙が印刷ジョブに使用できない可能性があります。次のような原因が考えられます。
  - 選択したロールが取り付けられていない。
  - 選択した用紙の種類がロールに取り付けられていない。
  - ジョブ全体を印刷するのに十分な、選択した種類の用紙がない。

  HP Designjet 4500シリーズ プリンタでは、上記のいずれかの理由によって、ジョブはキューで一時停止になりますが、キュー内のその他のジョブで、正しい用紙が使用できるものは印刷されます。 この場合、正しい用紙を取り付けて、フロントパネルまたは内蔵Webサーバを使用してジョブを続行することによって、一時停止中のジョブを印刷できます。
- Mac OS環境でFireWireまたはUSB接続を使用している場合、データ エンコードの変更が必要な場合があります。 アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルト オプション]** - **[PostScriptの設定]** - **[エンコードの選択]** - **[ASCII]** の順に選択します。 ASCIIデータを送信するようにアプリケーションを設定します。
- 印刷ファイルに適切なファイルの終了コマンドがないため、プリンタが印刷が完了するまで、指定のI/Oタイムアウトまで待機しています。

  Mac OS環境でFireWireまたはUSB接続を使用している場合、アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルト オプション]** - **[PostScriptの設定]** - **[エンコードの選択]** - **[ASCII]** の順に選択します。 ASCIIデータを送信するようにアプリケーションを設定します。
- ネスティングがオンになっているため、適切なネスティングを計算する前に、指定のネスティング待ちのタイムアウトまで待機しています。 この場合、プリンタには、ネスティングのタイムアウトまでの残り時間が表示されます。
- プリンタ ドライバから印刷プレビューの実行を要求した可能性があります。 プレビューは、イメージが目的のイメージになっているかどうかを確認するための機能です。 この場合、プレビューはWebブラウザのウィンドウに表示されるため、[続行] ボタンをクリックして、印刷を開始する必要があります。

メモリ不足エラーが発生する

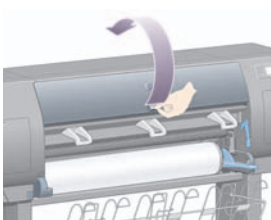
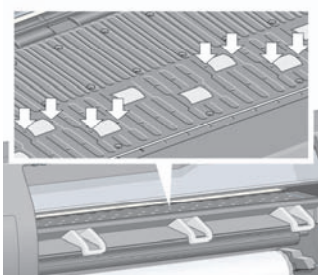
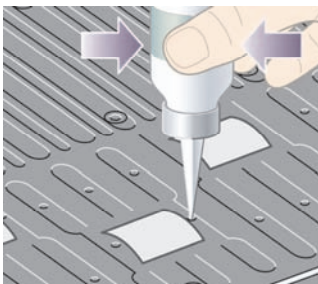
コンピュータでのファイル サイズと、そのファイルの印刷にプリンタで必要となるメモリ量には、直接の関係はありません。 実際には、ファイル圧縮などのさまざまな要因があるため、必要なメモリ量を推定することは困難です。 したがって、サイズの大きいファイルを以前に印刷できたとしても、メモリ不足のために印刷できないという可能性もあります。 このような場合には、プリンタに対してメモリの追加が必要な場合もあります。

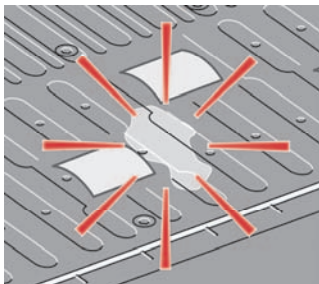
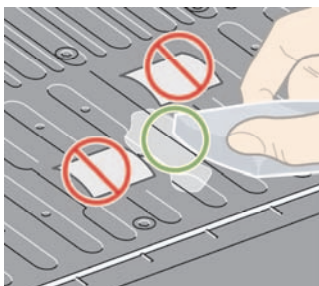
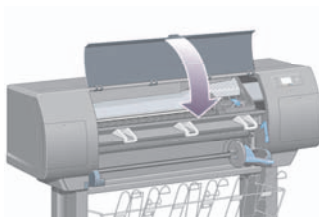
Windows HP-GL/2ドライバを使用している場合は、プリンタのメモリの問題を解決する方法として、[詳細設定] タブを選択し、次に **[ドキュメントのオプション]** - **[プリンタの機能]** - **[ラスタ形式でジョブを送信する]** を [有効] にします。

注記　このオプションを選択すると、コンピュータでのジョブの処理がかなり長くなる場合があります。

プラテン ローラーからきしみ音がする

プラテン ローラーには、ときどきオイルをさして潤滑する必要があります。 プリンタに付属のメンテナンス キットには、製品に適したオイル1本が付属しています。

1. フロントパネルの 電源 ボタンを押してプリンタの電源を切ります。
2. ウィンドウを開きます。

3. ローラーの横にあるプラテンに、小さい穴があります。

メンテナンス キット付属のオイルの容器を持ち、容器の先端を穴に差し込んで、オイルを3滴さします。

4. プラテンにある他の穴にも同じ手順を繰り返し、すべての穴にオイルを3滴ずつさします。

5. オイルがプラテンにこぼれないように注意してください。

6. こぼれてしまった場合は、キットに付属の布で拭き取ってください。

7. ウィンドウを閉じます。

19 法律情報

全世界共通の無償保証—HP Designjet 4000/4500プリンタ シリーズおよび4500mfp

HP製品	無償保証期間
プリンタ	1年間 (お客様の新規購入日から。ただし、中古機を除く。)
ソフトウェア	90日間 (お客様の新規購入日から。ただし、中古機を除く。)
プリントヘッド	製品に印刷されている「保証期限日」に達するまで、あるいはプリントヘッドで1000mlのHPインクを使い切るまでの、いずれか先に到達したとき。
インクカートリッジ	HPインクを消費するまで、または製品に印刷されている「保証期限日」に達するまでの、いずれか先に到達したとき。

A. HP無償保証の範囲、内容および条件

1. このHewlett-Packard (HP) 無償保証は、本製品の製造者であるHP (以下「弊社」とします) が、明示的な無償保証の権利をお客様に供与するものです。 これに加え、お客様は、居住地域の適用法または弊社との特別な書面による合意に基づく、その他の法的権利を有します。
2. 弊社は、上記のHP製品について、上記に定める無償保証期間中、部品および製造上の理由により不具合が発生した場合に、無償で保証いたします。 無償保証期間の開始日は、購入日になります。 お手元にある日付の入った領収書または納品受領証など、本製品のご購入日が記載された書類が、ご購入日の証明書となります。 保証サービスを受ける際には、ご購入日を証明する書類の提出が必要となる場合があります。 お客様は、無償保証期間内に上記HP製品の修理または交換が必要になった場合、本文書の条項に基づき保証サービスを受けることができます。
3. ソフトウェア製品について、弊社の無償保証は、プログラム命令が実行されない欠陥に対してのみ適用されます。 弊社はいかなるソフトウェア製品についても、動作の中断について、あるいはエラーが発生しないという保証はいたしません。
4. 弊社の無償保証は、製品を通常の用法に従って使用した結果発生した不具合に対してのみ適用されます。以下のような場合には適用されません。
   a. お客様の不適切または不十分な保守による場合。
   b. 弊社が提供またはサポートしていないソフトウェア、インタフェース、メディア、サプライ品を使用した場合。
   c. 製品仕様または本マニュアルの記載の範囲外での製品操作に起因する場合。

   クリーニング サービス、保守メンテナンス サービス (保守メンテナンス キットに含まれる部品、および弊社サービス エンジニアによる作業を含む) など、HP Designjet 4000/4500シリーズおよび4500mfpの日常的なプリンタ保守作業は、無償保証の対象になりません。ただし、地域によっては、別途締結したサポート契約によってこのようなサービスを受けることができます。
5. 故障、変化、またはデータの喪失に備え、本プリンタのハード ディスクまたはその他のストレージ デバイスに格納されたデータのバックアップ コピーを定期的に作成してください。 サービスを受けるために本製品のユニットを弊社に送付する場合、必ず事前にデータのバックアップを作成し、機密情報、社外秘情報、個人情報などは削除しておいてください。 弊社は、本プリンタのハ

ード ディスクまたはその他のストレージ デバイスに格納されたいかなるファイルまたはデータの破損または喪失に対しても責任を負いません。 また、弊社は、喪失したファイルまたはデータの復元も行いません。

6. HPプリンタ製品について、補充用またはその後ご購入頂いたHPサプライ品 (インク、プリントヘッド、インクカートリッジ) を使用頂いても、お客様へのHP無償保証またはお客様とのHPサポート契約には影響いたしません。 ただし、HP製品以外のインクカートリッジ、またはHP製品以外の補充用のインクカートリッジその他HP製品以外のサプライ品の使用によるプリンタの故障や破損については、無償保証の範囲外とし、修理に必要とされる技術者派遣費、技術費および、材料費を請求させていただきます。

7. HP製品の不具合に対して適用される救済措置は、以下に限定されます。

a. 無償保証期間中、この無償保証の対象となるHPソフトウェア、メディア、または消耗品について、不具合のあるものを回収し、それに代わる別の製品をお届けします。

b. 無償保証期間中、弊社独自の判断に基づき、不具合のあるハードウェア製品またはコンポーネント部品を、技術者を派遣して修理するか、または交換します。 コンポーネント部品の交換が必要と弊社が判断した場合、お客様に対し、(i) 不具合のある部品と引き換えに交換部品を提供し、(ii) 必要に応じて電話等による部品取り付けのサポートを行います。

c. 万一、この無償保証の対象となっている不具合のある製品の修理または交換に対応ができない場合は、不具合の通知を受けてからしかるべき期間内に、製品の購入代金を返金いたします。

8. お客様から不具合のあるメディア、消耗品、ハードウェア製品またはコンポーネント部品を弊社にご返却いただくまで、弊社には交換または返金の義務はありません。 この無償保証による交換によって返却されたコンポーネント、部品、消耗品、メディア、またはハードウェア製品は、弊社の所有物となります。 上記の内容にかかわらず、弊社は、故障した部品の返却をお客様に要求しない場合もあります。

9. 特に明記しない限り、地域の法律の定める範囲内において、パフォーマンスと信頼性の向上のため、同種類の製品について、新しい材料、または新しい材料と同等な使用済み材料を使用して製造する場合があります。 弊社は、製品の修理または交換を行う際、(i) 修理または交換の対象となる製品と同等の製品またはその材料を使用しますが、再利用品になる場合があります。または、(ii) 元の製品が生産中止になっている場合、元の製品と同等の製品またはその材料を使用します。

10. この無償保証は、本文書に記載された条項に基づき、すべての国/地域に対して適用され、弊社または弊社認定のサービス プロバイダが保証サービスを提供し、弊社が本製品を販売したあらゆる国において実施されます。 ただし、保証サービスの有効性と応答時間は、国/地域により異なる場合があります。 弊社では、法律上または規制により、動作を想定していない国/地域で製品を動作させるために、弊社製品の形状、適合性、または機能を変更することはありません。

11. 本文書に記載されている弊社製品が、弊社または正規輸入業者によって提供されている地域では、弊社認定のサービス部門に対して、その他のサービス契約が適用される場合があります。

12. 法律の定める範囲において、この無償保証に明示的に規定される場合を除き、弊社および弊社指定の協力会社は、弊社の製品およびサービスに関して、上記以外のいかなる保証も、債務の負担もいたしません。弊社は、市場性、品質、特定目的に関する整合性について、いかなる保証も債務の負担もいたしません。

B. 責任の制限

法律の定める範囲において、この無償保証で特に明記されている責任を除き、契約、不法行為、その他の法的原因に基づいているか否かに関わらず、またそうした損害の可能性を予期または報告していたか否かに関わらず、弊社または弊社指定の協力会社は、直接的、間接的、偶発的または必然的な損害およ

び通常のまたは特別な事情による損害その他一切の損害(収益または資金の損失を含む)に対していかなる責任も負いません。

C. 国/地域別の法律

1. この無償保証は、特定の法的権利をお客様に与えるものです。 その他の権利は、米国とカナダでは州によって、またはその他の国/地域ではその国/地域によって異なる可能性があります。 お客様が有するその他の権利については、国/地域の法律をご確認ください。

2. この無償保証の一部が特定の国/地域の法律と一致していない場合は、その国/地域の法律に合致するよう修正されます。 当該国/地域の法律上許されていない場合を除き、本保証の条件は除外、制限、または変更されません。さらに、本保証の条件は、当該国/地域のお客様へのHP製品の販売に適用される、当該国/地域の法律の定める範囲内で法的拘束力のある権利義務となります。

改訂： 2005年9月20日

Hewlett-Packardソフトウェア使用許諾書

注意：本ソフトウェアの使用にあたり、お客様は、以下に記載するHPソフトウェア使用許諾条件に従うものとします。 本ソフトウェアを使用することによって、お客様はこれらの使用許諾条件に同意したものとみなされます。 お客様がこれらの条件に同意しない場合であって、本ソフトウェアの購入金額の払い戻しを受けるためには、本ソフトウェアをご返却していただく必要があります。 また、本ソフトウェアが他の製品と共に提供されている場合は、払い戻しのために、当該製品全てを未使用でご返却していただく場合があります。

HPソフトウェア使用許諾条件

HPと別途契約を締結しない限り、以下の条件が、HP Designjet 4000/4500プリンタ シリーズおよび4500mfpのソフトウェアの使用に適用されます。

定義 HP Designjet 4000/4500プリンタ シリーズおよび4500mfpソフトウェアには、HPソフトウェア製品 (本ソフトウェア) およびオープン ソース ソフトウェア コンポーネントが含まれます。

「オープン ソース ソフトウェア」には、当該ソフトウェアの関連資料に記載されたオープン ソース使用許諾契約の条項に基づいて使用許諾されるApache、Tomcat、MySQLおよびomniORBを含むさまざまなオープン ソース ソフトウェア コンポーネントが含まれますが、これらに限定されません (下記の「オープン ソース ソフトウェア」の項を参照)。

使用許諾 HPは、お客様に、HP Designjet 4000/4500プリンタ シリーズおよび4500mfpにプレインストールされた本ソフトウェアの複製物ひとつを使用する権利を許諾します。 「使用」とは、本ソフトウェアを保管、ロード、実行、または表示する行為をいいます。 お客様は、本ソフトウェアの改変、ならびに本ソフトウェアの使用許諾する機能または使用をコントロールする機能を損なうような行為はできません。

所有権 本ソフトウェアの所有権および著作権は、HP、Hewlett-Packard Development Company L.P. または供給元である第三者に帰属します。 お客様は、本使用許諾によって、本ソフトウェアに関し、これらの所有権または著作権を取得するものではありません。 また、本使用許諾は、本ソフトウェアにおけるいかなる権利をも譲渡するものではありません。 本使用許諾条件に違反した場合、本ソフトウェアの供給元である第三者は、当該第三者の有する権利を保護することができます。

複写および翻案 お客様は、保存目的ならびに本ソフトウェアを許諾された範囲内で使用するために複製または翻案が不可欠の手段であるときに限り、本ソフトウェアを複製または翻案することができます。 本ソフトウェアに付されたすべての著作権表示は、すべての複製物または翻案物の上に表示されなければなりません。 お客様は、本ソフトウェアをいかなる公衆ネットワーク上にも複製できません。

逆アセンブルまたは解読 HPの書面による事前の承諾を取得しない限り、お客様は、本ソフトウェアを逆アセンブルまたは逆コンパイルすることはできません。 ただし、一部の地域の法律によっては、限定的な逆アセンブルまたは逆コンパイルに対しHPの合意が不要な場合があります。 要求された場合、お客様は、逆アセンブルまたは逆コンパイルについて合理的な範囲の詳細情報をHPに提供しなければなりません。 お客様は、本ソフトウェアの使用のために必要でない限り、本ソフトウェアを解読できません。

譲渡 本ソフトウェアを譲渡した時点で、お客様に対する本使用許諾は自動的に終了します。 譲渡時には、お客様は、すべての複製物および関連文書を含めて、本ソフトウェアを譲受人に引き渡さなければならないものとします。 また、譲受人は、当該譲受の条件としてHPソフトウェア使用許諾条件を承諾しなければなりません。

解除 本使用許諾条件のいずれかに違反した場合、HPは、通知をもって本使用許諾を終了することができます。 当該終了をもって、お客様は、本ソフトウェア、その複製物、翻案物、およびいかなる形態であるかを問わず他の一部として統合されたものすべてを、ただちに破棄しなければなりません。また、

本ソフトウェアがHP Designjet 4000/4500プリンタ シリーズまたは4500 mfpに付属している場合は、HP Designjet 4000/4500プリンタ シリーズまたは4500 mfpの使用を停止してください。

輸出時の条件 本ソフトウェア、その複製物または翻案物は、適用される法律や規則に違反して輸出または再輸出することはできません。

米国 政府の権利制限 本ソフトウェアおよび付属する文書は、全て民間の費用負担により開発されたものです。 これらは、DFARS 252.227-7013 (1988年10月)、DFARS 252.211-7015 (1991年5月)、またはDFARS 252.227-7014 (1995年6月) で規定された「商用コンピュータ ソフトウェア」、あるいはFAR 2.101(a) で規定された「商用品目」、あるいはFAR 52.227-19 (1987年6月) (あるいはこれに相当する関連官庁の規定または契約条項) で規定された「制限付きコンピュータ ソフトウェア」のいずれかが適用可能なものとして提供され使用許諾されます。 お客様は、適用されるFARまたはDFARS条項、あるいは製品に付属するHP標準ソフトウェア契約によって当該ソフトウェアおよび付属文書に提供される権利のみを付与されるものとします。

オープン ソース ソフトウェア オープン ソース ソフトウェアは個別のソフトウェア コンポーネントから構成され、それぞれのソフトウェア コンポーネントに独立した著作権と使用許諾条件があります。 お客様は個別のパッケージに含まれる使用許諾条件を確認し、お客様の権利を理解する必要があります。 使用許諾書は、プリンタに同梱の**HP Designjet Driver and Documentation (HP Designjetドライバおよびプリンタの使い方)**CDの『*licenses*』フォルダに収録されています。 オープン ソース ソフトウェアの著作権は、それぞれの著作権者が保有します。

オープン ソースについて

- 本製品には、Apache Software Foundation社 (http://www.apache.org/) が開発したソフトウェアが含まれています。
- com.oreilly.servletのパッケージに含まれるソース コード、オブジェクト コード、および文書は、Hunter Digital Ventures,LLCによって使用許諾されています。

法律情報

規格適合情報

プリンタで使用されているインク システムの最新のMaterial Safety Data Sheets (MSDS) を取得するには、次の住所宛にご請求ください。Hewlett-Packard Customer Information Center, 19310 Pruneridge Avenue, Dept. MSDS, Cupertino, CA 95014, U.S.A.

また、Webページ (http://www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/psis_inkjet.htm) でもご請求いただけます。

規制適合モデル番号

適合する規制を識別する目的上、製品には規制適合モデル識別番号 (RMN) が割り当てられています。Designjet 4000および4500プリンタ シリーズは複数の製品で構成されています。 この製品の規制適合モデル番号は次のとおりです。

RMN	製品グループ
BCLAA-0401	HP Designjet 4000プリンタ シリーズ
	HP Designjet 4500プリンタ シリーズ
	HP Designjet 4500 mfpシリーズ
BCLAA-0503	HP Designjet 4500スキャナ シリーズ
BCLAA-0504	HP Designjet 4500スタッカ シリーズ

規制適合モデル番号 (RMN) は、商品名 (HP Designjet 4000/4500プリンタ シリーズ、HP Designjet 4500スキャナ、HP Designjet 4500スタッカ) または製品番号とは異なるものです。

電磁的両立性 (EMC)

警告！ この製品はクラスA製品です。 この製品をご家庭で使用する場合は、電波障害が発生する可能性があります。 この場合、ユーザは適切な措置を行うように求められることがあります。

FCCステートメント (米国)

The U.S. Federal Communications Commission (in 47 cfr15.105) has specified that the following notices be brought to the attention of users of this product.

Shielded cables

Use of shielded data cables is required to comply with the Class A limits of Part 15 of the FCC Rules.

注意 Pursuant to Part 15.21 of the FCC Rules, any changes or modifications to this equipment not expressly approved by the Hewlett- Packard Company may cause harmful interference and void the FCC authorization to operate this equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection

against harmful interference in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

Normes de sécurité (カナダ)

Le présent appareil numérique n'émet pas de bruits radioélectriquesdépassant les limites applicables aux appareils numériques de Classe A prescritesdans le réglement sur le brouillage radioélectrique édicté par le Ministéredes Communications du Canada.

DOCステートメント (カナダ)

This digital apparatus does not exceed the Class A limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

EMIステートメント (韓国)

사용자 안내문 :A 급 기기

이 기기는 업무용으로 전자파적합등록을 받은 기기이오니, 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의 하시기 바라며, 만약 잘못 구입 하셨을 때에는 구입한 곳에서 비업무용으로 교환 하시기 바랍니다.

VCCIクラスA (日本)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電源コードの安全警告

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

法律情報

EMIステートメント (台湾)

警告使用者:這是甲類的資訊產品,在居住的環境中使用時,可能會造成射頻干擾,在這種情況下,使用者會被要求採取某些適當的對策.

EMIステートメント (中国)

此为A级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

騒音

Geräuschemission (Germany) LpA < 70 dB, am Arbeitsplatz, im Normalbetrieb, nach DIN45635 T. 19.

法律情報

適合宣言 (DECLARATION OF CONFORMITY)

according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Supplier's name:	Hewlett-Packard Company
Supplier's address:	Avenida Graells, 501 08174 Sant Cugat del Vallès Barcelona, Spain

declares that the product

Regulatory Model Number [3]:	BCLAA-0401, BCLAA-0503, BCLAA-0504
Product family:	HP Designjet 4000 Printer series, HP Designjet 4500 Printer series, HP Designjet 4500 Scanner series, HP Designjet 4500 Stacker series
Product options:	All

conforms to the following product specifications

Safety:	IEC 60950-1:2001 / EN 60950–1:2001
EMC :	CISPR 22:1993+A1:95+A2:96 / EN 55022:1994+A1:95+A2:97 Class A [1] EN 55024:1998+A1:2001+A2:2003 EN 61000-3-2:2000 EN 61000-3-3:1995+A1:2001 FCC Title 47 CFR、Part 15 Class A [2]

Additional information

The product herewith complies with the requirements of the Low-Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC, and carries the CE marking accordingly.

1. The product was tested in a typical configuration with HP Personal Computer systems and peripherals.
2. This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
   - This device may not cause harmful interference.
   - This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
3. The product is assigned a Regulatory Model Number which stays with the regulatory aspect of the design. The Regulatory Model Number is the main product identifier in the regulatory

documentation and test reports; this number should not be confused with the marketing name or the product numbers.

Josep-Maria Pujol

Hardware Quality Manager

Sant Cugat del Vallès (Barcelona)

July 28th, 2005

規格適合に関する問い合わせ先

ヨーロッパ： Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Böblingen, Germany.

米国： Hewlett-Packard Company, Corporate Product Regulations Manager, 3000 Hanover Street, Palo Alto, CA 94304, USA.

オーストラリア： Hewlett-Packard Australia Ltd, Product Regulations Manager, 31–41 Joseph Street, Blackburn, Victoria, 3130, Australia.

索引